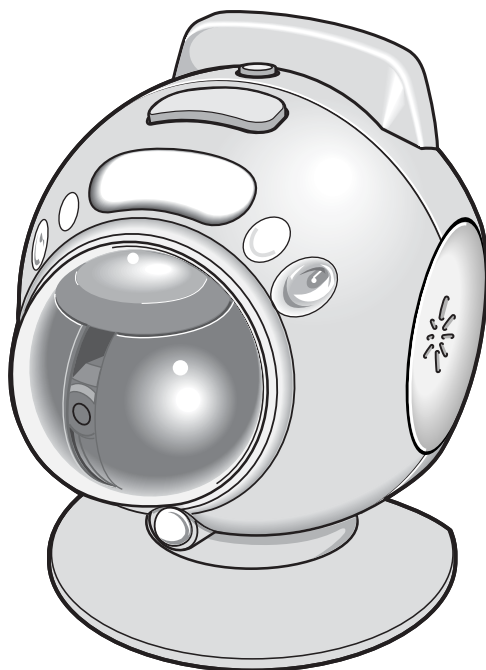
取扱説明書

ネットワークカメラ 屋内用

品番 IPC-H1W（無線／有線タイプ）
IPC-H1L（有線タイプ）

ご使用前に別紙のHOVICAセットアップガイドとこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
また、後々のために「保証書」とともに大切に保管してください。

- 取扱説明書、本体、定格板には色記号の表示を省略しています。
  包装箱に表示している品番の(　)内の記号が色記号です。

もくじ

1 各部のなまえとはたらき

2 ホビカネットについて

3 センサーとアラーム

4 留守モードと在宅モード

5 パソコンでカメラを操作するには

6 携帯電話でカメラを操作するには

7 パソコンでいろいろな設定をする

8 テレビに接続して設定をする

9 困った状態になったときは

10 その他

付録

各部のなまえとはたらき

1

前面部

各部のなまえ

前面部のはたらき

名称	機能
①電源ボタン （ON／OFF共に 1秒以上押す）	**電源ON時の動作** 電源をONにすると電源ランプが点灯し、カメラレンズは下図の動作をし、電源をOFFにする前の状態にカメラレンズ位置を移動します。（初期動作） ❶ ❷ ❸ ❹ 水平移動 垂直移動 **注意** カメラに大きな衝撃が加わった場合は、レンズの位置がずれることがあります。このようなとき、電源ボタンを押してください。 左図の初期動作を行ないレンズを正しい位置に戻します。 **電源OFFのしかた** 電源ボタンを押します。

前面部(つづき)

名称	機能
②在宅/留守切替ボタン	1秒以上押すごとに、留守モードと在宅モードを切り替えます。この時カメラレンズを正しい位置に戻すために初期動作を行ないます。(☞4-2ページ) モードが切り替わる時にお知らせ音が鳴ります。 ●在宅→留守(ピッ) ●留守→在宅(ピーーッ) 現在どちらのモードになっているかは、留守モードランプで確認できます。
③電源ランプ	**点灯**:電源がONの状態です。 **消灯**:電源がOFFの状態です。 **点滅**:パソコンからカメラへアクセス中は点滅します。携帯電話からカメラへアクセスがあると、約90秒間点滅します。 無線LANを自動設定(AOSS)中は、電源ランプは遅い点滅(チカチカッ、チカチカッ)になり、設定ができない場合は速い点滅になります。
④補助ライト	以下の状態では、補助ライトが点灯します。 ●留守モード中にセンサーが感知した時(☞7-14ページ⑥) ●パソコンで本機にアクセスし、補助ライトをONにした時 ●カメラの設置場所が暗い時にパソコンでアクセスした場合 ●携帯電話でライブ画像を見る時※ ※パソコンや携帯電話でライブ画像を見る時、点灯しないように設定することもできます。(☞7-18ページ⑥)
⑤カメラレンズ	カメラ本体、パソコン、携帯電話から操作することにより上下左右に動かすことができます。 またモーションセンサー機能を内蔵しています。
⑥人感センサー	感知範囲内の温度変化を検出するセンサーです。(☞3-2ページ)
⑦リモコン送信部	リモコン照明やエアコンをON/OFFするための送信部です。(☞1-4ページ)
⑧留守モードランプ	**点灯**:留守モードの状態です。 **消灯**:在宅モードの状態です。 **遅い点滅**:留守モードの一時解除中です。(☞5-6ページ) **速い点滅**:センサーが感知した状態です。

ブザー音は以下の状態で異なる音を鳴らします。

- センサーが感知した時(アラーム設定でブザー項目をONに設定時)、またはパソコン/携帯電話からブザーをONにした時
- 在宅モード時に外部(パソコン/携帯電話)からアクセスがあった時(オプション設定で「外部アクセスブザー」項目をONに設定)

リモコン操作について

使用上のご注意

- 宅内のパソコンからあらかじめカメラ設置場所でリモコンの動作テストを行なってください。(☞7-17ページ)
  設置環境や使用する機器によって、動作範囲が異なる場合があります。
- リモコン送信部と、照明やエアコンの間には障害物を置かないようにしてください。正しく動作しない場合があります。
- 送信角度や送信範囲は目安です。照明やエアコンのメーカーによって異なる場合があります。
- 電子瞬時点灯方式（インバーター方式など）の照明がある部屋では、リモコン受信部が信号を受け付けないことがあります。
- 部屋の広さが10畳をこえる場合は、リモコンが効きにくい場合があります。
- 暗い色調（天井、壁、床）の部屋などでは、リモコンが効きにくい場合があります。
- 照明やエアコン本体のリモコン受光部表面がほこりなどで汚れていると、リモコン信号の動作距離が短くなりますので、受光部表面を掃除してください。
- 照明やエアコン本体のリモコン受光部で受信感度が低くなっているものもあります。この場合はリモコン動作の距離が短くなります。

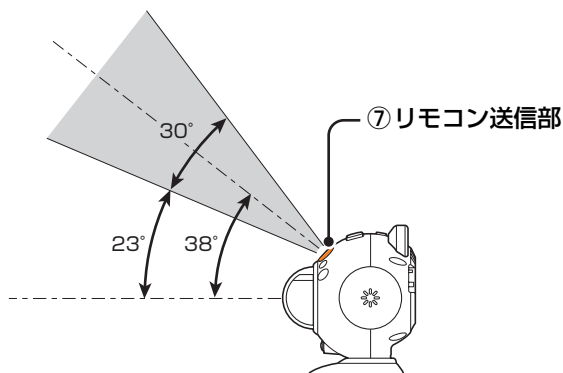
リモコンが正しく動作しない場合は、以下をご確認ください

- 照明やエアコンのメーカーの設定が正しく行なわれていますか？
  同じメーカーでも複数の信号がある場合があります。他の信号に設定しなおしてテストしてください。
  （例：三洋1／三洋2／三洋3）
- リモコンの使用可能範囲内ですか？
  カメラと、照明やエアコンとの間は6m以内の距離でご使用ください。
  また照明器具のリモコン受光部とカメラの間に障害物がある場合は、取り除いてください。

リモコン操作について(つづき)

カメラには、照明やエアコンをON／OFFするためのリモコン送信器を内蔵しています。
お使いの照明やエアコンのメーカーを登録すると、外出先のパソコンや携帯電話から照明やエアコンをつけたり消したりすることができます。(☞7-17ページ①②)
※機器によっては、ON／OFFできない場合もあります。

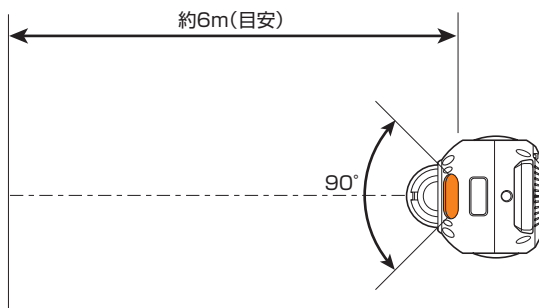
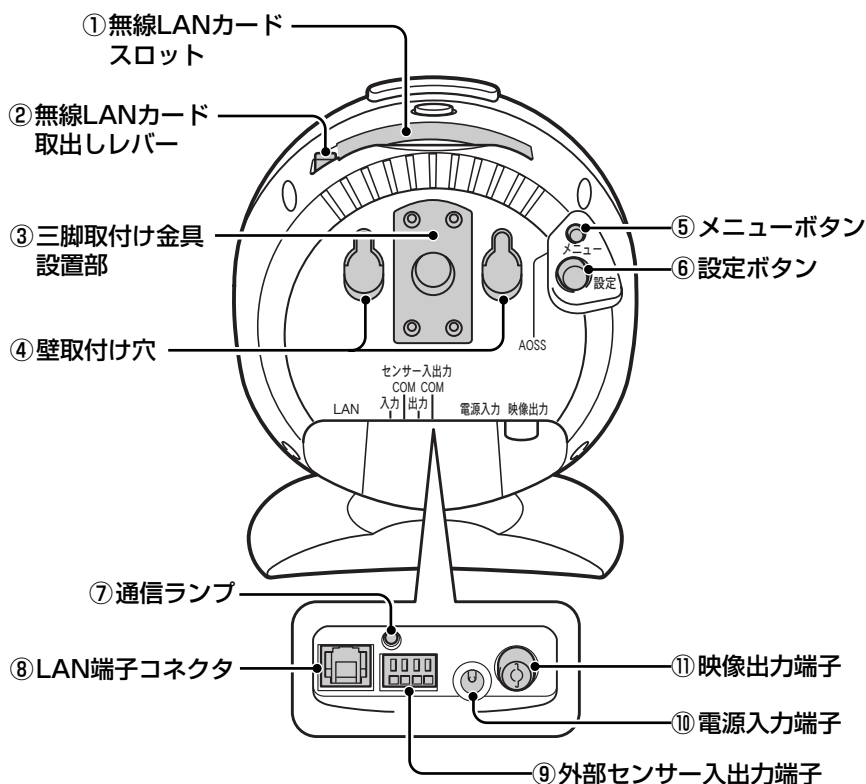
リモコンの送信角度と送信範囲について

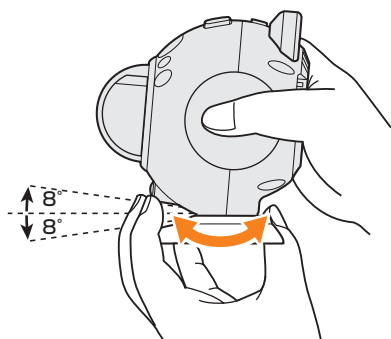
リモコンの送信角度は以下のとおりです。

リモコンの送信範囲は以下のとおりです。

後面部

各部のなまえ

①無線LANカード スロット
②無線LANカード 取出しレバー
③三脚取付け金具 設置部
④壁取付け穴
⑤メニューボタン
⑥設定ボタン
⑦通信ランプ
⑧LAN端子コネクタ
⑨外部センサー入出力端子
⑩電源入力端子
⑪映像出力端子

メニュー
設定
AOSS
センサー入出力
COM COM
入力 出力
LAN
電源入力 映像出力

カメラ本体の角度調整のしかた

カメラの本体は、台を軸にして上下に約8°動かすことができます。

片手で台を持ち、もう一方の手でカメラ本体をスライドさせるように前後に動かしてください。
力を入れ過ぎて無理に動かすと、本体や台が破損する恐れがありますのでご注意ください。

後面部(つづき)

後面部のはたらき

名称	機能
①無線LANカードスロット	無線LANカードの差し込み口です。
②無線LANカード取出しレバー	無線LANカードを取り出す時に押します。
③三脚取付け金具設置部	カメラ底部に取り付けられている三脚取付け金具をここに取り付けると、監視カメラ設置台などにカメラを設置できます。(☞付録A)
④壁取付け穴	付属のネジを木製の壁に取り付けて、ネジの頭をこの穴に引っ掛けます。(☞付録A)
⑤メニューボタン(AOSS)	カメラの映像出力端子にテレビを接続し、メニューを表示する時に押します。(約1秒間押す)(☞8-1ページ) また、AOSS™対応の無線LANルータとの接続を行なう時に押します。(約5秒間押す)
⑥設定ボタン	カメラの映像出力端子にテレビを接続し、各種設定をする時に操作します。(☞8-1ページ) また、カメラレンズを動かすことができます。(メニュー画面が表示されている場合は操作できません。)
⑦通信ランプ	**点灯**:リンク中、点灯します。 (ネットワークに接続した機器は、常に信号のやりとりをしています。その正常な状態が「リンク中」です。) **点滅**:パソコンまたは携帯電話からアクセス中に点滅します。
⑧LAN端子コネクタ	LANケーブル(イーサネットケーブル10Base-T/100Base-TX)の端子を接続します。(☞セットアップガイド)
⑨外部センサー入出力端子	赤外線センサーなどを接続します。(☞3-3ページ)
⑩電源入力端子	付属のACアダプターを接続します。(☞セットアップガイド)
⑪映像出力端子	テレビ画面にカメラ画像を表示したり、ネットワーク設定やアラーム設定などを行ないたい時に、ビデオケーブルで接続します。(☞8-1ページ)

AOSS™とは株式会社バッファローの商標です。
Airstation One-touch Secure Systemの略で、暗号化キーの設定や入力で煩雑だった無線LANの接続設定が、簡単にできる機能です。本機を通常使用する目的に限ってご使用ください。

ホビカネットについて

2

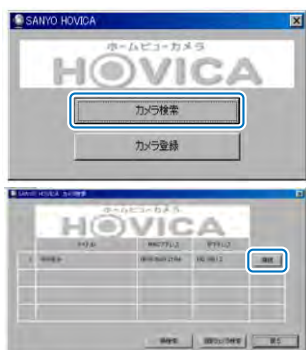
ホビカネットへの新規登録

ホビカネットへの加入までの設定方法は「HOVICAセットアップガイド」を参照ください。ここでは手順の流れを説明します。

パソコンがインターネットに接続できる環境であることを確認して、カメラとルータを接続し、カメラの電源を入れてください。

カメラを検索する

1 パソコンに付属のCD-ROMを入れると専用ソフトが立ち上がる

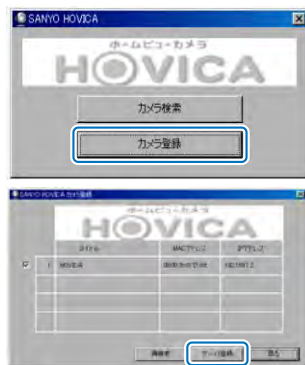
2 カメラ検索を行なう
[カメラ検索] ボタンを押す

3 カメラに接続する
接続すると、ログイン画面が表示されます。

4 カメラにログインするとブラウザが立ち上がり、ライブ画面が表示されます。
必要であれば、設定画面でネットワーク設定をしてください。

カメラが複数台の場合は、各カメラの「接続」をクリックし、手順3、4を繰り返してください。それ以降は画面の指示にしたがって設定してください。
必要であれば、ルータの設定を行なってください。

ホビカネットに新規登録する

カメラ検索後、続けてカメラ登録を行なう場合は、「戻る」をクリックして手順1の画面まで戻ってください。

1 [カメラ登録] ボタンを押す
CD-ROMを入れるとパソコンの画面に表示される画面でカメラ登録ボタンをクリックする。

2 [サーバ登録] ボタンを押す
ブラウザが立ち上がり、新規登録／変更画面が表示されるので新規登録ボタンをクリックする。

3 [新規登録] ボタンを押す
利用規約画面が表示されるので、利用規約を読み、同意するボタンをクリックする。
同意しないボタンをクリックすると新規登録／変更画面に戻ります。
ユーザー情報入力画面が表示されます。

4 手続き完了画面が表示される
確認メールが届いた時点からサービスをご利用いただけます。

(※登録時のID、パスワードは控えておいてください。)

ログインのしかた

ログインする時に必要な入力方法は2種類あります。

IDとパスワード

ホビカネットに加入した際、登録されたIDとパスワードです。
IDとパスワードは下記の場合に必要になります。

- http://www.hovica.net/ から会員ページにログインする場合
- 携帯電話で http://hovica.net/ にアクセスしてログインする場合
- パソコンで http://www.hovica.net/redirect/ にアクセスしてログインする場合
- 設定メニューの「サーバー記録画像表示」から保存画像を見に行く時にログインする場合

ユーザー名とパスワード

● ユーザー名には次の2種類があり、ユーザー名は変更することはできません。
またユーザー名によって、カメラを操作する権限が異なります。

- **GUEST：** ライブ画像を見ることができます。カメラの向きやライブ画像のサイズ、ズーム、画質、明るさなどは変更できますが、設定メニューからの設定はできません。また、カメラレンズの向きを登録することもできません。(☞5-5ページ)3方向の登録もできません。
- **ADMIN※：** ライブ画像を見ることはもちろん、すべての設定ができます。
  ※ADMINistrator：管理者の略

● ユーザー名とパスワードは下記の場合に必要になります。

- GUESTユーザーでアクセスした後、[設定] ボタンをクリックした場合
- 宅内のカメラと同じLAN上からパソコンでアクセスする場合

● パスワードは初期値で以下のように設定しています。

- **GUESTのパスワード：**GUEST
- **ADMINのパスワード：**ADMIN

ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字の区別はされません。
「GUEST」と「guest」は同じです。
なお、パスワードはプライバシーを守るためにも、定期的に変更することをお勧めします。
変更方法は7-5ページを参照してください。

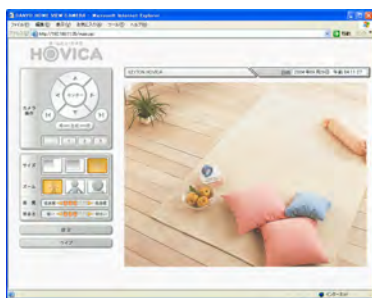
ホビカネットに加入している場合

ホビカネットのホームページにアクセスし、IDとパスワードを入力するだけで、カメラにアクセスできます。パソコンやインターネットに詳しくない方でも、すぐに外出先からアクセスすることができます。

1 ホビカネットのトップページから会員ページにログインする

ブラウザのアドレスバーに **http://www.hovica.net/** を入力すると、ホビカネットのトップページを表示します。トップページの会員ページをクリックし、ログイン画面でIDとパスワードを入力し、ログインすると会員トップページが表示されます。

2 会員トップページの［カメラ接続］ボタンをクリックすると、カメラ選択画面が表示される

3 カメラ選択画面のカメラタイトルをクリックすると、選択したカメラのライブ画面を表示する

上記の方法でホビカネットからアクセスすると、自動的に「**GUEST**」ユーザーとしてアクセスします（☞2-2ページ）。

留守や在宅モードの切り替えなど「**ADMIN**」ユーザーでアクセスしたときに表示されるボタン類を表示したり、カメラの設定メニューから各設定を変更したりする場合は〔**設定**〕をクリックします。ユーザー名とパスワードを入力する画面になりますので、ユーザー名を「**ADMIN**」にし、パスワード（初期値：ADMIN）を入力してください。

ブラウザのアドレスバーに **http://www.hovica.net/redirect/** を入力すると、IDとパスワードを入力するログイン画面が表示されます。

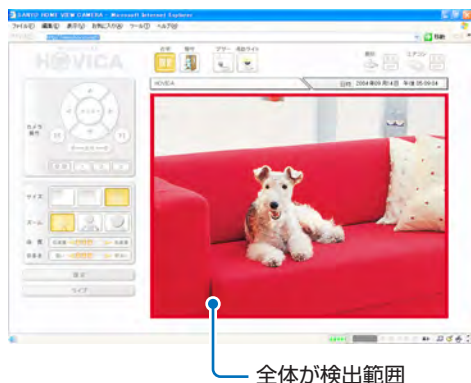
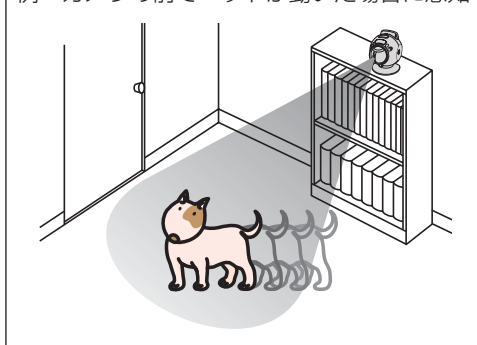
ホビカネットに登録しているID、パスワードと、カメラに設定しているユーザー名、パスワードを間違わないようにご注意ください。

センサーとアラーム

センサーについて

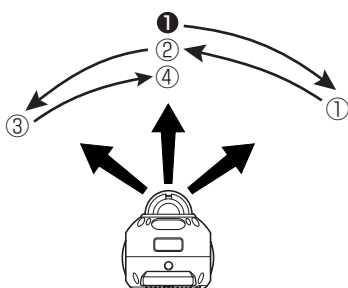
センサーには、モーションセンサー、人感センサー、外部センサーの3種類があります。

モーションセンサーとは

モーションセンサーは人や動物などの動きや画面の明るさの変化を検出します。パソコンで表示しているライブ画像全体が検出範囲となります。
しかし、カメラに窓の外が映っていると、車などが通過しても感知してしまうので、設置場所やカメラの向きには注意してください。

感度について

モーションセンサーの感度には3段階あり、低／中／高の中から選ぶことができます。
感度の設定はパソコンで行なうことができ、テストも行なうことができます。操作方法については、7-13ページ①を参照してください。

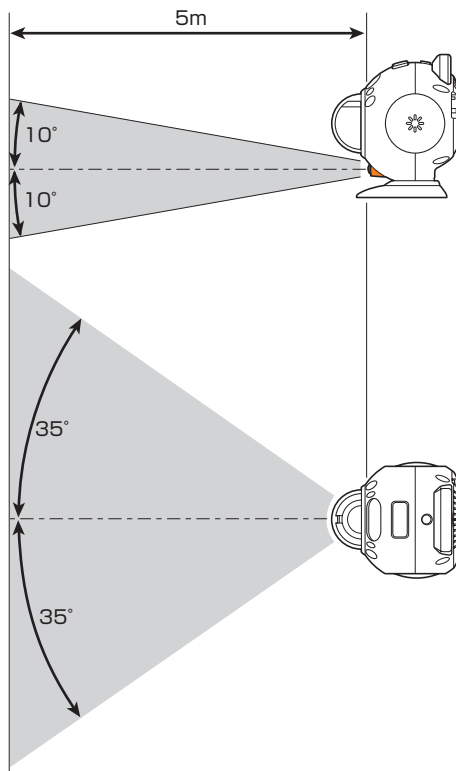
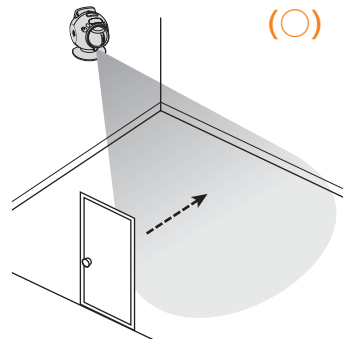
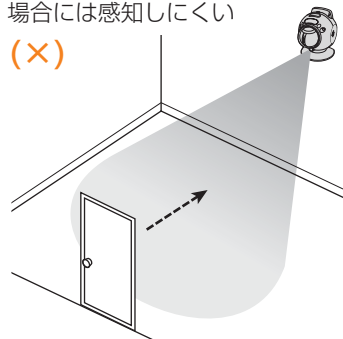
モーションスキャンについて

モーションスキャンとは、留守モード中に次の動作を行ないます。
各方向での停止（約5秒間）位置でセンサー感知をしますが、次への移動中は感知されません。

❶ 中央で5秒間停止し検知する。
① 右方向に向きを変え、5秒間停止し検知する。
② 中央に戻り、5秒間停止し検知する。
③ 左方向に向きを変え、5秒間停止し検知する。
④ 中央に戻り、1分間停止し検知する。
以後、留守モード中は①〜④を繰り返します。

センサーが感知した時は、左図の動作を止め、アラーム発生時の動作を行ないます。(☞4-3ページ)

センサーについて(つづき)

人感センサーとは

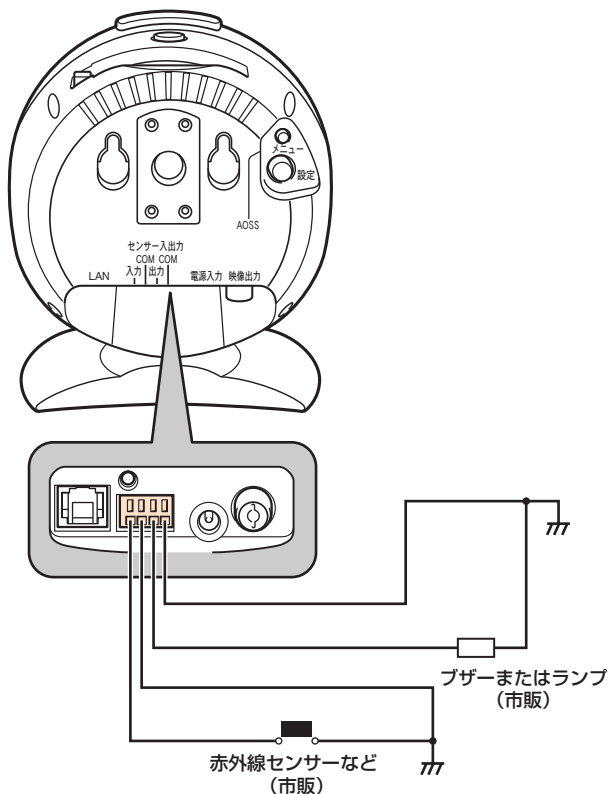
前面部の人感センサーで感知範囲内の温度変化を検出します。
横からの変化はよく感知しますが、縦(正面)の変化には感知しにくい特性があります。したがって、入口の正面などに設置するよりも、入口に対して側面に設置するほうが検出しやすくなります。
人感センサーが感知できる範囲は、以下のとおりです。

また、ちょっとした温度の変化にも反応するため、使用環境には注意が必要です。

人感センサーの誤反応を防ぐためにも、以下の状況や環境での使用は避けてください。

- **温度変化の大きい場所**
  (窓やカーテンを開けたままの部屋など。特にカメラに直射日光が当たる場所)
- **エアコンのそばなど温度変化のある場所**
- **炊飯器など熱を出す調理器具やつけたままの電灯の近く**
- **携帯電話など強い電波を発信する機器の近く**
- **センサーの前にガラスや障害物がある場所**

センサーについて(つづき)

外部センサーとは

後面のセンサー入力端子に市販の赤外線センサーなどを接続し、センサーが感知すると、留守モードランプが点滅します。またセンサー出力端子にブザーやランプなどを接続している場合は、同時にブザーが鳴ったりランプが点灯します。
なお、入出力の際はノーマルオープンまたはノーマルクローズの設定が必要になります。(☞7-14ページ③④)

- **センサー入力端子**
  赤外線センサーなどを接続し、人などの検出に使用します。

- **センサー出力端子**
  ブザーやランプを接続し、モーションセンサー、人感センサーや外部センサーによるセンサー検出を知らせます。

アラームについて

センサーが感知すると、カメラはアラームを発生します。
アラームが発生した時の動作は、パソコンからカメラにアクセスして設定することができます。
パソコンからカメラにアクセスする方法は2-3、7-2ページを参照してください。
〔**アラーム設定**〕画面については7-13ページを参照してください。

アラームとは、センサーが感知した時に発するカメラ内部の信号のことで、ブザーではありません。

アラーム発生時のメール送信について

- **カメラからホビカネットを経由してアラームメールを受信する場合**
  ホビカネットに加入している場合は、登録した転送先メールアドレスに、アラームが発生したことをメールで通知します。
  また撮影した画像をホビカネットのサーバーに送信します。

- **カメラからホビカネットを経由せずにアラームメールを受信する場合**
  カメラのメール送信設定にプロバイダーから与えられた情報を設定している場合は、送信先メールアドレスにメールで通知します。画像を添付することもできます。(☞7-15①、7-16③④ページ)

- **携帯電話にメールを送信できますが、添付画像が受信可能かは、携帯電話の機種によって異なります。**
- **メールアドレスは、携帯電話とパソコンのどちらのメールアドレスでも設定・登録できます。**

センサーとアラームのご注意

- モーションセンサーや人感センサーは、温度変化や風、日照など自然現象によってアラームが発生することもあります。
- モーションセンサーをONにしていても、感度を低くしている場合は、動きがあっても検出しないことがあります。また感知範囲外では検出できません。
- モーションスキャンは約150°の範囲を感知しますが、常に150°を感知している訳ではありません。150°の範囲内でも、カメラのレンズが向いていない場合は、感知できません。

カメラのセンサーは万全のセキュリティを保証するものではありません。

留守モードと在宅モード

4

はじめに

カメラには「留守モード」と「在宅モード」があり、常にどちらかのモードになっています。

留守モード

外出時など、家に誰もいないときに設定しておくモードです。
モーションセンサーや人感センサー、外部センサーを働かせておくと、何かを感知した時にアラームを発生し、メールを外出先の携帯電話やパソコンに送信し、それにより画像を見ることができます。

在宅モード

ご自身やご家族が家にいるときに設定しておくモードです。
モーションセンサー、人感センサーや外部センサーは働きません。
在宅モード中にパソコンや携帯電話からアクセスがあると、電源ランプの点滅などにより外部からのアクセスをお知らせします。これにより、在宅時にあるはずのないアクセスに対してカメラの電源を切るなどの対処ができます。「無反応検出モード」の時間設定は、在宅モード時のみ働きます。

留守・在宅モードと機能の関わりを次に表示します。

カメラの設定	留守モード	在宅モード	参照
アラーム設定	有効	無効※	P7-13
メール送信	○（できます）	×（できません）	P7-15①
添付画像送信	○	×	P7-16④
ブザーの設定	○	○	P7-14⑤
外部アクセスブザー	×	○	P7-18⑤
補助ライトの設定	○	○	P7-14⑥
照明／エアコンの設定	○	○	P7-17①②

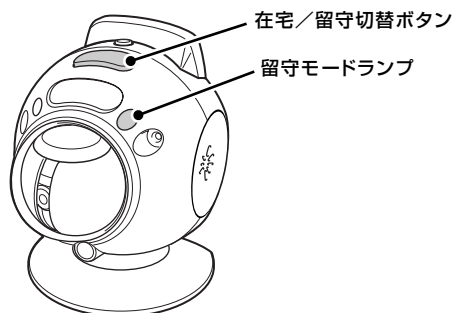
※無反応検出モード（☞7-14ページ⑧）を時間選択している時、センサーが感知しなければメールは送信されます。

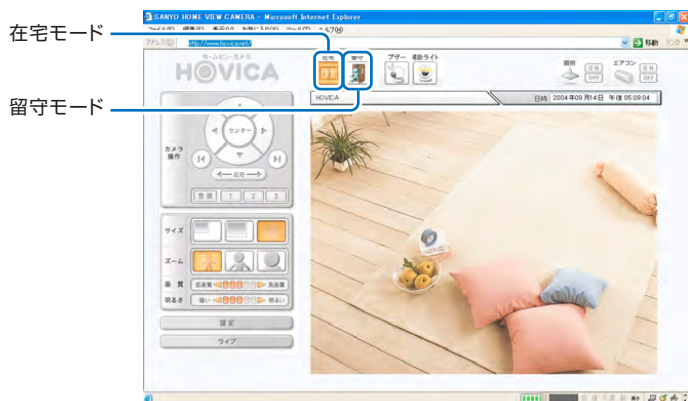
留守モードと在宅モードの切り替え方

切り替えは、以下の3通りの方法で行なえます。

Ⓐ本体の在宅／留守切替ボタンで切り替えるには

[在宅／留守] 切替ボタンを1秒間以上押すごとに、留守モードと在宅モードが切り替わります。留守モードの設定中は、留守モードランプが点灯します。

お出かけの際、またお帰りの際に、ワンタッチで簡単に切り替えができます。

Ⓑパソコンで切り替えるには

パソコンからカメラにアクセスし、各「在宅」、「留守」ボタンをクリックする。
パソコンからカメラにアクセスする方法については、2-3、7-2ページを参照してください。

お出かけの際に切り替えを忘れたとき、外出先から切り替えることができます。

Ⓒ携帯電話で切り替えるには

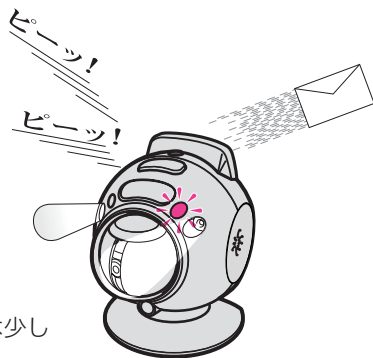
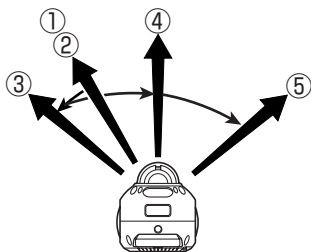
携帯電話からカメラにアクセスし、制御メニューで留守モードをON／OFFします。
携帯電話からカメラにアクセスする方法は6-4ページ、制御メニューについては6-15ページを参照してください。

留守モード中にアラームが発生した時は

アラーム発生時のカメラの動作

カメラをご購入時の設定では、留守モード中にセンサーが何かを感知すると、カメラは以下のように動作します。

- **ブザーを約30秒間鳴らす**
- **補助ライトが約30秒間点灯する**
- **留守モードランプが点滅する**
- **5枚の画像を撮影（下記参照）する**
- **メールで通知する**

ブザーと補助ライトは、アラーム設定でOFFにしておくこともできます。
またアラーム発生時に室内の照明をONにすることもできます。（☞7-14ページ⑦）
ただしアラーム発生時に照明をONにすると、画像の撮影は少し遅れます。照明は30秒後に消えます。
（室内照明をONにするには、あらかじめご使用のメーカーを設定しておく必要があります。☞7-17ページ①）

下記のアラーム撮影方法は、動く被写体を極力撮影できるようにしたものです。

1. センサーが感知した時のカメラの位置をまず1回撮影する（①）
2. 同じ方向をもう1回撮影する（②）
3. 各方向で撮影する（③④⑤）

極端に動きの速い被写体は正しく撮影されない場合があります。

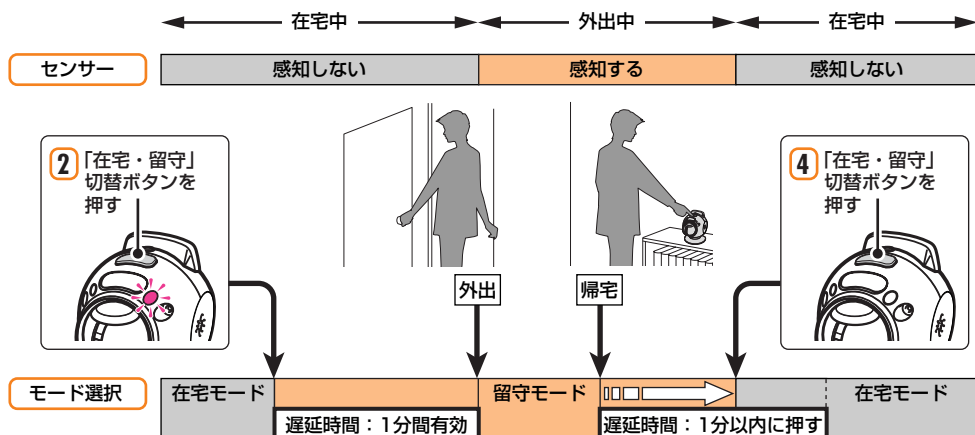
■ アラーム発生時のメール送信について

ホビカネットに加入している場合は、登録しているメールアドレス（携帯電話／パソコン）に、アラームが発生したことを通知するメールを送信します。メール送信はホビカネットが行ないます。
またカメラは、撮影した画像をホビカネットのサーバーに送信します。

カメラにメール送信を設定していた場合は、その送信先メールアドレスに通知メールを送信します。画像を添付することもできます。（☞7-15、16ページ）
メール送信はカメラが行ないます。

留守モード開始前の確認と設定

帰宅時の不要なメールを送信させない：初期値（1分）

遅延時間を設定すると、次のように外出後に留守モード（アラーム感知状態）になり、帰宅後の留守モード（アラーム感知・検知状態）の時に発生する不要なメールを送信しないようにします。

1 **アラーム設定でセンサー（モーションセンサー、人感センサー、外部センサー）を設定をする**
必要に応じてブザー、補助ライト、照明をON設定してください。

2 **外出の約1分前に「在宅・留守」切替ボタンを押す**
留守モードランプが点滅（短い間隔）し、在宅モードから留守モードに切り替わります。
この間（1分）を遅延時間＊といい、留守モードでも外出前の戸締まりなど点検してもセンサーは感知しません。
遅延時間はアラーム設定の「留守モード遅延時間」の項で変更できます。（☞7-14ページ⑨）

3 **留守モードに切り替えてから1分が経過すると、通常の留守モードになりセンサーが感知する**
通常、この間に各センサーの感知条件を満たす場合は、カメラはアラーム発生時の動作をします。（☞4-3ページ）

遅延時間を設定をしているので…

4 **帰宅時に自分自身が1分以内に、再度「在宅・留守」切替ボタンを押す**
帰宅時は留守モードのため自分自身が感知され、アラーム画像として撮影しますが、メール送信は中止されアラーム画像は削除されます。
この操作を行なわない場合は、撮影したアラーム画像とメールは送信されます。

設定した遅延時間を経過すると、再びセンサーが感知し、アラーム画像を撮影してメールを送信します。

パソコンでカメラを操作するには

5

各ボタンのなまえとはたらき

カメラにアクセスすると表示される画面について説明します。
ユーザー名「ADMIN」でアクセスする場合と「GUEST」でアクセスする場合では、画面や操作できる内容が異なります。

ユーザー名「ADMIN：管理者」でアクセスした場合の画面

クリックすると、本体の補助ライトが3分間点灯する
点灯している間に再度押すと、消えます。

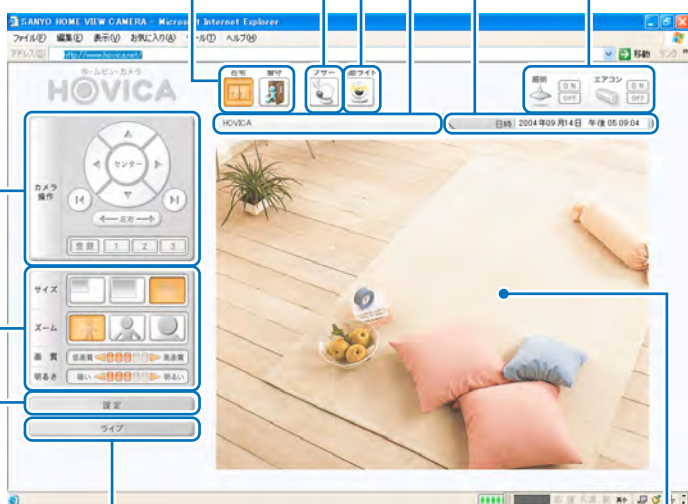
現在アクセスしているカメラのタイトル
変更することもできます。(☞7-11ページ①)

クリックすると、本体のブザーが90秒間鳴る
鳴っている間に再度押すと、止まります。

現在の日時を表示する
時刻合わせの方法は、7-3ページを参照してください。

留守モードと在宅モードを切り替える(☞4-2ページ)

照明とエアコンのON／OFFを、本体からリモート操作する
設定メニューの〔オプション設定〕で、リモコン操作したい機器のメーカーを設定しておく必要があります。(☞7-17ページ①②)

カメラレンズの向きを操作する
向きを登録しておいて、ワンタッチで切り替えることもできます。
(☞5-5ページ)

設定メニュー画面や各設定画面を表示しているときにクリックすると、ライブ画像に戻る

ライブ画像を表示する
クリックした位置にカメラの中心を移動することができます。
(☞5-6ページ)
またライブ画像を保存することもできます。(☞5-8ページ)

設定メニュー画面を表示する(☞7-2ページ)

ライブ画像のサイズ、ズーム、画質、明るさを調整する(☞5-7ページ)

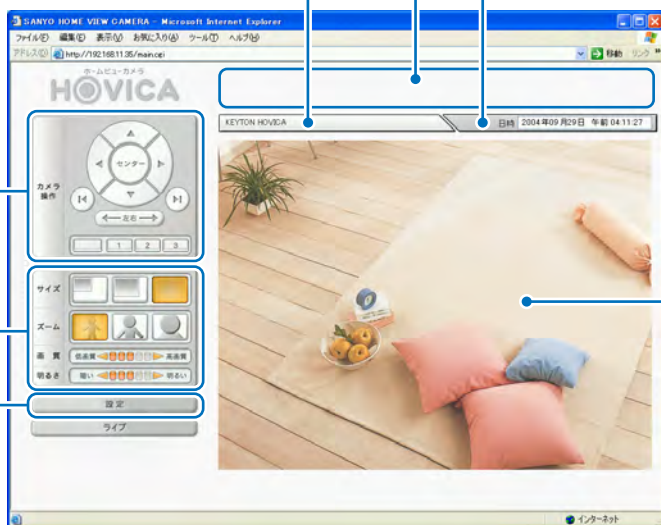
各ボタンのなまえとはたらき(つづき)

ユーザー名「GUEST:ゲスト」でアクセスした場合の画面

現在アクセスしているカメラのタイトル
「ADMIN」と同じ働きをします。

「GUEST」でアクセスするとこの部分は表示されません。

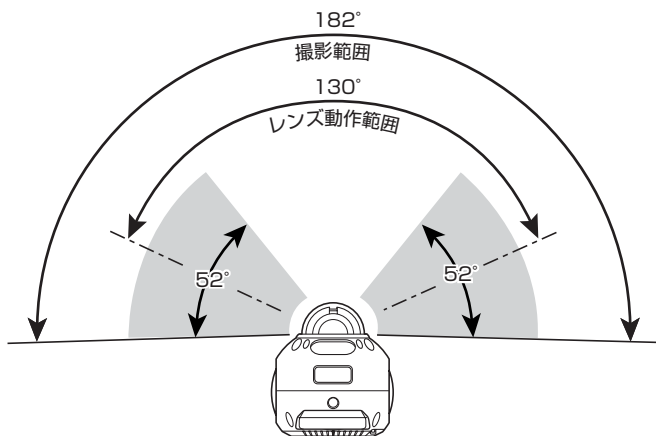
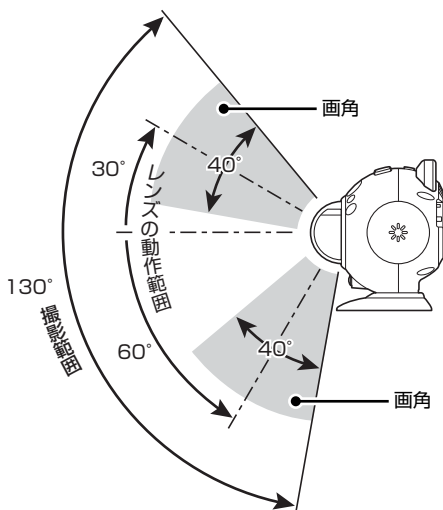
カメラレンズの向きを操作する
「ADMIN」と同じ働きをします。
ただし、カメラレンズの向きを登録することはできません。

現在の日時を表示する
「ADMIN」と同じ働きをします。

ライブ画像を表示する
「ADMIN」と同じ働きをします。

ユーザー名とパスワードを入力する画面を表示する
ユーザー名「ADMIN」とそのパスワード(初期値:ADMIN)を入力すると、設定メニュー画面を表示します。また画面上に[**在宅**]ボタンや[**留守**]ボタンなどを表示します。

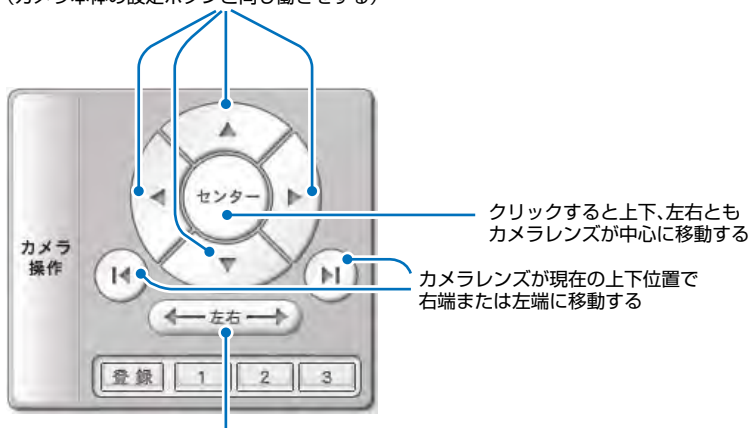
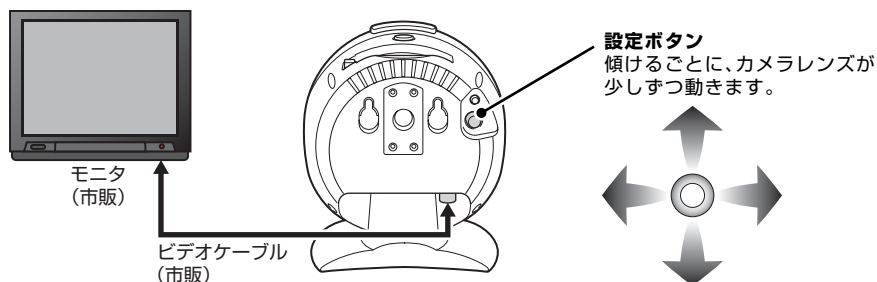
「ADMIN」と同じ働きをします。

カメラの撮影範囲について

左右の撮影範囲 ……182°

上下の撮影範囲 ……130°

カメラレンズの向きを変える

カメラレンズの向きは、ボタン操作で少しずつ動かすことができます。
向きを登録しておいて、ワンタッチで登録した場所を見ることができます。
またライブ画面上をマウスで左クリックすると、その位置にカメラの中心が移動します。
左クリックした位置がライブ画面の中心になります。

カメラレンズの向きを変えるには

カメラレンズの向きは、以下のボタンで上下左右に動かすことができます。

カメラの映像出力端子とテレビの映像入力端子間をビデオケーブルで接続すると、モニタ画面にライブ画像を表示することもできます。
この時は、カメラ後面の設定ボタンでカメラレンズの向きを変えることができます。

カメラレンズの向きを変える(つづき)

カメラレンズの向きを登録し、ワンタッチで登録場所を見る

カメラレンズの向きを3方向まで登録することができます。登録した方向には、ワンタッチで切り替えることができます。

登録、切り替えは、以下のボタンで行ないます。

現在のカメラレンズの向きを2に登録する

1 パンまたはチルトし、カメラレンズを登録したい方向に向ける

カメラレンズの向きを左右に動かすことを「パン」といいます。
また上下に動かすことを「チルト」といいます。

2 [登録] ボタンをクリックする

[登録] ボタンが [登録中] と表示されオレンジ色に変わります。

3 [2] ボタンをクリックする

確認のダイアログを表示します。

4 [OK] ボタンをクリックする

再度登録する場合は、くり返し 2 ～ 4 を行なってください。

以上で登録ができました。

- ズームは画像登録できません。
- カメラレンズの向きの登録やワンタッチ切り替えは、カメラ本体の向きを変えたり移動しないことを前提でご使用ください。カメラの向きを登録しても、カメラ本体を動かすと見たい方向を見ることができなくなるためです。
- 登録できるのは「ADMIN」でログインしたときのみです。

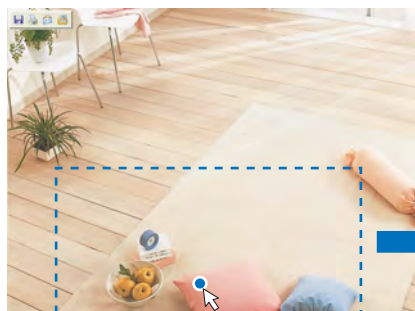
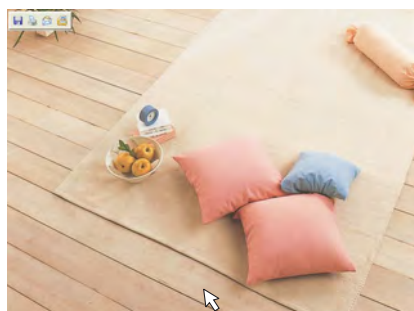
登録した方向にカメラレンズを切り替えるには

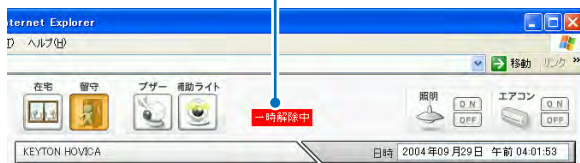
見たい場所を登録した番号ボタン [1] ～ [3] をクリックしてください。

カメラレンズの向きを変える(つづき)

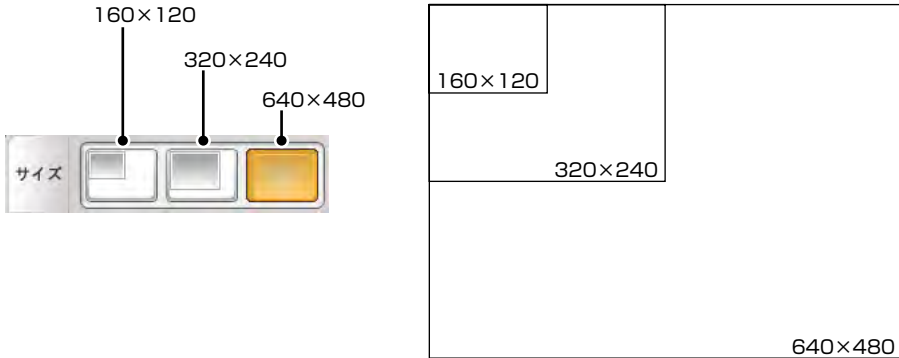
画面の中央に見たい部分を表示する

現在表示しているライブ画像の中で、マウスを左クリックすると、クリックした部分がライブ画像の中央に移動します。

クリック後の画面

マウスを左クリック

留守モード中にカメラレンズの向きを変えると、画面上に「一時解除中」が表示され、留守モードを一時的に解除します。これはカメラレンズの向きを変えることによって画像が変化し、アラームが発生するのを防ぐためです。

「一時解除中」点滅

サイズ／ズーム／画質／明るさを変更する

画像サイズを変更する

表示する画像サイズ（解像度）は3種類あり、 ボタンなどをクリックするとワンタッチで切り替えることができます。

画像サイズを小さくすると、画像のファイルサイズも小さくなるため、ライブ画像の表示が速くなるなど、通信の負荷を軽くできます。

表示する画像を拡大する

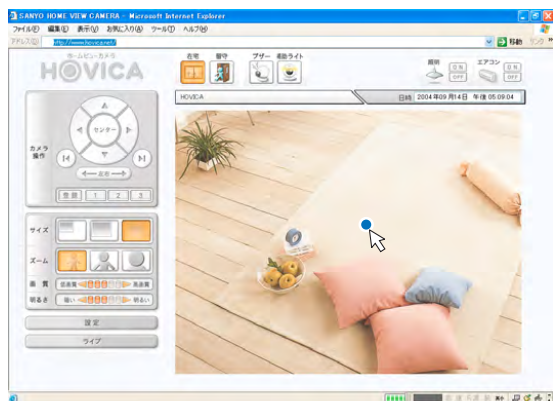
現在表示している画像は ボタンなどをクリックすると拡大することができます。画像は粗くなります。

画質、明るさを変更する

表示する画像の画質、明るさを または をクリックするごとに、1段階ずつ切り替えることができます。

ライブ画像をパソコンに保存する

現在表示しているライブ画像を、パソコンに保存することができます。
また、ライブ画像を印刷したり、コピーすることもできます。

ライブ画像の上でマウスを右クリックすると、ポップアップメニューを表示しますので、実行したいメニューをクリックしてください。

マウスを右クリック

画像はJPEG形式（ファイル名.jpg）で保存します。

携帯電話でカメラを操作するには

携帯電話でできること

ホビカネットに加入すると、携帯電話でライブ画像を見たり、アラーム通知を受け取ることなどができます。
また外出先からアクセスできるため、いろいろな使い方ができます。

携帯電話を使って、次のことができます。

メニュー項目	内容
1. ライブアクセス	現在のライブ画像（静止画）を表示します。カメラレンズを上下左右に動かしたり、ズームすることもできます。
2. ライブ一覧	保存したライブ画像を、ライブ画像一覧から選んで見ることができます。
3. アラーム一覧	センサーが何かを感知し、アラームが発生した時の画像をアラーム一覧から選んで見ることができます。
4. ただいま設定	ただいま設定を選択すると、3ショット画像を確認でき、リモコン照明、エアコンを同時にONにすることができます。（初期値）
5. 制御メニュー	留守モードや照明、エアコンをON／OFFできます。ブザーはONのみできます。

携帯電話に表示するメニューや操作方法は、携帯電話のメーカーや機種によって異なる場合があります。

携帯電話での操作方法について

携帯電話はメーカーや機種によってボタンの種類や名称が異なりますが、基本的な操作方法はほぼ同じです。

メニューを携帯電話の上下ボタンで選ぶ場合

メニュー項目を上下ボタンで選択し、決定ボタンを押すと、メニューが選択されます。

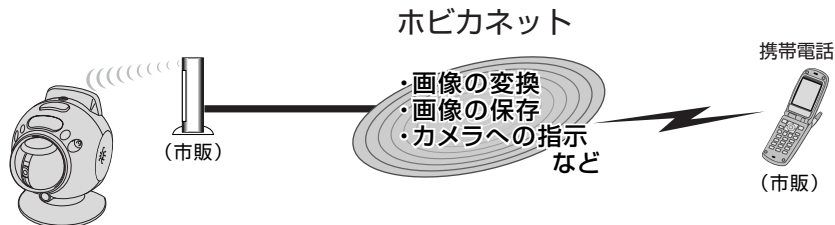
【例：〔1.ライブアクセス〕を選ぶ場合】
上下ボタンでライブアクセスを選び決定ボタンを押すと、〔ライブアクセス〕画面を表示します。

メニューを携帯電話の数字ボタンで選ぶ場合

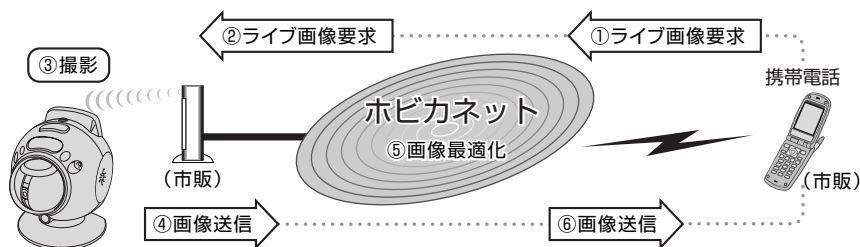
メニュー項目の左に番号がある場合は、その番号と同じ番号を携帯電話の数字ボタンで押すとメニューが選択され、そのメニュー画面を表示できます。

携帯電話からホビカネットを経由してカメラにアクセスすると、お使いの携帯電話の機種に合わせて画像を表示し、操作は機種に準じた方法で行なうことができます。

携帯電話でアクセスするしくみについて

ここでは、携帯電話でカメラにアクセスする際のしくみについて説明します。
しくみを理解することによって、各機能がどのような働きをするのかが分かりやすくなります。

一見、携帯電話とカメラは直接やりとりしているように思えますが、実際はホビカネットが常に両者の間を中継しています。
ここではホビカネットの役割を簡単に説明します。

- **画像の変換**：携帯電話の画面は、カメラが撮影する画像よりも小さいため、お使いの携帯電話に最適なサイズに画像を変換します。
- **画像の保存**：現在の状況を撮影した画像（ライブ画像）を、保存しておくことができます。また、アラーム発生時に撮影した画像はカメラからホビカネットに送信され、保存されます。パソコンから会員ページで画像を見る場合は削除もできます。
- **カメラへの指示**：カメラと携帯電話は、いわば異なる国の人同士のようなもので、お互いに直接コミュニケーションを取ることはできません。でも通訳が間に入れば、お互いの意思の疎通が図れます。ホビカネットはいわば通訳のような存在で、さまざまなメーカーの携帯電話とやりとりができます。
そのおかげで、携帯電話でカメラの方向を変えるなどの遠隔操作が可能となります。

このようにホビカネットが中継するからこそ様々な使い方ができるのですが、留意しておいてもらいたい注意点もあります。
携帯からライブ画像を見たいと指示（ライブアクセス）すると、それをサーバーがカメラに伝え、撮影し、ホビカネットに送信します。画像を携帯電話の画面に最適化してから携帯電話に送信、という手順になるため、見る画像はその時点よりも何秒か前のものとなります。

ホビカネットにアクセスする

携帯電話からカメラにアクセスするには、まずホビカネットに接続する必要があります。
ホビカネットに加入していないと、接続することはできません。
接続するには、加入時に登録していただいたIDとパスワード（PW）が必要です。

操作方法

1 携帯電話から以下のアドレス（URL）にアクセスする

ﾎﾋﾞｶﾈｯﾄ
ID:
PW:
ﾛｸﾞｲﾝ

アドレス：**http://hovica.net/**
アクセスすると、IDとパスワードの入力画面を表示します。

SSL対応の場合：
SSL対応の携帯電話では暗号通信が可能です。
https://hovica.net/ でアクセスできますが、画像表示に時間がかかります。場合によってはタイムアウトになり画像が表示できないことがあります。

2 IDとパスワードを入力し、ログインを押す

●ﾒﾆｭｰ
1.ﾗｲﾌﾞｱｸｾｽ
2.ﾗｲﾌﾞ一覧
3.ｱﾗｰﾑ一覧
4.ただいま設定
5.制御ﾒﾆｭｰ

文字の入力方法は、お使いの携帯電話によって異なります。
IDとパスワードが正しければ、メインメニュー画面が出ます。

IDまたはパスワードが間違っているとエラー画面が出ますので、もう一度正しいIDとパスワードを入力してください。

メインメニュー画面からの各メニューの使い方は、次ページ以降をご覧ください。

カメラを2台以上お使いの場合は

IDとパスワードを入力すると、カメラを選択する画面を表示します。

ID/パスワード入力 →

●ｶﾒﾗ一覧
1.ｶﾒﾗ1
（1Fﾘﾋﾞﾝｸﾞ）
2.ｶﾒﾗ2
（2F居間）

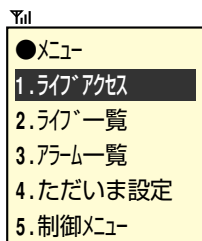
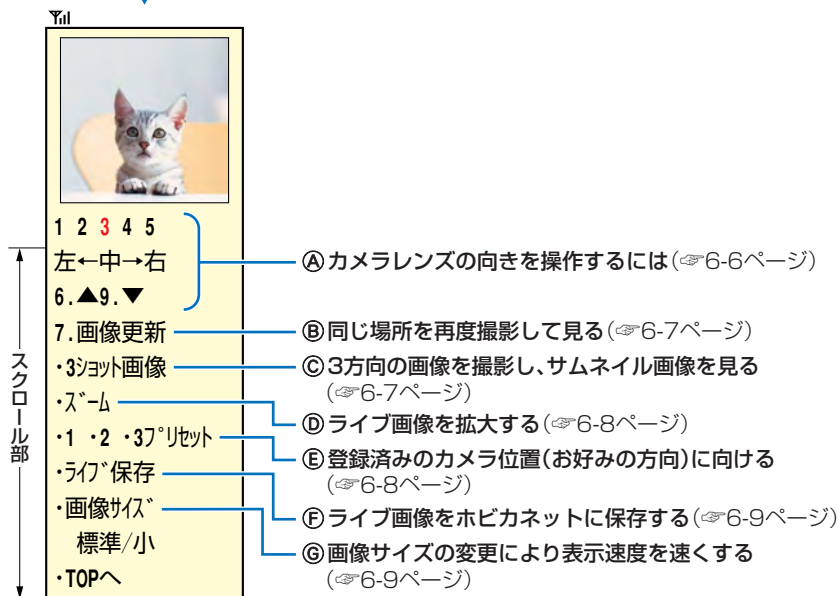
カメラを選択 →

●ﾒﾆｭｰ
1.ﾗｲﾌﾞｱｸｾｽ
2.ﾗｲﾌﾞ一覧
3.ｱﾗｰﾑ一覧
4.ただいま設定
5.制御ﾒﾆｭｰ

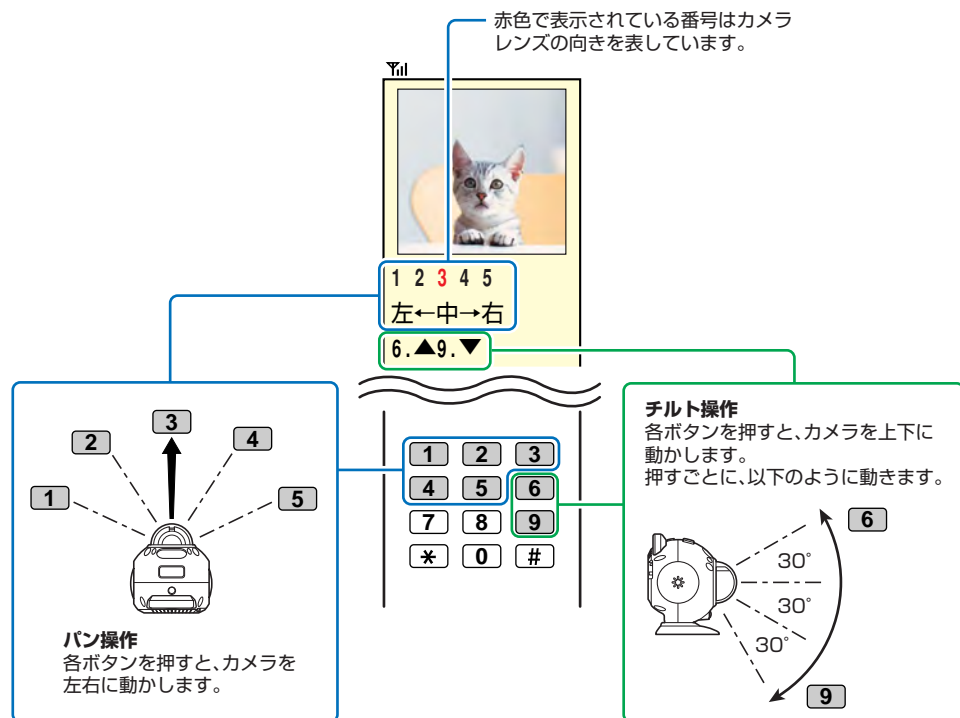
（見たいカメラを選択してください。）

カメラのタイトルは変更できます。7-11ページ①を参照してください。

ライブ画像（静止画）を見る

メインメニュー画面で〔1.ライブアクセス〕を選択すると、カメラが現在の画像を1枚撮影し、携帯電話の画面に表示します。これをライブ画像といいます。
ライブ画像を表示している状態では、さらに次のことができます。

上下ボタンを押して、決定ボタンを押す。（または数字の1ボタンを押す）

ライブ画像（静止画）を見る（つづき）

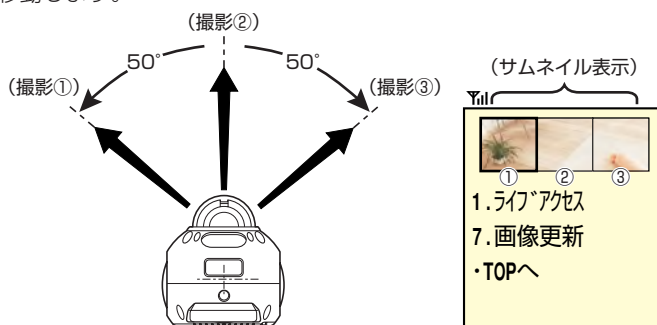
Ⓐカメラレンズの向きを操作するには

例えば外出先などから、携帯電話の上下ボタンでお好みの位置にカメラレンズを上下左右に動かすことができます。また、数字ボタンでも操作できます。

ライブ画像（静止画）を見る（つづき）

Ⓑ 同じ場所を再度撮影して見る（画像更新）

ライブアクセス画面の「画像更新」を選ぶと、もう一度同じ場所を撮影し、表示します。改めて最新の画像を見たいときなどに便利です。

Ⓒ 3方向の画像を撮影し、サムネイル画像を見る（3ショット画像）

ライブアクセス画面の「3ショット画像」を選ぶと、カメラをパン方向（左右）に左50°、中央、右50°で連続撮影し、3枚の画像を並べて表示します。カメラレンズは現在のチルト（上下）位置で水平方向に移動します。

携帯電話によっては、画像の表示のしかたが異なる場合があります。縦に並べて表示される場合は、上下ボタンで3枚目画像まで確認してください。

3ショット画像の1枚を通常の大きさにする

画像を選択して決定ボタンを押すと、通常の大きさで表示します。

1.戻る
・ﾗｲﾌﾞ保存
・TOPへ

〔1.戻る〕を選択すると、サムネイル表示の画面に戻ります。

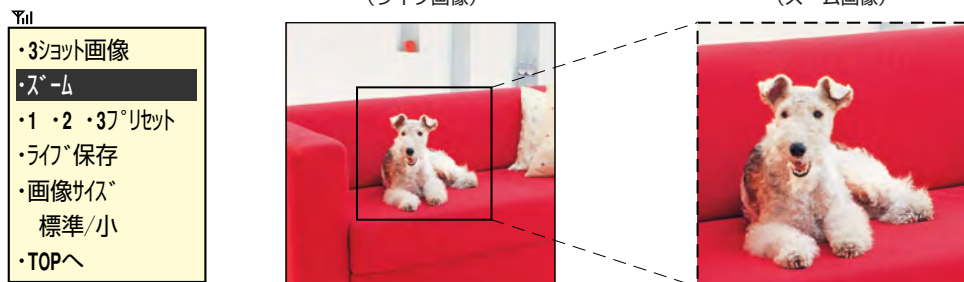
3ショット画像（サムネイル表示）を更新する

〔7.画像更新〕を選択し、決定ボタンを押すと、もう一度同じ場所の3ショット画像を撮影し、表示します。

ライブ画像（静止画）を見る（つづき）

Ⓓ ライブ画像を拡大する（ズーム）

ライブアクセス画面の「ズーム」を選ぶと、現在表示しているライブ画像の中央部を約2倍に拡大します。
この操作では、画像を切り抜いて拡大しますので、再度の撮影は行ないません。

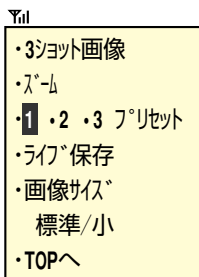
（ライブ画像）　（ズーム画像）

Ⓔ 登録済みのカメラ位置（お好みの方向）に向ける（1･2･3プリセット）

パソコンでの設定

「カメラレンズの向きを登録し、ワンタッチで登録場所を見る」（☞5-5ページ）でパソコンによりお好みの方向を3つまで登録してください。

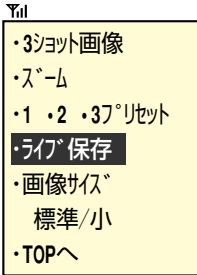
携帯電話での操作

ライブアクセスの「1・2・3プリセット」の各数字はパソコン設定で登録された方向が記録されていますので、上下ボタンでプリセット表示の左側の数字、1、2または3を選択し、決定ボタンを押してください。

・3ｼｮｯﾄ画像
・ｽﾞｰﾑ
・1　・2　・3　ﾌﾟﾘｾｯﾄ
・ﾗｲﾌﾞ保存
・画像ｻｲｽﾞ
標準/小
・TOPへ

ライブ画像（静止画）を見る（つづき）

Ⓕ ライブ画像をホビカネットに保存する（ライブ保存）

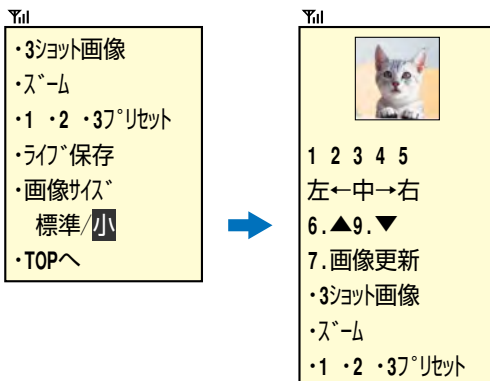
現在表示しているライブ画像を、ホビカネットに保存します。
保存したライブ画像は、「ライブ一覧」（☞6-10ページ）で見ることができます。

・3ｼｮｯﾄ画像
・ｽﾞｰﾑ
・1　・2　・3ﾌﾟﾘｾｯﾄ
・ﾗｲﾌﾞ保存
・画像ｻｲｽﾞ
　標準/小
・TOPへ

保存枚数について

ホビカネットには20枚が保存できます。保存可能な枚数を越えると、新しい画像を保存するたびに、一番古い画像が削除されます。
画像によって保存枚数は多少異なります。

Ⓖ 画像サイズの変更により表示速度を速くする（画像サイズ）

メインメニュー画面で〔1.ライブアクセス〕を選択するときは、上下ボタンで画像サイズの「小」を選択し、決定ボタンを押してください。標準に戻すには、「標準」を選択し、決定ボタンを押してください。

- **標準**：お使いの携帯電話に最適なサイズで表示します。（初期値）
- **小**　：標準サイズの約1／4のファイルサイズになりますので、パケット料金を節約したいときなどに便利です。

ライブ保存したライブ画像を見る

メインメニュー画面で〔2.ライブ一覧〕を選択すると、「ライブ保存」(☞6-9ページ)した画像撮影日時を一覧で表示します。
見たい日時を選択するとその画像を表示します。

1 上下ボタンでライブ一覧を選択する

●ﾒﾆｭｰ
1.ﾗｲﾌﾞｱｸｾｽ
2.ﾗｲﾌﾞ一覧
3.ｱﾗｰﾑ一覧
4.ただいま設定
5.制御ﾒﾆｭｰ

2 上下ボタンで見たい日時を選択する

選択したライブ画像が表示されます。

※撮影した日時が新しいものから順番にリスト表示されます。

アラーム発生により撮影された画像を見る

各センサーで感知されたアラーム画像は、5枚1組としてアラーム一覧に登録されます。

アラーム設定は7-13ページを参照してください。

アラームを検知すると携帯電話（またはパソコン）にアラームメールが発信されます。

1 受信したアラーム発生通知メールを表示する

カメラの①番号と②タイトル、③日時、④画像の保存先URL（アドレス）が記載されています。

2 上下ボタンでURLを選択する

IDとパスワードの入力画面が出ますので、IDとパスワードを入力してください。

3 上下ボタンで見たい日時を選択する

アラーム発生により撮影した日時の新しい順に上から表示しています。

アラーム一覧
・TOPへ
1)04.12.05 15:35
2)04.11.28 11:08
3)04.11.25 14:46
4)04.11.10 09:53

- 無反応検出時のアラームメールに記載されているURLを選択しログインすると、ライブアクセス画面を表示します。
- パソコンでアラームメール（無反応検出時含む）を受け取った場合のアラーム画像表示は下記の方法で行なってください。
  - パソコンからカメラにアクセスし、設定メニューの〔サーバー記録画像表示〕をクリック。（☞7-2、7-22ページ）
  - ホビカネット会員ページにログインし、［画像閲覧］の［アラーム記録画像］をクリック（カメラが複数あればカメラ選択ページが表示される）。（☞2-3ページの手順1）

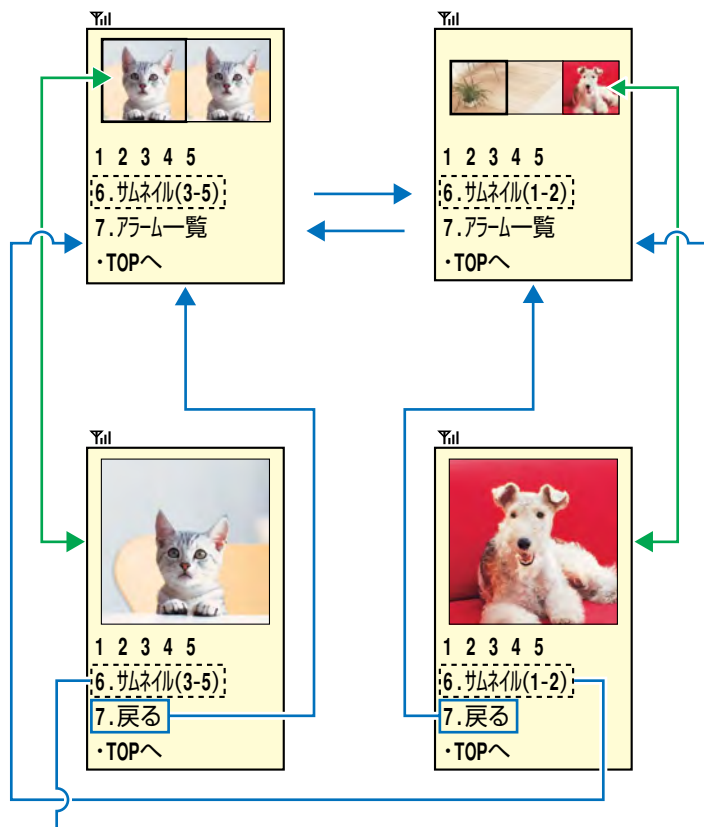
アラーム発生により撮影された画像を見る（つづき）

4 上下ボタンで表示させたサムネイルを確認する、また見たい画像を全画面表示させる

1 2 3 4 5
6.サムネイル(3-5)
7.アラーム一覧
・TOPへ

1 2 3 4 5
6.サムネイル(1-2)
7.アラーム一覧
・TOPへ

1 2 3 4 5
6.サムネイル(3-5)
7.戻る
・TOPへ

1 2 3 4 5
6.サムネイル(1-2)
7.戻る
・TOPへ

全画面表示を順番に見たい場合は、1から5（1 2 3 4 5）の数字を選択し決定ボタンを押してください。

アラーム発生により撮影された画像を見る(つづき)

メインメニュー画面からアラーム画像を表示する

1 上下ボタンでアラーム一覧を選択する

●メニュー
1.ライブアクセス
2.ライブ一覧
3.アラーム一覧
4.ただいま設定
5.制御メニュー

2 上下ボタンで見たい日時を選択する

アラーム一覧
・TOPへ
1)04.12.05 15:35
2)04.11.28 11:08
3)04.11.25 14:46
4)04.11.10 09:53

3 上下ボタンで見たい画像を選択する

撮影した5枚の画像のうち、1枚目と2枚目のサムネイルを表示します。
3枚目～5枚目を表示させる場合は、再度上下ボタンで「6.サムネイル(3-5)」を選択してください。

4 上下ボタンで見たい番号を選択する

画像を全画面で表示します。
またサムネイル表示に戻したいときは、上下ボタンで「6.サムネイル(1-2)」を選択してください。

「ただいま設定」の使い方

1 上下ボタンで「ただいま設定」を選択する

●ﾒﾆｭｰ
1.ﾗｲﾌﾞｱｸｾｽ
2.ﾗｲﾌﾞ一覧
3.ｱﾗｰﾑ一覧
4.ただいま設定
5.制御ﾒﾆｭｰ
・TOPへ

2 リモコン照明が動作後、3ショット画像を携帯電話にサムネイル表示する

1.ﾗｲﾌﾞｱｸｾｽ
7.画像更新
・TOPへ

設定後のお部屋の状況が確認できます。
帰宅すると、照明、エアコンはカメラのリモコン機能によりONになっています。

オプション設定の「ただいま設定」の項が ☑ の状態の場合は、自動的に次の状態になります。(パソコンからカメラにアクセスしてください。)

ただいま設定	☑ 画像送信
	☑ 照明
	☑ エアコン

- 在宅モードになる
- 3ショット画像が動作する状態になる
- リモコン照明、エアコンはON状態になる

パソコンで「ただいま設定」の各 ☑ を外すことにより動作しない様にできます。

外出先から携帯電話で操作する

メインメニュー画面で〔5.制御メニュー〕を選択すると、制御メニュー画面が表示します。

この操作を行なう前にパソコンで、照明やエアコンの動作確認をしておいてください。また照明やエアコンの機種によってはON／OFFできない場合があります。

（リモコン照明の機種により表示が異なります。）

留守モード：
留守モード(ON)と在宅モード(OFF)の切り替えができます。

使用例
- 留守モードにするのを忘れて出かけ、外出先から留守モードをONにする。
- 帰宅時に、ただいま設定をONにしたが、用事を思い出し（友人に出会うなど）帰宅を一時的に中断し留守モードをONにする。
- おかえり設定時、家の人が一度帰って来て、在宅モードになったまま出かけてしまった時に留守モードをONにする。

照明：
リモコン照明のON／OFFを切り替えることができます。

使用例
- 在宅のふりをするため、暗くなった時、照明をつけたり消したりする。
- 照明を消し忘れて外出した時、ライブ画像を見て確認し、照明を消す。
- 帰宅時に、ただいま設定をONにしたが、用事を思い出し（友人に出会うなど）帰宅を一時的に中断し照明をOFFにする。
- 帰宅前に照明をつける。

エアコン：
エアコンのON／OFFを切り替えることができます。

使用例
- 帰宅時に、ただいま設定をONにしたが、用事を思い出し（友人に出会うなど）帰宅を一時的に中断しエアコンをOFFにする。
- 帰宅時にエアコンをつける。
- エアコンを消し忘れた時。

ブザー：
ブザーをONにすると、90秒間ブザーが鳴ります。

ライブアクセス：
ライブ画面を表示します。

外出先でパソコンからも同じ操作ができます（ADMINユーザーログイン時）。その場合は、補助ライトもON／OFFできます。

パソコンでいろいろな設定をする

設定の前に

ここでは、カメラに設定できる様々な機能を説明します。

時刻設定 (☞7-3ページ)
現在の日付けと時刻を設定します。
インターネットで自動時刻調整するための設定もできます。

ネットワーク設定／有線LAN設定 (☞7-4ページ)
カメラをルータやパソコン、インターネットに接続するための設定、パスワードの設定などを行ないます。
有線 (LANケーブル) でインターネットに接続するための設定を行ないます。

無線LAN設定 (☞7-7ページ)
カメラとアクセスポイントを無線で接続するための設定を行ないます。

カメラ設定 (☞7-11ページ)
カメラのタイトルや逆光補正、ホワイトバランス、フリッカーレスの設定などを行ないます。

アラーム設定 (☞7-13ページ)
各種センサーのON／OFFと、センサーがON中にアラームが発生した時のカメラの働きを設定します。

メール送信設定 (☞7-15ページ)
アラームが発生した時に、カメラが直接電子メールで通知するための設定を行ないます。
画像を添付することもできます。
なお、ホビカネット契約時に登録した携帯電話のメールアドレスには、ここでの設定とは関係なく自動的に送信されます。
ここでの設定には、パソコンや携帯電話のメールアドレスを登録し、直接アラーム画像を見たい場合などにご利用ください。

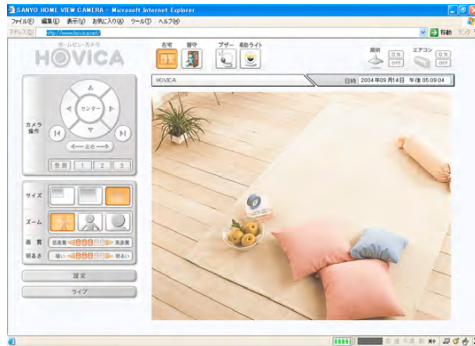
オプション設定 (☞7-17ページ)
カメラでON／OFFしたい照明器具やエアコンなどを設定します。また「ただいま設定」をONにした時の動作なども設定します。

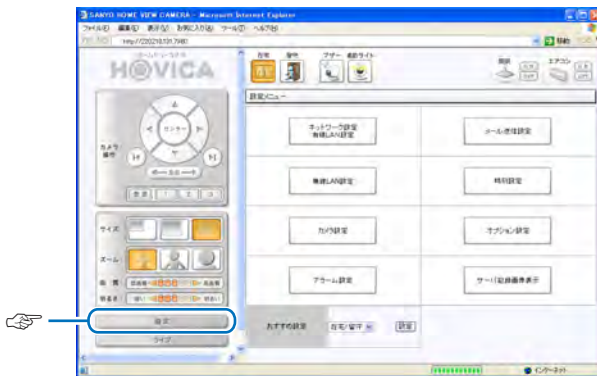
サーバー記録画像表示 (☞7-22ページ)
ホビカネットに接続し、ライブ、アラーム画像を選択し保存画像を表示します。ホビカネットに加入契約している必要があります。

おすすめ設定 (☞7-23ページ)

設定メニューの表示のしかた

1 付属のCD-ROMのセットアップソフトウェアでカメラにアクセスする

CD-ROMを入れると起動される画面で、[カメラ検索]→[接続] ボタンをクリックします。続けてユーザー名「ADMIN」とパスワードを入力しログインすると、カメラのライブ画像を表示します。
外出先からアクセスする場合は、ホビカネットの会員ページからカメラにアクセスするか、ブラウザのアドレスバーに **http://www.hovica.net/redirect/** を入力しカメラにアクセスすることによりライブ画像が表示されます。

2 〔設定〕をクリックする

設定メニューを表示します。

3 設定したい項目をクリックする

各項目の設定画面を表示します。
設定メニューに戻るには再度〔設定〕ボタンをクリックしてください。

時刻設定

カメラに現在の日付けと時刻を設定します。
インターネットで自動時刻調整するための設定もできます。
画像を撮影した年月日を記録するために必要ですので、必ず設定してください。

設定メニューで〔**時刻設定**〕をクリックすると、以下の画面を表示しますので各項目を設定してください。
設定後は、必ず［保存］をクリックしてください。
［保存］をクリックすると、秒は「0」からスタートします。

項目	内容
①日付	西暦、月、日をプルダウンメニューから選択します。
②現在時刻	午前／午後、時、分を設定します。
③時間制表示切替	時刻表示を12時間制にするか、24時間制にするかを設定します。
④自動時刻調整	ON／OFFを指定します。 ONにすると、カメラの電源を入れた時に、カメラの時刻をインターネット上の時計（NTPサーバー）に合わせます。
⑤同期時刻	自動時刻調整を行なう時刻を設定します。 〔自動時刻調整〕が〔OFF〕の時は設定できません。
⑥手動更新	今すぐに自動時刻調整を行ないたい時は、［更新］をクリックします。秒を正確に合わせるために時報などに合わせてクリックしてください。
⑦NTPサーバーアドレス	自動時刻調整を行なうためのNTPサーバーのアドレスを設定します。 初期値はホビカネットのNTPサーバーになっています。
⑧ログ	時刻合わせをした日時やその結果（OK／エラー等）などの記録を表示します。 表示例： 2004/12/30　13:53:54 NTPサーバー：cs.hovica.net NTP同期OK

ネットワーク設定／有線LAN設定

インターネットに接続するための設定を行ないます。カメラを有線（LANケーブル）で接続する場合と、無線で接続する場合とでは、設定項目が異なります。

設定メニューで〔**ネットワーク設定／有線LAN設定**〕をクリックすると以下の画面を表示しますので、各項目を設定してください。
設定後は、必ず［保存］ボタンをクリックしてください。

以下は有線LAN、無線LANのいずれで使用する場合も設定が必要です。

項目	設定値 （**太字**は初期値）	概要
①IPアドレス設定	**自動取得（DHCP）** ／固定	IPアドレスの設定方法を選択します。お使いのルータがUPnP対応の場合、「自動取得（DHCP）」のままでお使いください。 UPnP非対応の場合は「固定」にしてください。 （☞7-6ページ） 「固定」にした時は、〔IPアドレス〕、〔サブネットマスク〕、〔ゲートウェイ〕を設定する必要があります。
②DNSアドレス設定	**自動取得（DHCP）** ／固定	DNSアドレスを設定します。 〔IPアドレス設定〕が「自動取得（DHCP）」になっている場合は、ルータのIPアドレスが自動的にDNSアドレスとして設定されるので、〔DNSアドレス設定〕は「自動取得（DHCP）」のままでお使いください。 〔IPアドレス設定〕が「固定」の場合は、〔DNSアドレス〕にはプロバイダーから指定されている〔DNSアドレス〕を入力してください。

ネットワーク設定／有線LAN設定(つづき)

項目	設定値 (太字は初期値)	概要
③ポート番号	443	2台目以降のカメラに設定します。1台目またはカメラを1台のみ使用している場合、初期値のままで変更しないでください。 カメラを2台以上使用する場合は、他の機器やソフト（ネットワークゲームなど）が使用していない番号を設定してください。 （例：60001、60002、60003）
④パスワード (GUEST) パスワード (ADMIN)	GUEST ADMIN	パソコンからカメラにアクセスする時のパスワードを設定します。ユーザー名が「GUEST」の時と「ADMIN」の時のパスワードをそれぞれ入力します。入力できる文字数は半角英数字4～8文字です。**初期値は必ず変更してください。** （☞2-2ページ）
⑤通信暗号処理 (SSL)	**ON**／OFF	パソコンや携帯電話で、ライブ画像やホビカネットに保存している画像を見る時、画像を暗号化するかどうかを設定します。ONにすると、SSL（Secure Socket Layer）で暗号化されます。 暗号化はしてもしなくても、画像を見る時の操作に違いはありません。画像を盗み見されないためにも、暗号化することをお勧めします。ただしSSLに対応していない携帯電話をお使いの場合は、ホビカネットから携帯電話の間は暗号化を行ないません。 ※通信信号処理（SSL）をONでご使用の場合、利用状況によりパソコン画面の表示が遅くなることがあります。
⑥ホストネーム ⑦ドメインサフィックス		契約しているプロバイダーから〔ホストネーム〕と〔ドメインサフィックス〕が指定されている場合は、設定してください。

■ **ポート番号について**

- カメラは同一LAN内に最大4台まで接続できます。
- カメラを2台以上使用する場合は、2台目以降のカメラのポート番号を変更してください。（1台目は変更する必要はありません。）
  カメラを1台だけ使用する場合は、ポート番号を変更する必要はありません。

  参考：カメラのポート番号の初期値
  通信暗号処理（SSL）がON（初期値）の場合：443
  通信暗号処理（SSL）がOFFの場合　：80

- ポート番号を変更する時は、他の機器やソフト（ネットワークゲームなど）が使用していない番号を設定してください。

  例：60001、60002、60003

ポート番号は1～65535まで設定できますが、自由に使用できるポート番号は49152～65535までです。この範囲内で設定することをお勧めします。

ネットワーク設定／有線LAN設定(つづき)

有線LANで使用する場合は、以下のネットワーク設定が必要です。

ネットワーク設定

① IPアドレス設定		固定
DNSアドレス設定		自動取得(DHCP)
DNSアドレス	1	0 . 0 . 0 . 0
	2	. . .
ポート番号		443
パスワード (4-8)	Guest	***** [半角英数字]
	Admin	***** [半角英数字]
通信暗号処理 (SSL)		ON
ホストネーム		[半角(カナは除く)]
ドメインサフィックス		[半角(カナは除く)]

有線LAN設定

❶ IP アドレス	192 . 168 . 0 . 2
❷ サブネットマスク	255 . 255 . 255 . 0
❸ ゲートウェイ	0 . 0 . 0 . 0
❹ MACアドレス	08 - 00 - 7B - 81 - 21 - C7

保存

項目	初期値	概要
①IPアドレス設定	固定	(☞7-4ページ)
❶IPアドレス	192.168.0.2	プライベートIPアドレスを設定します。 プライベートIPアドレスとは、以下の範囲で任意に設定できるアドレスです。 **192.168.0.0～192.168.255.255** ただしルータのDHCP機能が働いていると、接続している機器にプライベートIPアドレスを自動的に割り当てます。そのため、ここで設定するアドレスと他の機器に割り当てられているアドレスが同じにならないように注意してください。 ルータによってはDHCPによる割り当て範囲が決められている場合がありますので、その時は割り当て範囲外の値をカメラに設定することをお勧めします。 詳しくはルータの説明書をご覧ください。
❷サブネットマスク	255.255.255.0	ほとんどの場合、初期値のままで使えます。
❸ゲートウェイ	0.0.0.0	LANとインターネットを中継する機器のアドレスを設定します。 ルータのLAN側のIPアドレスを設定してください。
❹MACアドレス	自動で表示する。	カメラのMACアドレスを表示します。変更はできません。

無線LAN設定

カメラを無線でアクセスポイントに接続するための設定です。
カメラに無線LANカードを挿入している場合に有効となります。
LANケーブルでインターネット接続する場合、設定する必要はありません。

設定メニューで〔**無線LAN設定**〕をクリックすると以下の画面を表示しますので、各項目を設定してください。
設定後は、必ず［保存］ボタンをクリックしてください。

項目	設定値 （**太字**は初期値）	概要
①通信モード	**インフラストラクチャ** ／アドホック	通信モードを選択します。 通常、アクセスポイント経由でインターネット接続する場合は「インフラストラクチャ」、インターネットに接続せず、カメラとパソコン（無線LANカード）で1対1で通信する場合に「アドホック」を選択します。 ※「アドホック」ではホビカネットに接続できません。
②無線LANアダプタ		無線でアクセスポイント（またはパソコンの無線LANカード）と通信できる状態の時、各項目の現在の状態を表示します。変更はできません。
③ファームウェアバージョン		
④MACアドレス	文字列（0〜9、A〜F 16進数）	無線LANカードのMACアドレスを表示します。変更はできません。

無線LAN設定(つづき)

項目	設定値 (**太字**は初期値)	概要
⑤通信速度 ⑥無線チャンネル		無線でアクセスポイント(またはパソコンの無線LANカード)と通信できる状態の時、各項目の現在の状態を表示します。変更はできません。
⑦ESS-ID	**HOVICA**	接続先のアクセスポイント(またはパソコンの無線LANカード)と同じ値を入力してください。
⑧BSS-ID		無線でアクセスポイント(またはパソコンの無線LANカード)と通信できる状態の時、各項目の現在の状態を表示します。変更はできません。
⑨電波状態		現在の電波状態を表示します。 (非常に強い/強い/中程度/弱い/非常に弱い)
⑩暗号化設定	**無効** /WEP64 /WEP128	カメラとアクセスポイント(またはパソコンの無線LANカード)の間で通信する際の暗号化方式を選択します。アクセスポイント(またはパソコンの無線LANカード)と同じ設定にしてください。 (アクセスポイントによっては、「WEP64/WEP128」をそれぞれ「WEP40/WEP104」と表記している場合があります。)
⑪暗号キー	**アスキー**/ヘキサ	下の〔暗号キー〕で入力する文字列コードを選択します。 アルファベットや数字を入力する場合は「アスキー」、16進数(0~9、A~F)で入力する場合は「ヘキサ」を選択します。 アクセスポイント(またはパソコンの無線LANカード)と同じ設定にしてください。
	文字列	4種類の暗号キーを登録できます。 アクセスポイント(またはパソコンの無線LANカード)と同じ設定にしてください。 入力できる文字数は以下のとおりです。 (表:WEP64 — ヘキサ 10文字、アスキー 5文字/WEP128 — ヘキサ 26文字、アスキー 13文字)
暗号キー選択	1~4	上の〔暗号キー〕で入力した1~4のうち、いずれかを設定します。
⑫IPアドレス	**192.168.1.2**	〔ネットワーク設定〕画面の〔IPアドレス設定〕を「固定」にした場合に設定してください。(☞7-6ページ)
⑬サブネットマスク	**255.255.255.0**	
⑭ゲートウェイ	**0.0.0.0**	

	ヘキサ	アスキー
WEP64	10文字	5文字
WEP128	26文字	13文字

有線LANの場合と無線LANの場合の設定例

カメラを有線LANに接続してインターネット接続する場合と、無線LANで接続する場合の設定例を示します。
設定内容はプロバイダーとの契約内容や接続する機器によって異なります。

有線LANでの設定例

ネットワーク設定

IPアドレス設定		自動取得(DHCP)
DNSアドレス設定		自動取得(DHCP)
DNSアドレス	1	0 . 0 . 0 . 0
	2	. . .
ポート番号		443
パスワード (4-8)	Guest	***** [半角英数字]
	Admin	***** [半角英数字]
通信暗号処理 (SSL)		ON
ホストネーム		[半角(カナは除く)]
ドメインサフィックス		[半角(カナは除く)]

有線LAN設定

IP アドレス	192 . 168 . 0 . 2
サブネットマスク	255 . 255 . 255 . 0
ゲートウェイ	0 . 0 . 0 . 0
MACアドレス	08 - 00 - 7B - 81 - 21 - C7

保存

有線LANの場合と無線LANの場合の設定例(つづき)

無線LANでの設定例

ネットワーク設定

IPアドレス設定		自動取得(DHCP)
DNSアドレス設定		自動取得(DHCP)
DNSアドレス	1	0 . 0 . 0 . 0
	2	. . .
ポート番号		443
パスワード (4-8)	Guest	***** [半角英数字]
	Admin	***** [半角英数字]
通信暗号処理 (SSL)		ON
ホストネーム		[半角(カナは除く)]
ドメインサフィックス		[半角(カナは除く)]

有線LAN設定

IP アドレス	192 . 168 . 0 . 2
サブネットマスク	255 . 255 . 255 . 0
ゲートウェイ	0 . 0 . 0 . 0
MACアドレス	08 - 00 - 7B - 81 - 21 - C7

保存

無線LAN設定

通信モード	インフラストラクチャ
無線LANアダプタ	SANYO WLC-CF10A
ファームウェアバージョン	0.1_30
MACアドレス	00 : 03 : 24 : 20 : 01 : 52
通信速度	11 Mbps
無線チャンネル	11 [ARIB]
ESS ID	001122334455 [半角(カナは除く)]
BSS ID	00 : 0D : 0B : 1A : 61 : CD
電波状態	非常に強い
暗号化設定	WEP128
暗号キー	アスキー ◉ 1 : 1234567890123 [半角(カナは除く)] ○ 2 : [半角(カナは除く)] ○ 3 : [半角(カナは除く)] ○ 4 : [半角(カナは除く)]
IPアドレス	192 . 168 . 11 . 100
サブネットマスク	255 . 255 . 255 . 0
ゲートウェイ	192 . 168 . 0 . 3

保存

カメラ設定

カメラのタイトルを設定します。
また逆光の補正やホワイトバランスの調整なども行なえます。

設定メニューで〔**カメラ設定**〕をクリックすると以下の画面を表示しますので、各項目を設定してください。
設定後は、必ず［保存］ボタンをクリックしてください。
この画面での設定を初期値に戻す時は、［リセット］をクリックしてください。
［リセット］をクリックすることにより、カメラタイトルは、初期値に戻りませんので、そのままご使用になれます。

項目	設定値（**太字**は初期値）	概要
①カメラタイトル	HOVICA	“HOVICA” を削除してカメラのタイトルを入力してください。入力できる文字数は、全角、半角のどちらを使っても最大16文字です。 設定したタイトルは、以下の場面で使われます。 •ライブ画像を表示している時、画像の上に表示 •アラームが発生した時に、カメラが直接送信するメールの本文 •カメラを2台以上接続し、外出先からホビカネットにアクセスした時…など
②逆光補正	**OFF**／ON	カメラを設置した場所が逆光で見づらい時、「ON」にします。
③ホワイトバランス	**自動設定**／手動	「自動設定」では画像が全体的に赤みがかったり黄色がかったりするなど、色合いが不自然になる場合があります。この場合は「手動」に切り替えて、〔赤〕や〔青〕の値を1～191の範囲で調整してください。
④フリッカーレス	**OFF**／ON	電源周波数が50Hzとなる東日本地域では、蛍光灯の下で撮影した場合、画像にフリッカー（ちらつき）が発生する場合があります。このような場合は「ON」にすると、フリッカーを軽減することができます。

カメラ設定(つづき)

ホワイトバランスの調整のしかた

ホワイトバランスを「自動設定」にしていると、画像が全体的に赤みがかったり黄色がかったりするなど、色合いが不自然な場合は、以下の手順でホワイトバランスを調整してください。

- **ホワイトバランスの調整は、必ずカメラを設置する部屋で行なってください。また照明をつけている場合に色合いが不自然な場合は、照明をつけた状態でホワイトバランスの調整を行なってください。**
- **夕日が入るなど、明かりの色み(色温度といいます)が変化する部屋にカメラを設置する場合は、「自動設定」にすることをお勧めします。**

準備 真っ白の紙または布をご用意ください。

1 **真っ白の紙または布を、カメラの画面いっぱいに映す**
ズームはしないでください。

2 **〔カメラ設定〕画面の〔ホワイトバランス〕を「手動」にする**

3 **映した紙または布が白くなるように、〔赤〕や〔青〕の[◀]/[▶]ボタンをクリックする**
以下の表を参考に調整してください。
カッコ内は、必要に応じて調整してください。

現在の画面の色合い	〔赤〕の値	〔青〕の値
赤い	小さくする	(大きくする)
青い	(大きくする)	小さくする
黄色い	小さくする	大きくする
緑	大きくする	大きくする
紫色(マゼンタ)	小さくする	小さくする
青緑(シアン)	大きくする	(小さくする)

アラーム設定

留守モードで、どのセンサーを働かせるかや、アラーム発生時の動作などを設定します。
また在宅モードの無反応検出モードの設定も行ないます。
留守モードにする時は、〔モーションセンサー〕、〔人感センサー〕または〔外部センサー入力〕のいずれかを「ON」にしてください。〔無反応検出モード〕の時間を設定した時も同様です。
留守モードや在宅モードについては、4-1ページを参照してください。

設定メニューで〔**アラーム設定**〕をクリックすると以下の画面を表示しますので、各項目を設定してください。
設定後は、必ず［保存］ボタンをクリックしてください。

項目	設定値 （**太字**は初期値）	概要
①モーションセンサー	OFF／低／**中**／高	画面変化から、人や動物などの動きを感知するセンサーの設定です。 ONの時の感度は、右の画面でテストできます。 ［テスト］をクリックするとセンサーが働き、何かを感知すると［アラーム］表示が赤くなります。 モーションセンサーについて詳しくは3-1ページをご覧ください。
モーションスキャン	**ON**／OFF	上記のモーションセンサーを低／中／高のいずれかに設定しているとき、この設定ができます。 モーションスキャンとは、モーションセンサーを自動的に3方向に移動し、動きを検出する機能です。 詳しくは3-1ページをご覧ください。
②人感センサー	**ON**／OFF	感知範囲内の温度変化を検出するセンサーです。 詳しくは3-2ページをご覧ください。

アラーム設定（つづき）

項目	設定値 （**太字**は初期値）	概要
③外部センサー入力	OFF／ **ノーマルオープン**／ ノーマルクローズ	カメラのセンサー入力端子に別途外部センサーを接続している場合、その機器に合わせて「ノーマルオープン」または「ノーマルクローズ」に設定してください。 **ノーマルオープン（NO）：** ノーマルオープンでアラーム信号を検出します。（ノーマルオープンとは、スイッチが常時オープン（離れている）している状態から、クローズ（ショートする）になったときにアラーム信号を検出する方法です。） **ノーマルクローズ（NC）：** ノーマルクローズでアラーム信号を検出します。（ノーマルクローズとは、スイッチが常時クローズ（ショートする）している状態から、オープン（離れている）になったときにアラーム信号を検出する方法です。）
④外部センサー出力	**OFF**／ ノーマルオープン／ ノーマルクローズ	
センサー出力時間	**5秒**／10秒／15秒／20秒／30秒／1分／2分／3分／4分／5分	外部センサー出力を「ノーマルオープン」または「ノーマルクローズ」に設定している時、アラーム発生時に外部センサーにアラーム信号を出力する時間を設定します。
⑤ブザー	**ON**／OFF	各センサーが感知した時にこれらの機能が動作するかどうかをON／OFFで設定します。
⑥補助ライト		
⑦照明		
⑧無反応検出モード	**OFF**／1～24時間	在宅モード時に無反応検出モードにしたいときに、検出までの時間を設定します。 ここで設定した時間内にセンサーが何も感知しないと、メールを送信します。（画像は添付しません） どのセンサーで検出するかは、アラーム設定項目（モーションセンサー、人感センサー、外部センサー）で設定した内容で働きます。 ブザー、補助ライト、照明はONにしていても働きません。
⑨留守モード遅延時間	0秒／30秒／**1分**／2分／3分／4分／5分	「帰宅時の不要なメールを送信させない」をご参照ください。（☞4-4ページ）

メール送信設定

メール送信を「ON」にすると、アラームが発生した時、パソコンや携帯電話のメールアドレスに直接メールを送信したい時に設定します。
ホビカネットに加入している場合、加入時に登録した「転送先メールアドレス」にメールを送信します。

設定メニューで〔**メール送信設定**〕をクリックすると以下の画面を表示しますので、各項目を設定してください。
設定後は、必ず［保存］ボタンをクリックしてください。

プロバイダーから提供されている情報は、大文字／小文字を区別し、必ず半角で正確に入力してください。
大文字／小文字が間違っていたり、全角で入力すると、メールを正しく送信できません。

項目	設定値 （**太字**は初期値）	概要
①メール送信	OFF／**ON**	アラームが発生した時に、パソコンのメールアドレスに直接メールを送信したい時、「ON」にします。「ON」にした時は、「SMTPサーバーアドレス」以降を設定してください。
②SMTPサーバーアドレス	ご自分で入力する。	プロバイダーから提供されたSMTPサーバーアドレスを入力してください。一般的には、メールアドレスの「@（アットマーク）」より後ろの文字がSMTPサーバーアドレスです。 例：mail.sanyo.jp

メール送信設定(つづき)

項目	設定値 (**太字**は初期値)	概要
③送信元メール アドレス	ご自分で入力する。	プロバイダーから提供されたメールアドレスを入力します。
④送信先メール アドレス	ご自分で入力する。	送信先のメールアドレスを3つまで登録できます。 送信したいアドレスには、左のチェックボックスにチェックを入れてください。 アラーム発生時の画像を添付したい時は、〔添付画像〕欄のチェックボックスにチェックを入れてください。 ただし無反応検出時は、チェックボックスにチェックを入れても画像を添付しません。
⑤認証	**使用しない**／ SMTP POP3 before SMTP	メールを送信するにあたって認証手続きが不要な場合は、「使用しない」にします。 必要な場合は、「SMTP」認証か「POP3 before SMTP」かを指定します。
⑥ユーザーID	ご自分で入力する。	メールを送信するにあたって認証手続きが必要な場合、そのIDとパスワードを入力します。認証が必要かどうかは、契約しているプロバイダーによって異なります。
⑦パスワード		
⑧POP3サーバー アドレス	ご自分で入力する。	「POP3 before SMTP」で認証手続きを行なう場合、そのPOP3サーバーアドレスを入力します。
⑨件名	**カメラのアラーム発生**	カメラのセンサーが感知し、メールを送信する時の件名(Subject)を設定します。 初期値は変更することができます。 入力できる最大文字数は、全角で16文字です。
⑩本文	**アラームが発生しました!**	本文には「(カメラタイトル)(日時)アラームが発生しました!」というメッセージが記載されます。追加のメッセージを付けたい場合、入力します。 入力できる最大文字数は、全角で32文字です。

オプション設定

カメラを使って、外出先から照明やエアコンをON／OFFするための設定や、その他の設定を行ないます。

設定メニューで〔**オプション設定**〕をクリックすると以下の画面を表示しますので、各項目を設定してください。
設定後は、必ず［保存］ボタンをクリックしてください。

<table>
<tr><th>項目</th><th>設定値
（太字は初期値）</th><th>概要</th></tr>
<tr><td>①照明</td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2">カメラからリモコンでON／OFFするために、事前に使用する機器のメーカーを選択し、［ON］／［OFF］ボタンで動作するか確認してください。
リモコンの送信範囲については1-4ページを参照してください。
使用する機器のメーカーによってはリモコン方式が異なり、［ON］／［OFF］ボタンの形状や動作が異なります。</td></tr>
<tr><td>②エアコン</td></tr>
<tr><td>③ただいま設定</td><td>画像送信 ：☑
照明 ：☑
エアコン ：☑</td><td>携帯電話で「ただいま設定」を選択したときに動作させたくない機能のチェックをはずすことにより、動作しないように設定します。（☞6-14ページ）
☑：ONです。</td></tr>
<tr><td>④サーバー記録画像画質</td><td>標準／高画質</td><td>センサーが感知した時に、ホビカネットに保存するアラーム発生時の画像の画質を設定します。ホビカネットに加入している必要があります。
「高画質」にすると、画質は良くなりますが、1枚あたりのファイルサイズが大きくなり、ホビカネットに保存できる画像枚数が「標準」よりも少なくなります。</td></tr>
</table>

オプション設定(つづき)

項目	設定値(**太字**は初期値)	概要
⑤外部アクセスブザー	ON／**OFF**	ONに設定すると在宅モード時、外部のインターネット上からカメラにアクセスがあった場合に、だれかがアクセスしていることを知ることができます。
⑥外部アクセス補助ライト	**自動**／OFF	外部からカメラにアクセスした時、自動的に補助ライトを点灯します。パソコンからアクセスした時は、カメラの設置場所が暗い場合にのみ補助ライトを点灯します。
⑦カメラの再起動		[再起動] をクリックすると、ただちにカメラの再起動を行ないます。これまでに設定した内容はそのまま継承します。
⑧ユーザー設定値		カメラに設定している内容を、パソコンのハードディスクの任意の場所に保存します。 保存した設定値を、[読込み] ボタンで復元することができます。(次ページを参照)
⑨工場出荷値に戻す		カメラにこれまで設定した内容を、すべて工場から出荷された時(初期値)の状態に戻します。 ただし工場出荷値に戻すと、これまで設定した内容はすべて失われますので、その前に〔ユーザー設定値〕の保存をしておくことをお勧めします。
⑩ホビカネットホームページ		ホビカネットのトップページを表示します。
⑪バージョンアップ		パソコンに保存しているファームウェア(カメラを動かすための基本ソフト)のバージョンアップファイルを読み込み、バージョンアップします。 あらかじめ弊社ホームページからバージョンアップファイルをダウンロードしておく必要があります。 現在のバージョンを表示していますので、新しくファームウェアが更新された場合はダウンロードし、このページでバージョンアップをしてください。 操作方法はユーザー設定値の読み込みと同じですので、7-21ページを参照してください。
⑫サーバー通信診断テスト		[実行] ボタンをクリックすると、ホビカネットへの接続を開始し、ホビカネット加入後のサービスを受けられる状態かどうかを診断します。1つでもエラーがあると、会員サービスを正常に受けることができません。 その場合は、弊社サポートセンターにご連絡ください。

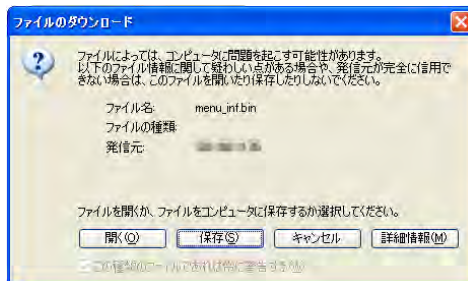
ユーザー設定値の保存と読み込み

これまで各設定画面で保存した内容を、パソコンのハードディスクの中に保存できます。
設定内容が分からなくなり、カメラが思うように動かなくなった場合は、〔工場出荷値に戻す〕を行なってください。
ただし〔工場出荷値に戻す〕をすると、これまで各設定画面で保存した内容が失われますので、その前にユーザー設定値の保存をしておくと便利です。

ユーザー設定値を保存するには

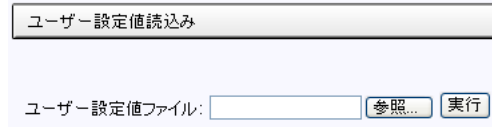
〔オプション設定〕画面で以下の操作をします。

1 ユーザー設定値の［保存］ボタンをクリックする

〔ファイルのダウンロード〕ダイアログを表示します。
ウィルスなどが勝手に保存されないように確認するための画面です。

2 ［保存］ボタンをクリックする

〔名前を付けて保存〕ダイアログを表示します。

3 フォルダを指定し、［保存］ボタンをクリックする

保存を実行します。
ファイル名は変更しないでください。
次に読み込む時のために、保存先とファイル名を紙などに控えておいてください。
保存が完了すると〔ダウンロードの完了〕ダイアログを表示します。

4 ［閉じる］ボタンをクリックする

ユーザー設定値の保存と読み込み(つづき)

ユーザー設定値を読み込むには

〔オプション設定〕画面で〔ユーザー設定値〕の［読込み］ボタンをクリックすると、以下の画面を表示します。

1 ［参照］ボタンをクリックする

〔ファイルの選択〕ダイアログを表示します。

2 保存先のフォルダとファイルを指定し、［開く］ボタンをクリックする

〔ユーザー設定値ファイル〕欄にパス（フォルダの経路）とファイル名（menu_inf.bin）が入力されます。

3 ［実行］ボタンをクリックする

ユーザー設定値の読み込みを実行します。読み込みには少し時間がかかります。
読み込み終了後、電源を入れたときと同じ動作を行ないます。

バージョンアップ

アップデートプログラムをダウンロードするには

バージョンアップ情報は弊社のホームページ http://www.sanyo-ipc.com/ に掲載されますので、定期的にご確認ください。新しいファームウェアがあったときは、弊社ホームページ（ホビカネットのホームページからもジャンプできます）から画面の指示に従ってダウンロードし、保存してください。このとき、**ファイル名を変更するとバージョンアップできなくなりますのでご注意ください。**

バージョンアップするには

〔オプション設定〕画面で〔バージョンアップ〕の項の［実行］ボタンをクリックすると、以下の画面を表示します。

1 ［参照］ボタンをクリックする

〔ファイルの選択〕ダイアログを表示します。

バージョンアップ

ファームウェアファイル： E:¥041025¥hsa10100.bin ［参照...］［実行］

2 保存先のフォルダとファイルを指定し、［開く］ボタンをクリックする

パス（フォルダの経路）とファイル名が入力されます。

3 ［実行］ボタンをクリックする

「ファームウェアファイル転送中」画面、「バージョンアップ実行中」画面を表示します。
ファームウェアの読み込みには少し時間がかかります。

4 作業が終了すればライブ画面を表示する

5 〔オプション設定〕にてバージョンが新しくなっていることを確認する

- いつまでたっても画面が変化せずライブ画面が表示されない場合は、一旦ブラウザを閉じたのち再度カメラにアクセスし、〔オプション設定〕にてバージョンが新しくなっていない場合は、再度バージョンアップを行なってください。
  カメラ本体の電源は切らないでください。故障の原因になる可能性があります。
- バージョンアップは、遠隔地からは行なわないでください。必ずカメラと同一LAN内のパソコンで行なってください。バージョンアップの実行中は、カメラの留守モードランプが速く点滅します。点滅が終了し、カメラレンズが自動的に動いたらバージョンアップは終了です。この後はカメラの電源を切ってもかまいません。

サーバー記録画像表示

ホビカネットに接続されたライブ画像、アラーム画像の選択ページを表示します。どちらか見たい方を選択すれば、それぞれの保存画像ページを表示できます。
ホビカネットに加入している必要があります。

設定メニューの〔**サーバー記録画像表示**〕をクリックすると、IDとパスワードを入力する画面を表示します。
ホビカネット加入時に登録したIDとパスワードを入力してください。

おすすめ設定

おすすめ設定とは、いくつかの状況を想定してセンサーのON／OFFや、センサーが感知した時の補助ライトやブザーのON／OFFをあらかじめ設定している機能です。

各おすすめ設定メニューを設定すると、センサー、補助ライト、ブザー、外部アクセスブザー、留守モードへの切替えのON／OFF、可／不可が自動的に設定されます。（下表）
おすすめ設定には以下の3種類があり、ワンタッチで切り替えることができます。

- **在宅/留守** ： **在宅時と留守中を切り替える標準的な設定**
  在宅モード時はセンサーは無効になり、留守モード時にはセンサーが何かを感知するとアラームを発生します。
- **ペット** ： **ペットと同居していて、外出先からペットの様子を見る場合にお勧めの設定**
  センサーはすべてOFFになり、留守モードには切り替えできません。
  誤って留守モードにしてしまうとセンサーが働き、アラームが発生するとペットを驚かせてしまいます。このような設定ミスを防ぎたい時に便利です。
- **おかえり** ： **家族が帰宅したことを、外出中の人にお知らせしたい時に便利な機能**
  アラーム発生時にはブザーは鳴らず、設定先のメールアドレスに画像を添付して送信します。
  また1度のアラーム発生で「在宅モード」に切り替わります。

おすすめ設定メニュー	センサー（すべて）	補助ライト（アラーム発生時）	ブザー（アラーム発生時）	外部アクセスブザー	留守モードへの切替え
在宅／留守	ON	ON	ON	OFF	可
ペット	OFF	ON	ON	OFF	不可
おかえり	ON	ON	OFF	OFF	可※

※アラーム発生後、在宅モードへ自動切り替え

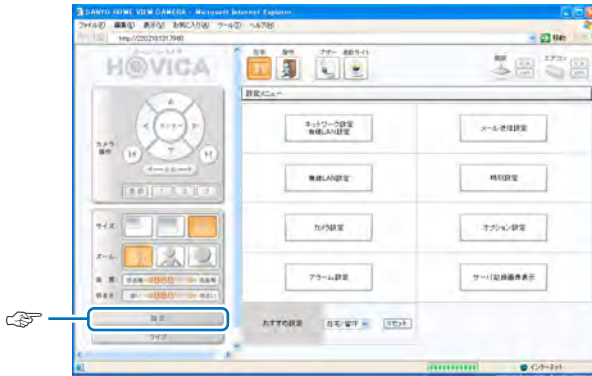
留守モード中にどのセンサーを働かせるかや、アラーム発生時にカメラをどのように動作させるかなどを個別に設定することもできます。

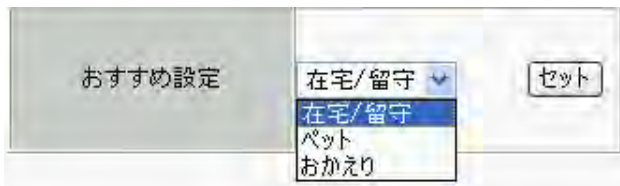
おすすめ設定(つづき)

おすすめ設定のしかた

パソコンからカメラにアクセスした時に表示する画面で設定します。
宅内からでも外出先からでも設定することができます。
アクセス方法については2-3、7-2ページを参照してください。

1 ライブ画像を表示している画面で〔設定〕をクリックする

設定メニューを表示します。

2 〔おすすめ設定〕の をクリックする

メニューを表示します。

3 設定したいメニューをクリックする

おすすめ設定(つづき)

4 セット ボタンをクリックする

5 ボタンを押して、留守モードに切り替える

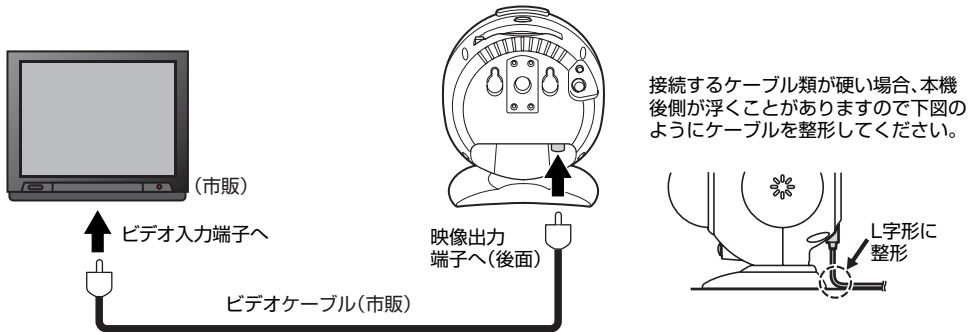
設定内容は〔**アラーム設定**〕画面や〔**メール送信設定**〕画面、〔**オプション画面**〕で確認できます。
また設定項目を個別に変更することもできます。
設定項目の内容や変更方法については「**7 パソコンでいろいろな設定をする**」を参照してください。

アラーム設定などを任意に設定した内容は、おすすめ設定を設定すると消去されます。
これまでの設定内容を保存したいときは、〔オプション設定〕画面でユーザー設定値の保存をしてください。(☞7-19ページ)

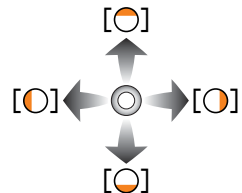
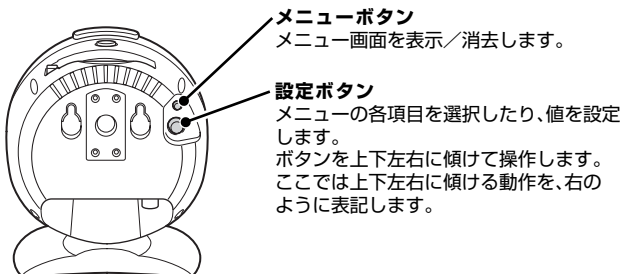
テレビに接続して設定をする

この設定でできること

テレビに接続して設定できる項目は、下記の4項目です。
パソコンが一時的に使えない、あるいは接続できない場合に、この方法で設定してください。
無線LANで使用する場合は、無線LANカードを装着してから設定を行なってください。

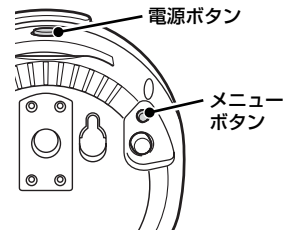
接続するケーブル類が硬い場合、本機後側が浮くことがありますので下図のようにケーブルを整形してください。

テレビに接続して設定できるのは、以下の項目です。

項目	概要	参照
時刻設定	現在の日付けと時刻を設定します。	P8-3
ネットワーク設定	カメラをインターネットに接続するための設定を行ないます。	P8-5
アラーム設定	センサーのON／OFFや感度を設定します。 またセンサーが感知した時にブザーや補助ライト、照明をONにするかどうかなどを設定します。	P8-17
工場出荷リセット	カメラの設定をご購入時の状態（初期値）に戻します。	P8-19

各設定は、カメラの以下のボタンで行ないます。

メインメニュー画面の表示のしかた

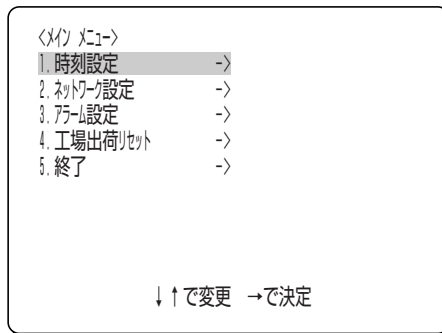
各設定は、メインメニュー画面から行ないます。
カメラとテレビを接続してから行なってください。

1 テレビとカメラの電源を入れる

テレビをビデオ入力にしてください。

2 メニューボタンを約1秒間、押し続ける

テレビにメインメニュー画面が出ます。
メインメニュー画面が出たら、ボタンを離してください。

メニューボタンを5秒間押し続けると、無線LANの自動設定（AOSS）を開始します。その場合は、電源ランプが速く点滅しますのでご注意ください。もしAOSSが開始した時は、カメラの電源をOFFにしてください。

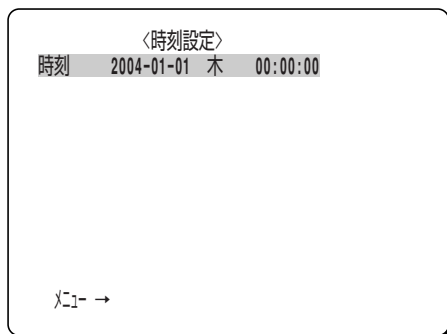
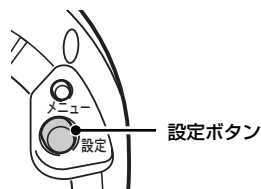
以降の操作の説明は、下記の画面から行ないます。

メニューや各項目の設定画面を消す時は、再度カメラのメニューボタンを約1秒間押します。

メニュー画面を表示したまま、何も操作しないでいると・・・

- 約2分間何も操作しないときは、メニュー画面は消えます。
  再度表示したいときは、メニューボタンを約1秒間、押し続けてください。
- 設定、もしくは設定変更した後、約2分間何も操作しないときは、メニューは解除され設定変更が無効になります。設定後はメインメニューもしくは他の画面で設定を有効にしてください。

時刻の設定

カメラに現在の日付けと時刻を設定します。
画像を撮影した年月日を記録するために必要ですので、必ず設定してください。

1 設定ボタン [◒] または [◓] を押して〔1.時刻設定〕を選び、[◑] を押す

〔時刻設定〕画面を表示します。

2 [◑] を押す

〔年（西暦）〕が点滅します。

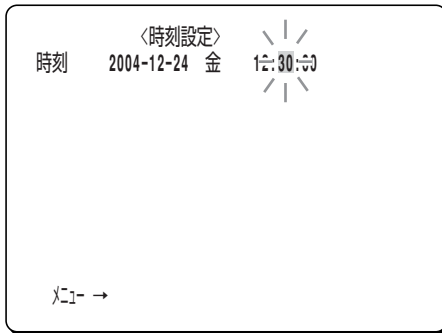
3 [◒] または [◓] を押して西暦に合わせ、[◑] を押す

〔月〕が点滅します。

4 [◒] または [◓] を押して月に合わせ、[◑] を押す

〔日〕が点滅します。

時刻の設定(つづき)

5 同様に日、時、分を設定する

6 最後に分を合わせたら、時報などに合わせて [◐] を押す

秒がスタートします。
〔メニュー →〕が選択状態になります。

7 [◐] を押す

メインメニュー画面に戻ります。

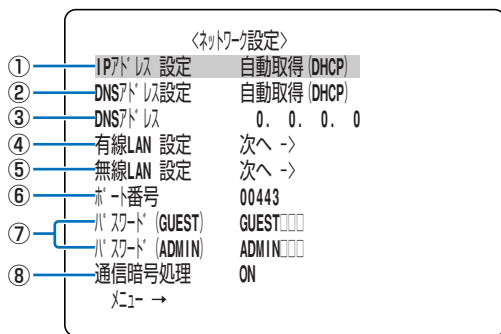
8 終了する時は、カメラのメニューボタンを押す

メニュー画面表示が消えます。

ネットワークの設定

カメラをインターネットに接続するための設定を行ないます。
設定にあたっては、すでにプロバイダーと契約し、回線が開通している必要があります。

ネットワークを設定する画面には、ネットワーク全般（有線LAN／無線LAN共通）に関する設定画面と、有線LAN／無線LANそれぞれに関する設定画面があります。

ネットワーク全般の設定の概要

項目	設定値 （**太字**は初期値）	概要
①IPアドレス設定	**自動取得（DHCP）** ／固定	IPアドレスの設定方法を選択します。お使いのルータがUPnP対応の場合、「自動取得（DHCP）」のままでお使いください。 UPnP非対応の場合は「固定」にしてください。（☞7-6ページ） 「固定」にした時は、有線LAN設定または無線LAN設定の〔IPアドレス〕、〔サブネットマスク〕、〔ゲートウェイ〕を設定する必要があります。
②DNSアドレス設定	**自動取得（DHCP）** ／固定	DNSアドレスを設定します。 〔IPアドレス設定〕が「自動取得（DHCP）」になっている場合は、ルータのIPアドレスが自動的にDNSアドレスとして設定されるので、〔DNSアドレス設定〕は「自動取得（DHCP」のままでお使いください。 〔IPアドレス設定〕が「固定」の場合は、〔DNSアドレス〕にはプロバイダーから指定されている〔DNSアドレス〕を入力してください。
③DNSアドレス	0.0.0.0	

ネットワークの設定(つづき)

項目	設定値 (**太字**は初期値)	概要
④有線LAN設定	別画面で設定	カメラをLANケーブルでルータやモデムなどに接続している場合に設定してください。ただし〔IPアドレス設定〕を「自動取得(DHCP)」にしている場合、ここでの設定を行なう必要はありません。
⑤無線LAN設定	別画面で設定	カメラを無線でアクセスポイントや無線LANルータに接続している場合に設定してください。
⑥ポート番号	**00443**	2台目以降のカメラに設定します。1台目またはカメラを1台のみ使用している場合、初期値のままで変更しないでください。(☞7-5ページ) カメラを2台以上使用する場合は、他の機器やソフト(ネットワークゲームなど)が使用していない番号を設定してください。 (例:60001、60002、60003)
⑦パスワード(GUEST) パスワード(ADMIN)	**GUEST** **ADMIN**	パソコンからカメラにアクセスする時のパスワードを設定します。IDが「GUEST」の時と「ADMIN」の時のパスワードをそれぞれ入力します。入力できる文字数は半角英数字4～8文字です。**初期値は必ず変更してください。**(☞2-2ページ)
⑧通信暗号処理	**ON**／OFF	パソコンや携帯電話で、ライブ画像やホビカネットに保存している画像を見る時、画像を暗号化するかどうかを設定します。 ONにすると、SSL(Secure Socket Layer)で暗号化されます。 暗号化はしてもしなくても、画像を見る時の操作に違いはありません。画像を盗み見されないためにも、暗号化することをお勧めします。ただしSSLに対応していない携帯電話をお使いの場合は、ホビカネットから携帯電話の間は暗号化を行ないません。

ネットワークの設定(つづき)

有線LAN設定の概要

カメラをLANケーブルでルータやモデム、ブリッジなどに接続している場合の設定です。
〔**IPアドレス設定**〕を「**固定**」にしている場合に、ここでの設定を行なってください。「**自動取得(DHCP)**」にしている場合は設定できません。

項目	概要
①IPアドレス	<ネットワーク>設定画面の〔IPアドレス設定〕を「固定」にしている場合に設定します。(☞7-6ページ)
②サブネットマスク	
③ゲートウェイ	
④MACアドレス	カメラのMACアドレスを自動的に表示します。変更はできません。

ネットワークの設定(つづき)

無線LAN設定の概要

カメラを無線でアクセスポイントやパソコンに接続する場合の設定です。

項目	設定値 (**太字**は初期値)	概要
①通信モード	**インフラストラクチャ** /アドホック	通信モードを選択します。 通常、アクセスポイント経由でインターネット接続する場合は「インフラストラクチャ」、インターネットに接続せず、カメラとパソコン(無線LANカード)で1対1で通信する場合に「アドホック」を選択します。 ※「アドホック」ではホビカネットに接続できません。
②ESS-ID	HOVICA	接続先のアクセスポイントまたはパソコンの無線LANカードと同じ値を入力してください。 32文字まで入力可能です。
③IPアドレス	0.0.0.0	前述の〔**IPアドレス設定**〕を「**固定**」にした場合に設定してください。(☞7-6ページ)
④サブネットマスク	0.0.0.0	
⑤ゲートウェイ	0.0.0.0	
⑥MACアドレス	文字列(0〜9、A〜F 16進数)	カメラのMACアドレスを自動的に表示します。変更はできません。

ネットワークの設定(つづき)

項目	設定値 (**太字**は初期値)	概要
①暗号化設定	**無効** ／WEP64 ／WEP128	カメラとアクセスポイントまたはパソコンの無線LANカードの間で通信する際の暗号化方式を選択します。アクセスポイント(またはパソコンの無線LANカード)と同じ設定にしてください。 (アクセスポイントによっては、「WEP64／WEP128」をそれぞれ「WEP40／WEP104」と表記している場合があります。)
②入力コード	**アスキー**／ヘキサ	下の〔暗号キー〕で入力する文字列コードを選択します。 アルファベットや数字を入力する場合は「アスキー」、16進数(0～9、A～F)で入力する場合は「ヘキサ」を選択します。 アクセスポイントまたはパソコンの無線LANカードと同じ設定にしてください。
③暗号キー	文字列	4種類の暗号キーを入力できます。 アクセスポイントまたはパソコンの無線LANカードと同じ設定にしてください。 入力できる文字数は以下のとおりです。 <table><tr><th></th><th>ヘキサ</th><th>アスキー</th></tr><tr><td>WEP64</td><td>10文字</td><td>5文字</td></tr><tr><td>WEP128</td><td>26文字</td><td>13文字</td></tr></table>
④暗号キー選択	1～4	上の〔暗号キー〕で入力した1～4のうち、いずれかを設定します。

ネットワークの設定(つづき)

有線LANの設定例

カメラを有線LANに接続してインターネット接続する場合と、無線LANで接続する場合の設定例を示します。
実際はプロバイダーとの契約内容や接続する機器によって異なる場合もあります。

IPアドレスを自動取得する場合

ネットワークの設定(つづき)

固定IPアドレスを設定する場合

① パソコンなど他の機器に設定しているIPアドレスと**重ならない**ようにご注意ください。

② パソコンなど他の機器に設定しているサブネットマスクと**同じ値**にしてください。多くの場合は、「255.255.255.0」です。

③ ルータのLAN側のIPアドレスと**同じ値**を設定してください。

ネットワークの設定(つづき)

固定IPアドレスを設定する場合

メモ

暗号化設定とは
カメラとアクセスポイント(またはパソコンの無線LANカード)の間で通信する際の暗号化方式を選択します。アクセスポイント(またはパソコンの無線LANカード)と同じ設定にしてください。
アクセスポイントによっては、「WEP64／WEP128」をそれぞれ「WEP40／WEP104」と表記している場合があります。

① パソコンなど他の機器に設定しているIPアドレスと**重ならない**ようにご注意ください。

② パソコンなど他の機器に設定しているサブネットマスクと**同じ値**にしてください。多くの場合は、「255.255.255.0」です。

③ ルータのLAN側のIPアドレスと**同じ値**を設定してください。

④ 「無線LAN設定の概要 (☞8-9ページ)」をご覧ください。

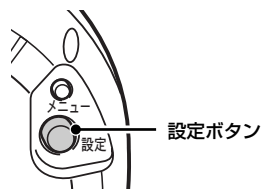
ネットワークの設定(つづき)

無線LANの設定のしかた

カメラでは、項目によって設定値を選択する場合と、文字や数字を入力する場合があります。
ここでは無線LANで使用する場合の例として、〔暗号化設定〕を「WEP128」に設定する方法と、〔暗号キー〕の入力方法を説明します。

〔暗号化設定〕を「WEP128」に設定するには

1 設定ボタン [○] または [○] 側を押して〔2.ネットワーク設定〕を選び、[○] を押す

〔メインメニュー〕画面からの操作方法です。

<ネットワーク設定>

IPアドレス 設定	自動取得(DHCP)
DNSアドレス設定	自動取得(DHCP)
DNSアドレス	0. 0. 0. 0
有線LAN 設定	次へ ->
無線LAN 設定	次へ ->
ポート番号	00443
パスワード (GUEST)	GUEST□□□
パスワード (ADMIN)	ADMIN□□□
通信暗号処理	ON
メニュー →	

〔ネットワーク設定〕画面を表示します。

ネットワークの設定（つづき）

2 設定ボタン [◒] または [◓] を押して〔無線LAN設定次へ→〕を選び、[◑] を押す

〔無線LAN〕画面を表示します。

3 [◒] または [◓] を押して〔次のページ→〕を選び、[◑] を押す

〈無線LAN〉

暗号化設定　無効
入力ｺｰﾄﾞ　ｱｽｷｰ
暗号ｷｰ
1.□□□□□□□□□□□□□□□□
2.□□□□□□□□□□□□□□□□
3.□□□□□□□□□□□□□□□□
4.□□□□□□□□□□□□□□□□
暗号ｷｰ選択　1
戻る　→
ﾒﾆｭｰ →

次の画面を表示します。

4 〔暗号化設定〕を選択している状態で、[◑] を押す

〔無効〕が点滅します。

5 [◒] または [◓] を押して〔WEP128〕にし、[◑] を押す

〔入力コード〕を選択した状態になります。

ネットワークの設定(つづき)

「暗号キー」の入力方法

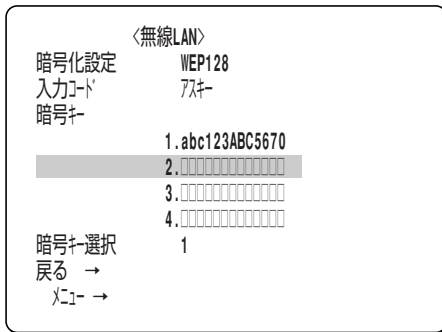
1 設定ボタン[○]を押して〔暗号キー〕を選び、[○]を押す

「1.」の一番左の桁が点滅します。

2 [○]または[○]を押して、アクセスポイントと同じ暗号キーを入力し、[○]を押す

[○]を押すと、以下の順に文字(アスキーの場合)が入力できます。

→ 記号 → 0~9 → 記号 → A~Z → 記号 → a~z →（最初に戻る）

3 同様に他の桁を入力し、[○]を押す

4 設定がすべてできたら、カメラのメニューボタンを押す

メニュー画面表示が消えます。

アラームの設定

〔アラーム設定〕では、留守モード時の動作を設定します。
また在宅モードの無反応検出モードの設定も行ないます。

ここでは設定項目の概要を説明します。操作方法はネットワークの設定と同じです。
留守モード中は〔アラーム設定〕画面を表示することはできません。

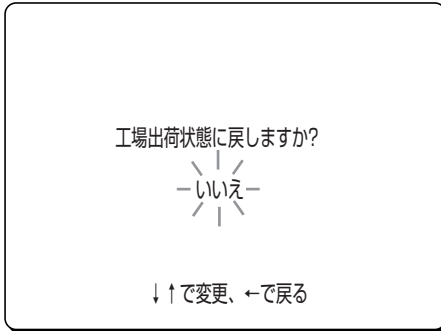
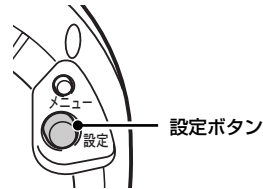
項目	設定値 (**太字**は初期値)	概要
①モーション センサー	OFF／ON低／**ON中**／ON高	画面の変化から、人や動物などの動きを感知するセンサーの設定です。ONの時の感度は、パソコンでカメラにアクセスしたときの〔アラーム設定〕画面でテストできます。 モーションセンサーについて詳しくは3-1ページをご覧ください。
②モーション スキャン	**ON**／OFF	上記のモーションセンサーをONのいずれかに設定しているとき、この設定ができます。 モーションスキャンとは、モーションセンサーを自動的に3方向に移動し、動きを検出する機能です。 詳しくは3-1ページをご覧ください。
③人感センサー	**ON**／OFF	感知範囲内の温度変化を検出するセンサーです。 詳しくは3-2ページをご覧ください。

アラームの設定(つづき)

項目	設定値 (**太字**は初期値)	概要
④外部センサー入力	OFF／ **ノーマルオープン**／ ノーマルクローズ	カメラのセンサー入力端子に別途外部センサーを接続している場合、その機器に合わせて「ノーマルオープン」または「ノーマルクローズ」に設定してください。 **ノーマルオープン(NO):** ノーマルオープンでアラーム信号を検出します。(ノーマルオープンとは、スイッチが常時オープン(離れている)している状態から、クローズ(ショートする)になったときにアラーム信号を検出する方法です) **ノーマルクローズ(NC):** ノーマルクローズでアラーム信号を検出します。(ノーマルクローズとは、スイッチが常時クローズ(ショートする)している状態から、オープン(離れている)になったときにアラーム信号を検出する方法です)
⑤ブザー	**ON**／OFF	各センサーが感知した時にこれらの機能が動作するかどうかのON／OFFを設定します。
⑥補助ライト	**ON**／OFF	
⑦照明	**ON**／OFF	
⑧無反応検出モード	**OFF**／1～24時間	在宅モード時に無反応検出モードにしたいときに、検出までのその時間を設定します。 ここで設定した時間内にセンサーが何も感知しないと、メールを送信します。(画像は添付しません) どのセンサーで検出するかは、このページで設定した内容で働きます。ブザー、補助ライト、照明はONにしていても働きません。
⑨留守モード遅延時間	0秒／30秒／**1分**／2分／3分／4分／5分	留守モード中にセンサーが感知した時、メールの送信を遅らせることができます。 外出や帰宅の度に自分自身を検出してメール送信をしたくない時に設定します。(☞4-4ページ)

工場出荷リセット

カメラの設定をご購入時の状態（初期値）に戻します。
これまでに設定した内容は、無効となります。

1 設定ボタン［◯］または［◯］を押して〔4.工場出荷リセット〕を選び、［◯］を押す

確認の画面を表示します。

2 ［◯］または［◯］を押して〔はい〕にし、［◯］を押す

設定画面が消え、カメラは電源ON時の初期動作を行ないます。（☞1-1ページ）

困った状態になったときは

9

セットアップのとき

SU（セットアップガイド）

カメラとルータ（モデム）をLANケーブルで接続する

Q. SU1．コネクタの形状が合わないためLANポートにケーブルを接続できません。

A. LANケーブル以外のもの、もしくは違う種類のLANケーブルを使用していませんか。
一般的にLAN（イーサネット）ケーブルといわれるもの（10/100BASE-T CAT5のストレートケーブル（RJ45コネクタ付））をご使用ください。

Q. SU2．ルータ機能内蔵モデムを使用しているのですがLANポートが1個しかないため接続できません。

A. ハブを別途購入し接続されるか、LANポートが複数あるルータ機能内蔵モデム、またはルータをご使用ください。

付属のACアダプターを接続する

Q. SU3．ACアダプターを電源コンセントに挿入できません。

A. 付属のACアダプターを必ず使用し、日本国内でのみご使用ください。

カメラの電源を入れる

Q. SU4．電源ボタンを押してもカメラの電源が入りません。

A. ACアダプターが正しく接続されているかご確認ください。
電力会社による工事などの情報をお確かめください。
付属のACアダプターを必ず使用し、日本国内でのみご使用ください。

パソコンからカメラへアクセスする

Q. SU5．付属のCD-ROMをパソコンのドライブに挿入しても専用ソフトが立ち上がりません。

A. 「パソコンでいろいろな設定をする」を参照してください。(☞9-15ページ)

Q. SU6．HOVICA_カメラ検索.exeが見当たりません。

A. 「パソコンでいろいろな設定をする」を参照してください。(☞9-15ページ)

Q. SU7．検索ボタンをクリックしてもカメラが検索されない。

A. 「パソコンでいろいろな設定をする」を参照してください。(☞9-15ページ)

Q. SU8．接続ボタンをクリックしてもユーザー名とパスワードを入力するダイアログが表示されない。

A. 「パソコンでいろいろな設定をする」を参照してください。(☞9-15ページ)

セットアップのとき(つづき)　SU(セットアップガイド)

Q. SU9. 接続ボタンをクリックしても「ページを表示できません」が表示され接続できない。

A. 「2-1. ホビカネットのホームページから会員ページへ入りたいが、「ページを表示できません」が表示される」を参照してください。

Q. SU10. ユーザー名とパスワードを入力しOKボタンをクリックしても入力ダイアログが表示され認証エラーが最後に表示される。

A. 「パソコンでいろいろな設定をする」を参照してください。(☞9-15ページ)

無線LAN接続を自動設定する(AOSS)

Q. SU11. 無線LANカードがスロットに上手く入りません。

A. 無線LANカードを前後逆に挿入していないか確認してください。カードを立てた状態でカードのラベルをカメラ本体の電源ボタン側に向けて無線LANカード取出しレバーが完全に出るまでゆっくり挿入してください。
無線LANカードスロット部に異物が入っていないかご確認ください。
カード挿入時は上から下に沿ってまっすぐ入れてください。
スムーズに挿入できない場合は無理をせず、一度カードを取り出して異常が無い事を確認し、再度入れなおしてください。

Q. SU12. AOSSによる自動設定が何度も失敗する。

A. カメラ本体スロット部に無線LANカードが正しく挿入されているかご確認ください。
カードのラベルをカメラ本体の電源ボタン側に向けて挿入してください。
無線LANカード取出しレバーが完全に出るまで無線LANカードを差し込んでください。
妨害電波の多い環境や、電波状態の悪い環境で作業をしていませんか。
電波を発生するような電化製品があれば電源をOFFにするなど、周囲の環境をお確かめの上、作業してください。
AOSS自動設定中は通常より電波状態が弱くなる仕組みになっています。
カメラと無線ルータ/アクセスポイントを50センチ以内で、できるだけ近付けて再度自動設定しなおしてください。

Q. SU13. 有線LANではネットワーク接続できたが、無線LANにするとつながらない

A. ご使用の無線ルータや無線アクセスポイントにMACアドレスフィルタリング機能が設定されている場合は、無線ルータや無線アクセスポイントのMACアドレスフィルタリング機能を停止して、接続できるかご確認ください。
接続できた場合は、無線LANカードの背面に記載されているMACアドレスを無線ルータや無線アクセスポイントに登録した上で、引き続きMACアドレスフィルタリング機能をご使用になることをお勧めします。
詳しくは、無線ルータや無線アクセスポイントの説明書をご覧ください。

セットアップのとき(つづき)　SU(セットアップガイド)

無線LAN接続を手動設定する

Q. SU14. 手動で設定したのですが無線LAN接続できません。

A. 「パソコンでいろいろな設定をする」を参照してください。(☞9-17ページ)

Q. SU15. 「正しい値が入力されていません。」ダイアログが表示され設定できない。

A. 入力欄右側に[半角(カナは除く)]など入力文字が指定されている場合は、指定された文字で入力してください。

Q. SU16. 暗号キーを入力後、選択すると「WEP64(128)の場合は暗号キーを5(13)文字にしてください。」ダイアログが表示される。

A. 「パソコンでいろいろな設定をする」を参照してください。(☞9-17ページ)

固定IPアドレスを設定する

Q. SU17. カメラを固定IPアドレスで設定後、カメラにアクセスできない。

A. 「パソコンでいろいろな設定をする」を参照してください。(☞9-16ページ)

Q. SU18. カメラを固定IPアドレスで設定後、カメラにアクセスできていたのですが、ある日突然アクセスできなくなった。

A. 「パソコンでいろいろな設定をする」を参照してください。(☞9-17ページ)

Q. SU19. 無線LANでネットワーク接続できたが、カメラを設置後つながらないことがある

A. お部屋の壁や床、天井などの材質や家具などの電波の障害物の状況や無線ルータや無線アクセスポイントとカメラとの距離、無線アンテナの指向性により、カメラの設置場所で電波が弱くなっていることが考えられます。
電波の状況は、パソコンの無線LAN設定画面で確認できます。
電波が弱い場合は、無線ルータや無線アクセスポイント及びカメラの設置場所を工夫して、障害物を減らしたり、両者の距離をできるだけ短くするようにしてください。
また、無線アンテナには指向性がありますので、無線ルータや無線アクセスポイント、及びカメラの向きを変えることで、電波状況が改善する場合があります。
その他、電子レンジなど、本機に近い周波数の電波を利用する機器からの妨害により、つながらないことも考えられます。
それぞれの機器の設置場所を変更して頂くか、同時にご使用になるのをお避けください。

会員登録のとき

Q. **会員登録をする際、下記のエラーが表示される**
エラーが発生しました
cookieが利用できないか、あるいは有効期限が切れました。
cookieの利用できるWebブラウザ、設定で再度接続してください。

A. お使いのWebブラウザのセキュリティ設定で、cookieを受け付けない設定となっている可能性があります。
お使いのWebブラウザの設定を確認してください。

Internet Explorer 6.0の場合
上部メニューの「ツール」→「インターネットオプション」→「プライバシー」タブで設定できます。

Q. **会員登録の画面にアクセスする際、「表示できません」が表示される**

A. Internet Explorerをご使用ですか？
ご使用の場合の原因として、お使いのInternet Explorerの暗号化強度が低い（128bitでない）ことが考えられます。
（暗号化強度はInternet Explorerのバージョン表示で確認できます。）
暗号化強度が128bitでない場合、Windowsの暗号強化パッチをあてる必要があります。
暗号強化パッチは、Internet Explorerの上部メニューの「ヘルプ」→「オンラインサポート」から入手できます。
カメラにアクセスする場合は、Internet Explorer 6.0以降をご使用ください。

ホビカネットについて

Q. 2-1. ホビカネットのホームページから会員ページへ入りたいが、「ページを表示できません」が表示される

A. Internet Explorerの設定でSSLを使用する設定になっているかご確認ください。
確認方法：
Internet Explorerの「ツール」メニューの「インターネットオプション」をクリック→「詳細設定」タブでセキュリティの「SSL 2.0を使用する」と「SSL 3.0を使用する」にチェックが入っているか確認し、入っていなければチェックを入れてください。

WEBブラウザはInternet Explorerのバージョン6.0以上をご使用ください。

Q. 2-2. ホビカネット会員登録完了後、ホビカネット会員ページにログインできない

A. 会員登録完了後、お客様が登録したメールアドレスに確認メールが届きます。
その時点から登録されたポータルIDとパスワードが有効になり、ログインできるようになります。

正しいポータルID、パスワードを入力されているかご確認ください。
カメラ本体の〔ネットワーク設定〕画面で入力したパスワードは、会員ページへのログインには使用できません。

Q. 2-3. ホビカネットのパスワードを忘れたので会員ページに入ることができない

A. 登録したパスワードを忘れた場合は、会員ページへのログイン画面の「パスワードをお忘れになった方はこちら」から再発行の手続きをしてください。
再発行にはお客様ご登録のポータルIDとキーワードの答えが必要です。
ポータルID、キーワードをお忘れの場合は、お手数ですがお問い合わせ先にご連絡ください。

Q. 2-4. ホビカネットの会員ページにログインしてカメラにアクセスしたが、〔設定メニュー〕画面を表示できない

A. 〔設定メニュー〕画面を表示するにはAdmin（管理者）ユーザーでカメラへログインする必要があります。
ホビカネットからカメラにアクセスした場合、まずGuestユーザーで自動的にカメラにログインすることになります。
〔設定メニュー〕画面での設定すべてと、カメラの向きの登録は、Guestユーザーは操作できません。このため、［設定］ボタンをクリックして〔設定メニュー〕画面を表示しようとするとAdminでのログインを要求されます。その時、Guestユーザーでログインしようとすると何回か再入力を促され、最後に「認証エラー」ダイアログが表示されます。この場合、Adminユーザーでログインすることにより〔設定メニュー〕画面を表示できます。

ホビカネットについて(つづき)

Q. **2-5. UPnP対応ルータを使用しているが、IPアドレスが自動設定されない**

A. カメラの〔ネットワーク設定〕画面でIPアドレス設定が自動取得(DHCP)に設定されていることをご確認ください。
2台目のカメラからの接続時は、カメラのポート番号を、他の機器が使用していない番号に変更してください。

Q. **2-6. カメラの画像が表示できない**

A. ネットワークが混んでいる可能性があります。
画面がすぐに表示されない場合もありますので、少し待ってから再度カメラにアクセスしてみてください。

Internet Explorerのバージョンが、6.0以前のものを使用している事が考えられます。
Internet Explorerのバージョンを6以降にバージョンアップしてください。

Q. **2-7. カメラのWeb画面が表示されない**

A. 本製品とルータ、パソコンなどの機器が正しく接続されていない事が考えられます。
セットアップガイドを参照し、正しく接続してください。

カメラ本体の電源が入っていない事が考えられます。
電源が入っているか確認してください。

パソコンのアプリケーションソフトウェアで、ファイアウォール機能が有効となっている常駐ソフトウェアがある事が考えられます。
常駐ソフトウェアの設定でファイアウォール機能を無効にするか、本製品のIPアドレスが通過できるように設定してください。

パソコンのIPアドレスが設定されていない事が考えられます。
パソコンのIPアドレスを設定してください

カメラのIPアドレスを変更している可能性があります。
Webブラウザのアドレス枠に、変更した新しいIPアドレスを入力してください。

ネットワークが混んでいる事が考えられます。
画面がすぐに表示されない場合もありますので、少し待ってから再度カメラにアクセスしてみてください。

無線LANカードにアクセスするWebブラウザの設定が、プロキシサーバーを経由している事が考えられます。
プロキシサーバーを経由しないように設定してください。

Internet Explorerのバージョンが、6.0以前のものを使用している事が考えられます。
Internet Explorerのバージョンを6以降にバージョンアップしてください。

ホビカネットについて(つづき)

Q. 2-8. ホビカネットに加入しないで外出先からパソコンでカメラにアクセスできていたが、突然今まで使用していたグローバルIPアドレスを入力してもアクセスできなくなった

A. 既に固定IPアドレスを取得して使用している場合は、契約先のインターネットサービスプロバイダーにご相談ください。
固定IPアドレスを取得しないで不特定のグローバルIPアドレスを自動取得している場合は、カメラ本体の電源を切った場合や、プロバイダーのDHCP機能によるリース期間終了時に変更されますので、随時確認して、変更があれば、入力するIPアドレスを変えなくてはなりません。
ホビカネットに加入すれば、グローバルIPアドレスを意識せずにパソコン、携帯電話のどちらからでも外出先からカメラにアクセスできます。

Q. 2-9. パソコンでライブ画像を見ていたのですが画像がフリーズして動かない

A. パソコン、またはカメラを再起動してみてください。
カメラの電源を一度抜き、差し込んでみてください。

Q. 2-10. カメラをADSL接続していてインターネット経由でパソコンからライブ画像を見ているとき、電話が着信すると動画が止まり、カメラの電源をON／OFFしないと復旧しない

A. 電話共有タイプのADSL接続中に、回線を共有している電話・FAXに着信があった場合、通信速度の低下や一時的な回線断が発生することがあります。これは、一部のNTT保安器が電話着信時に高周波を発生し、モデムやルータに影響を与える為です。
このNTT保安器に原因がある場合、NTT保安器を交換する必要があります。
詳しくは、ご契約先の回線事業者、もしくはインターネットプロバイダーへお問合せください。

センサーとアラーム

Q. 3-1. モーションセンサーが感知しない

A. 〔アラーム設定〕画面でモーションセンサーの設定が〔低〕／〔中〕／〔高〕のいずれかになっていることをご確認ください。
〔アラーム設定〕画面でモーションセンサーの感度（低／中／高）を変更し、［テスト］ボタンでテストしながら調節してください。

カメラの設置角度を変えてみてください。
カメラが映している画像範囲内で感知します。映っていない部分は感知しません。

Q. 3-2. 誰も写っていないのにモーションセンサーが感知しアラームメールが送られてくる

A.
- カーテンが風で揺れている
- 窓から光が差し込む
- カメラが窓越しに外に向いている
- デジタル時計が点滅している

など、カメラが設置されている部屋の環境により理由は様々です。
〔アラーム設定〕画面でモーションセンサーの感度（低／中／高）を変更し、［テスト］ボタンでテストしながら調節してください。

カメラの設置角度を変えてみてください。

Q. 3-3. 人感センサーが感知しない

A. 〔アラーム設定〕画面で人感センサーの設定が「ON」になっていることをお確かめください。
人感センサーの感知する範囲外では反応しないので、カメラの設置角度、位置を変えてみてください。
人感センサーはセンサー部中心にカメラ正面の上10°、下10°、右35°、左35°で5mの範囲内で反応します。
正面からの動きに対しては感知しにくくなりますので、設置位置を変えてみてください。

Q. 3-4. 誰も写っていないのに人感センサーが感知し、アラームメールが送られてくる

A. 日差し、エアコン、熱を出す調理器具、強い電波を出すものなどにも反応しますので、使用状況に注意してください。
使用環境によりモーションセンサー、人感センサー、外部センサーを使い分けてください。

センサーとアラーム(つづき)

Q. 3-5. アラームが発生してもアラームメールが送られてこない

A. アラームメールは、以下のメールアドレスに送信します。

- ホビカネット会員登録時に、お客様が登録された転送先メールアドレス
- カメラ本体の〔メール送信設定〕画面で〔メール送信〕を「ON」にし、〔送信先メールアドレス〕に入力したメールアドレス

ホビカネットに加入されていない場合は、カメラ本体の〔メール送信設定〕画面で〔メール送信〕を「ON」にし、〔送信先メールアドレス〕に入力したメールアドレスにのみ送信します。
転送先メールアドレス、送信先メールアドレスと、現在ご使用になっている携帯電話、パソコンのメールアドレスをご確認ください。
他のメールも受信できない場合は、ご契約になられているプロバイダーにお問い合わせください。

- 迷惑メール対策として携帯電話のメール受信設定をドメイン指定されている場合、カメラからメールを受信できません。詳しい設定方法は、ご使用になられている携帯電話会社にお問い合わせください。

Q. 3-6. アラームメールを受信したがアラーム画像が見ることができない

A. ホビカネットに加入している場合、携帯電話でアラームメールを受信するとURLが表示されます。URLを選択し、IDとパスワードを入力すれば、ホビカネットに直接アラーム画像を見にいくことができます。

パソコンでアラームメールを受信した場合は、以下の方法でアラーム画像を見ることができます。

- カメラにアクセスし、〔設定メニュー〕画面で〔サーバー記録画像表示〕をクリックする
- 〔オプション設定〕画面のホビカネットホームページ［表示］ボタンをクリックし、ホビカネットトップページから会員ページにログイン
- WebブラウザにURLを入力し、ホビカネットトップページから会員ページにログイン

ホビカネットに加入していない場合は、カメラの〔メール送信設定〕画面で送信先メールアドレスの〔添付画像〕にチェックを入れると、アラームメールに画像を添付して送信します。チェックが入っているかご確認ください。
チェックが入っていても携帯電話で受信する場合、キャリア(FOMA、等)によっては添付画像ファイルが容量オーバーにより削除されることがあります。

留守モードと在宅モード

Q. **4-1.〔設定メニュー〕画面を表示しようとすると、ログインダイアログを表示する**

A. Guestユーザーとしてカメラにアクセスすると、表示します。
〔設定メニュー〕画面を表示するには、ログインダイアログに以下のユーザー名とパスワードを入力し、Adminユーザーとしてログインしてください。
　ユーザー名：Admin
　パスワード：カメラの〔ネットワーク設定〕画面で入力したAdminのパスワード
　　　　　　（初期値はAdmin）
詳細は「2-4. ホビカネットの会員ページにログインしてカメラにアクセスしたが、〔設定メニュー〕画面を表示できない」を参照してください。

Q. **4-2. 在宅モードから留守モードにしようとすると、「留守モードにするにはセンサーをどれかONにしてください」ダイアログを表示し、留守モードにならない**

A. センサーがすべてOFFになっている場合に表示します。
〔アラーム設定〕画面のモーションセンサー、人感センサー、外部センサーのいずれかを「ON」にしてください。

〔ペットモード〕に設定されている可能性があります。
〔設定メニュー〕画面の〔おすすめ設定〕で〔ペットモード〕を選択している場合は〔在宅/留守〕に設定し、〔アラーム設定〕画面で好みの設定にした後、留守モードにしてください。

Q. **4-3.〔おすすめ設定〕で〔おかえり設定〕にしたが、センサーが感知しない**

A. 留守モードになっていることをお確かめください。

Q. **4-4.〔おすすめ設定〕で〔おかえり設定〕にして留守モードに切替えたが、知らない間に在宅モードになってしまう**

A. おかえり設定時は、1回のアラーム感知で自動的に留守モードから在宅モードに切り替わります。
おかえりメールが届いていない場合や画像が添付されていない場合は、〔メール送信設定〕画面の送信先メールアドレスの設定をご確認ください。

Q. **4-5. 外出時に留守モードにするときや、帰宅時に在宅モードにするときに、アラームメールが送信されてしまう**

A. 〔アラーム設定〕画面の留守モード遅延時間を確認し、遅延時間を調節してください。
詳しくは「7-23. 留守モード遅延時間を初期値の1分で使用しているが、カメラ本体の［在宅/留守］ボタンを押すときにアラームメールを送信してしまう」を参照してください。

パソコンでカメラを操作するには

Q. 5-1. パソコン、携帯電話のどちらからもパン／チルトが動作しない（センター移動、カメラの向きをワンタッチで切り替える機能が使えない）

A. パン／チルト可動部に外部から負荷がかかっている事が考えられます。
カメラの状態を確認してください。

複数の人が同時に操作している事が考えられます。
他の人が操作していないかを確認してください。

パン／チルトが終端位置に移動している事が考えられます。
パン／チルトボタンが終端位置を示す状態（上下左右の三角のボタンが淡く表示）になっていないか確認してください。

Q. 5-2. カメラの向きをワンタッチで切り替える1～3のボタンをクリックしても、登録した位置にカメラが向かない

A. パン／チルト可動部に外部から負荷がかかっている事が考えられます。
カメラの状態を確認してください。

複数の人が同時に操作している事が考えられます。
他の人が操作していないかを確認してください。

Q. 5-3. 画質を高画質、画面を明るく設定しているのに、画像が汚かったりピントがぼけたりする

A. パソコンのモニター色の設定が16bit未満になっている事が考えられます。
モニター色の設定を16bit以上に設定してください。

被写体までの距離が近すぎる事が考えられます。
近距離では焦点が合いにくいので、被写体から適度な距離でご使用ください。

レンズカバーが汚れていたり、ゴミが付着している事が考えられます。
乾いた布でレンズカバーの汚れをふきとってください。

〔カメラ設定〕画面で〔逆光〕や〔ホワイトバランス〕を調節してみてください。

携帯電話でカメラを操作するには

Q. **6-1. 携帯電話からホビカネットへログインできない（エラーを表示する）**

A. 会員登録完了後、お客様が登録されたメールアドレスに確認メールが届きます。その時点から登録されたポータルIDとパスワードが有効になり、ログインできるようになります。

正しいポータルID、パスワードを入力されているかご確認ください。
カメラ本体の〔ネットワーク設定〕画面で設定したパスワードは、会員ページへのログインには使用できません。

Q. **6-2. 携帯電話でカメラの画像を表示できない**

A. 一部の携帯電話では、設定項目の中のWeb設定で、「画像取得」にチェックが入ってないために、画像が正常に表示されないことがあります。
画像表示の際は、端末側の設定に注意してご利用ください。

携帯電話によっては、画像表示に関する設定が必要な場合があります。
表示の設定を変更してお試しください。（例えば、画像縮小表示を選択するなど）

携帯電話によっては、接続タイムアウトの設定がある場合があります。
接続タイムアウト時間を長く（例えば90秒など）してお試しください。

Q. **6-3. 取扱説明書にある画面と携帯電話に表示している画面が違う**

A. 携帯電話の機種によって、機能、性能、画質などが制限されることがあります。
対応機種の詳細はホームページ上で随時更新されますので、ご確認ください。

Q. **6-4. 携帯電話でパン／チルトが動作しない（センター移動、カメラの向きをワンタッチで切り替える機能が使えない）**

A. カメラと、ご使用の携帯電話間の通信が切断されている事が考えられます。
〔画像更新〕を選択し、画像が更新されることを確認して、パン／チルト機能を操作してください。

カメラの電源が入っていない事が考えられます。
電源が入っているか確認してください。

Q. **6-5. 以前に携帯電話でライブ保存した画像が、知らない間に消去されている**

A. ホビカネットに保存できるライブ画像は、カメラ1台に付き約20枚です。
それを超えて保存すると、一番古い画像から順番に消去されます。
消去したくない画像は、パソコンのハードディスクや携帯電話などにデータとして保存してください。

携帯電話でカメラを操作するには（つづき）

Q. **6-6. 以前のアラーム画像が知らない間に消去されている**

A. ホビカネットに保存できるアラーム画像は、カメラ1台に付き約400枚、最大記録容量は10MBです。（解像度640×480ピクセル、標準画質、ファイルサイズ25KBのとき）
それを超えて保存すると、一番古い画像から順番に消去されます。
消去したくない画像は、パソコンで会員ページのアラーム画像一覧にアクセスして［保存］ボタンをクリックするか、パソコンのハードディスクや携帯電話などにデータとして保存してください。

Q. **6-7. 携帯電話で〔ただいま設定〕を「ON」にしたが、3ショット画像を見ることができない**

A. パソコンからカメラにアクセスし、〔オプション設定〕画面で〔ただいま設定〕の〔画像送信〕にチェックが入っているかご確認ください。

Q. **6-8. 携帯電話で〔ただいま設定〕を「ON」にしたが照明が点灯しない**

A. パソコンからカメラにアクセスし、〔オプション設定〕画面で〔ただいま設定〕の〔照明〕にチェックが入っているかご確認ください。
チェックが入っている場合は「6-10. リモコン操作で照明を「ON」にしたが点灯しない」を参照してください。

Q. **6-9. 携帯電話で〔ただいま設定〕を「ON」にしたがエアコンがONにならない**

A. パソコンからカメラにアクセスし、〔オプション設定〕画面で〔ただいま設定〕の〔エアコン〕にチェックが入っているかご確認ください。
チェックが入っている場合は「6-11. リモコン操作でエアコンを「ON」にしたがONにならない」を参照してください。

携帯電話でカメラを操作するには(つづき)

Q. 6-10. リモコン操作で照明を「ON」にしたが点灯しない

A. パソコンからカメラにアクセスし、〔オプション設定〕画面で照明メーカー設定を選択する際に、リモコン照明を実際にON/OFFできるかテストしてからご使用ください。
テストの際、[ON]と[OFF]の両方のボタンを表示せず、[ON]または[OFF]のいずれか1つのボタンのみ表示する場合は、1回押すごとに交互にONとOFFを繰り返します。このように表示される照明機器は、照明が点灯している状態の時にON操作したつもりでも、消灯してしまいますのでご注意ください。

カメラと照明器具がリモコン信号の動作距離範囲内で使用しているかお確かめください。
カメラ本体のリモコン送信部の送信可能角度範囲内でご使用になっているにもかかわらず動作しない場合は、カメラの送信部の方向やカメラ本体の設置場所を変えるなどして、調節してみてください。
カメラと照明器具の間に障害物があると、動作しないことがあります。
照明器具本体の受光部表面や、カメラのリモコン送信部がほこりなどで汚れている場合は、リモコン信号の動作距離が短くなりますのでご注意ください。
照明器具本体の受光部で受信感度が低くなっているものもあります。この場合はリモコン信号の動作距離が短くなりますのでご注意ください。
10畳をこえる部屋では、リモコンが届きにくい場合があります。
天井、壁、床の色が黒色など暗い色調の部屋等では、リモコンが届きにくいことがあります。

Q. 6-11. リモコン操作でエアコンを「ON」にしたがONにならない

A. パソコンからカメラにアクセスし、〔オプション設定〕画面でエアコンメーカー設定を選択する際に、エアコンを実際にON/OFFできるかテストしてからご使用ください。

カメラとエアコンがリモコン信号の動作距離範囲内で使用しているかお確かめください。
カメラ本体のリモコン送信部の送信可能角度範囲内でご使用になっているにもかかわらず動作しない場合は、カメラの送信部の方向やカメラ本体の設置場所を変えるなどして、調節してみてください。
カメラとエアコンの間に障害物があると、動作しないことがあります。
エアコン本体の受光部表面や、カメラのリモコン送信部がほこりなどで汚れている場合は、リモコン信号の動作距離が短くなりますのでご注意ください。
エアコン本体の受光部で受信感度が低くなっているものもあります。この場合はリモコン信号の動作距離が短くなりますのでご注意ください。
10畳をこえる部屋では、リモコンが届きにくい場合があります。
天井、壁、床の色が黒色など暗い色調の部屋等では、リモコンが届きにくいことがあります。

電子瞬時点灯方式(インバーター方式など)の照明があるお部屋では、信号を受け付けないことがあります。このような時はお買い上げの販売店にご相談ください。

パソコンでいろいろな設定をする

Q. **7-1. 付属のCD-ROMをパソコンのドライブに入れても、何も表示しない**

A. マイコンピュータ → CD-ROMを挿入したドライブ名 → 「HOVICA_カメラ検索.exe」ファイルをダブルクリックしてください。

Q. **7-2. 「HOVICA_カメラ検索.exe」ファイルが見当たらない**

A. CD-ROMをドライブに正しく挿入してください。
OSはWindowsMe、2000、XPをご使用ください。
CD-ROMを取り出して、パソコンを再起動した後、再度ご確認ください。
パソコンの表示設定により「.exe」は表示されない場合があります。デフォルトでご使用の場合は「HOVICA_カメラ検索.exe」と表示されます。

Q. **7-3. カメラが検索されない**

A. カメラ、ルータ（モデム）間のLANケーブルを正しく接続しているかご確認ください。
ACアダプタを正しく接続しているかご確認ください。
パソコンとルータ（モデム）のLANケーブルを正しく接続しているかご確認ください。
同じLAN内（ルータ）にカメラとパソコンを接続してください。
ルータ機能を内蔵しているモデム、またはルータをご使用ください。
カメラの電源が入っていることをご確認ください。
カメラ本体の電源ランプが点灯していることをご確認ください。

Q. **7-4. [接続] ボタンをクリックしても、ユーザー名とパスワードを入力するダイアログが表示されない**

A. カメラの電源が入っていることをご確認ください。
カメラ本体の電源ランプが点灯していることをご確認ください。

Q. **7-5. ユーザー名とパスワードを入力し、[OK] ボタンをクリックしても入力ダイアログが表示され、認証エラーが最後に表示される**

A. 初めてカメラにアクセスする場合は、ユーザー名とパスワード欄に「admin」と正しく入力してください。
パスワードを変更した場合は、変更した値を入力してください。
文字、数字は半角で入力してください。

WEBブラウザはInternet Explorerのバージョン6.0以上をご使用ください。

Q. **7-6. [接続] ボタンをクリックしても「ページを表示できません」を表示し、接続できない**

A. 「2-1. ホビカネットのホームページから会員ページへ入りたいが、「ページを表示できません」が表示される」を参照してください。

パソコンでいろいろな設定をする(つづき)

Q. **7-7. [接続] ボタンをクリックしても「接続できません。しばらくしてログインしてください。」が表示されて接続できない**

A. 1台のカメラには同時に4人(Adminユーザー1人、Guestユーザー3人)までアクセスできます。
同時アクセス可能な人数を超えてカメラにアクセスしようとすると、上記のメッセージを表示します。
しばらくしてからもう一度接続してください。

Q. **7-8.〔設定メニュー〕画面を表示しようとすると、ログインダイアログを表示する**

A. 「4-1.〔設定メニュー〕画面を表示しようとすると、ログインダイアログを表示する」を参照してください。

Q. **7-9. 設定を変更したが、反映されない**

A. 設定を変更した後、[保存] ボタンをクリックした時点で変更が有効になりますのでご注意ください。
〔設定メニュー〕画面にある〔おすすめ設定〕の変更は、プルダウンメニュー右横の [設定] ボタンをクリックすると、変更が有効になります。

Q. **7-10.〔時刻設定〕画面で〔手動更新〕の [更新] ボタンをクリックしたが、カメラの現在時刻が変更されない**

A. NTPサーバーの時刻とカメラの現在時刻の設定が一致していれば変更しません。そのままご使用ください。

正しいNTPサーバーアドレスを入力してください。
ログ欄に同期結果が表示されますので、状況をご確認ください。

Q. **7-11. カメラの時刻が自動更新されていない**

A. 〔時刻設定〕画面の〔自動時刻調整〕が「ON」になっていることをご確認ください。

Q. **7-12. カメラを固定IPアドレスに設定後、カメラにアクセスできない**

A. 設定したIPアドレスがすでに他の機器で使用されている可能性があります。
同一ネットワーク内の他の機器のIPアドレス以外のプライベートIPアドレスをご使用ください。
〔ゲートウェイ〕にはルータのLAN側(内側)のIPアドレスを入力してください。
ルータのDHCP設定でIPアドレス割り当て範囲を確認し、その範囲外のプライベートIPアドレスをカメラに設定してください。
ルータの設定内容の確認の方法は、ご使用のルータの取扱説明書をお読みください。

パソコンでいろいろな設定をする(つづき)

Q. 7-13. カメラを固定IPアドレスに設定後、カメラにアクセスできていたが、ある日突然アクセスできなくなった

A. まず各機器が正しく接続されているか、ご確認ください。
ルータのDHCP設定でIPアドレス割り当て範囲を確認し、その範囲外のプライベートIPアドレスをカメラに設定してください。
ルータの設定内容の確認の方法は、ご使用のルータの取扱説明書をお読みください。

Q. 7-14. 無線LAN設定後、カメラに接続できない

A. ご使用の無線LANルータ(モデム)はアクセスポイント機能付きかご確認ください。
無線LAN接続をするにはアクセスポイントが必要です。
現在ご使用のルータ(モデム)にアクセスポイント機能がない場合は、アクセスポイントもしくはアクセスポイント機能付のルータを別途購入する必要があります。
詳細はルータ(モデム)のメーカーもしくはレンタル先のプロバイダーにお問い合わせください。

無線LANカードをカメラ本体スロット部に正しく挿入しているかご確認ください。

ESS-IDと暗号化設定、暗号キーは、無線LANルータのアクセスポイントの設定と同じ文字列を入力してください。

カメラの無線LAN設定とアクセスポイントの設定をご確認ください。

Q. 7-15. ESS IDを入力後、[保存]ボタンを押すと「正しい値が入力されていません。」ダイアログが表示されて保存できない

A. 入力できる文字は、カナ以外の半角です。正しい文字を入力してください。

Q. 7-16. 暗号キーを入力後、「正しい値が入力されていません」ダイアログが表示されて保存できない

A. 入力文字はカナ以外の半角です。正しい文字を入力してください。

Q. 7-17. 暗号キーを入力後、「WEP64(128)の場合は暗号キーを5(13)文字にしてください。」ダイアログが表示される

A. 入力文字はカナ以外の半角です。
全角文字を入力した場合、半角文字約2文字で認識されます。
この場合、決められた文字数を超えて入力したと認識されたため、ダイアログを表示したことが考えられます。
WEP64(アスキー)の場合は暗号キーを5文字まで、WEP128(アスキー)の場合は暗号キーを13文字までで入力してください。

暗号キーを間違えて入力していることが考えられます。正しい暗号キーを入力してください。

パソコンでいろいろな設定をする(つづき)

Q. 7-18. 画像がちらつく

A. 電源周波数が50Hzの地域(東日本)でお使いになる場合は、〔カメラ設定〕画面のフリッカーレスを「ON」にしてみてください。

Q. **7-19. 無反応検出モードで使用するため、検出時間を設定しようとすると、「無反応検出モードにするには　センサーをどれかONにしてください。」ダイアログが表示される**

A. モーションセンサー、人感センサー、外部センサー入力のすべてのセンサーを「OFF」に設定しています。
無反応検出モードでは、設定時間内にセンサーが感知しないとアラームメールを送信します。そのためセンサーが1つ以上動作している必要があります。
センサーを最低1つ「ON」にしてから、無反応検出モードを設定してください。

Q. **7-20. 無反応検出モードで使用していてセンサーをOFFに設定しようとすると、「無反応検出モードの設定がOFFになります　よろしいですか」ダイアログが表示され、[OK]ボタンをクリックすると無反応検出モードが「OFF」に設定される**

A. モーションセンサー、人感センサー、外部センサー入力のすべてのセンサーを「OFF」に設定しています。
無反応検出モードでは、設定時間内にセンサーが感知しないとアラームメールを送信します。そのためセンサーが1つ以上動作している必要があります。
無反応検出モードでご使用になりたい場合は、センサーを最低1つ「ON」にしてから、無反応検出モードの検出時間を設定してください。

Q. **7-21. 留守モードで使用していてセンサーをOFFに設定しようとすると「留守モードが使用できなくなります　よろしいですか。」、ダイアログが表示され、[OK]ボタンをクリックすると在宅モードになる**

A. モーションセンサー、人感センサー、外部センサー入力のすべてのセンサーを「OFF」に設定しています。
留守モードではセンサーが感知することによりアラームが発生し、アラームメールと画像を送信します。そのためセンサーが1つ以上動作している必要があります。
留守モードでご使用になりたい場合は、センサーを最低1つ「ON」にしてから留守モードにしてください。

パソコンでいろいろな設定をする(つづき)

Q. 7-22. 留守モードで使用していてセンサーをOFFに設定しようとすると「留守モードが使用できなくなり 無反応検出モードの設定がOFFになります よろしいですか。」ダイアログが表示され、[OK] ボタンをクリックすると在宅モードになる

A. モーションセンサー、人感センサー、外部センサー入力のすべてのセンサーを「OFF」に設定しています。
また同時に、無反応検出モードの検出時間を設定している場合、上記ダイアログを表示し、[OK] ボタンをクリックすると無反応検出モードが「OFF」になります。
無反応検出の時間は留守モード時にも設定できますが、在宅モード時にのみ無反応検出モードが有効になります。
留守モードではセンサーが感知することによりアラームが発生し、アラームメールと画像を送信します。
無反応検出モードでは設定時間内にセンサーが感知しない場合、アラームメールを送信します。
そのためセンサーが動作していることが必要です。
この場合、センサーが動作してない状態で使用できるモードは在宅モードだけなので、在宅モードになると同時に留守モード、無反応検出モードが「OFF」に設定されるようになっています。
留守モードでご使用になりたい場合は、センサーを最低1つONに設定してから留守モードにしてください。
無反応検出モードでご使用になりたい場合は、センサーを最低1つ「ON」にしてから、無反応検出時間を設定してください。

Q. 7-23. 留守モード遅延時間を1分で使用しているが、帰宅時にカメラ本体の [在宅/留守] ボタンを押す前にアラームメール画像を送信してしまう

A. 遅延時間の設定を1分以上で設定してみてください。
ただし遅延時間の設定時間は、アラームが発生してからアラームメールと画像を送信するまでの時間なので、設定時間が長すぎるとアラーム発生時からアラームメールを受け取るまで時間がかかります。ご注意ください。
画像はセンサー感知時にすでに撮影されています。

パソコンでいろいろな設定をする(つづき)

Q. 7-24. カメラからインターネット経由で直接、外出先のパソコンや携帯電話にアラームメール、添付画像を送信できない

A. 〔メール送信設定〕画面の〔メール送信〕を「ON」に設定しているかご確認ください。

〔メール送信設定〕画面にプロバイダーから提供されている情報を設定しているかご確認ください。
プロバイダーからの情報は正確に入力してください。
大文字、小文字、全角、半角などの文字入力の間違いに注意してください。
〔送信先メールアドレス〕の〔メールアドレス〕、〔画像添付〕のチェックボックスにチェックが入っているかご確認ください。

〔画像送信〕にチェックが入っていても携帯電話で受信する場合、キャリア(FOMA、等)によっては添付画像ファイルが容量オーバーとなり、削除されることがあります。

Q. 7-25. 〔オプション設定〕画面でリモコン機器をテストをしたが、メーカーのどれを選択しても機器をON／OFFできない

A. リモコン機能付きの機器を使用しているか確認してください。

リモコン機器が対応機種か、ホームページでご確認ください。

「メーカー」のプルダウンメニューに表示されないメーカーの機器はご使用になれません。
ファームウェアのバージョンアップファイルで対応機種を更新していく予定です。
定期的にホームページをご覧ください。

Q. 7-26. 〔オプション設定〕画面の〔ユーザー設定値〕で以前の設定を読み込みしようとしたが、設定ファイルが見当たらない

A. 設定ファイルは、探しやすい場所に判断しやすい名前で保存してください。

設定ファイルはパソコンのハードディスクの任意の場所に保存できますので、保存後にパソコンのトラブルなどでハードディスクのデータが消去された場合は、設定ファイルも消去されます。設定ファイルはバックアップしておくことをおすすめします。

パソコンでいろいろな設定をする(つづき)

Q. 7-27.〔オプション設定〕画面からユーザー設定値の読み込みをした時、「ユーザー設定値読み込み中」の画面が表示されたままでライブ画面が表示されない

A. 外出先からアクセスしている場合は、ネットワークの状況により作業に時間がかかることがあります。

いつまで待っても画面が変わらない場合は、読み込みは完了しているものの、読み込み前のカメラのネットワーク設定と、読み込んだ後の設定ファイルのネットワーク設定が違うため、接続が切断されたことが考えられます。
読み込んだ後の設定ファイルのネットワーク設定で再度接続してみてください。

作業が完了したことを確認できるまで、カメラの電源は切らないでください。
故障の原因になることがあります。

Q. 7-28.〔オプション設定〕画面から〔工場出荷値に戻す〕をしている時、「メニューリセット実行中」の画面が表示されたままでライブ画面が表示されない

A. 外出先からアクセスしている場合は、ネットワークの状況により作業に時間がかかることがあります。

いつまで待っても画面が変わらない場合は、作業は完了しているものの、戻す前のカメラのネットワーク設定と、戻した後の設定ファイルのネットワーク設定が違うため、接続が切断されたことが考えられます。
工場出荷時のネットワーク設定で再度接続するか、ネットワーク設定を再設定してください。

作業が完了したことを確認できるまで、カメラの電源は切らないでください。
故障の原因になることがあります。

Q. 7-29.〔オプション設定〕画面からカメラのファームウェアをバージョンアップしている時、「ファームウェアファイル転送中」または「ファームアップ中」の画面が表示されたままでライブ画面が表示されない

A. 外出先からアクセスしている場合は、ネットワークの状況により作業に時間がかかることがあります。

いつまで待っても画面が変わらない場合は、ファームウェアのバージョンアップによりネットワーク設定が変更され、接続が切断されたことが考えられます。
ホームページでファームウェアのバージョンアップ情報をご確認ください。

作業が完了したことを確認できるまで、カメラの電源は切らないでください。
故障の原因になることがあります。

パソコンでいろいろな設定をする(つづき)

Q. 7-30. 「カメラ設定」で逆光補正を「ON」に設定したけれどあまり効果が出ない

A. カメラが映し出している画面中央部に光源(明るい窓や照明など)が映っていると効果が出ない場合があります。
画面中央部に光源が映らないよう、カメラ本体やレンズの向きを調整してみてください。

Q. 7-31. 「カメラ設定」で明るさを手動で調整しても画面が明るくならない

A. 極端に暗い場所では、画面の明るさを調節することができませんので、照明をつけるなどしてなるべく明るい場所で調整してください。

Q. 7-32. 有線LANではネットワーク接続できたが、無線LANにするとつながらない

A. ご使用の無線ルータや無線アクセスポイントにMACアドレスフィルタリング機能が設定されている場合は、無線ルータや無線アクセスポイントのMACアドレスフィルタリング機能を停止して、接続できるかご確認ください。
接続できた場合は、無線LANカードの背面に記載されているMACアドレスを無線ルータや無線アクセスポイントに登録した上で、引き続きMACアドレスフィルタリング機能をご使用になることをお勧めします。
詳しくは、無線ルータや無線アクセスポイントの説明書をご覧ください。

Q. 7-33. 無線LANでネットワーク接続できたが、カメラを設置後つながらないことがある

A. お部屋の壁や床、天井などの材質や家具などの電波の障害物の状況や無線ルータや無線アクセスポイントとカメラとの距離、無線アンテナの指向性により、カメラの設置場所で電波が弱くなっていることが考えられます。
電波の状況は、パソコンの無線LAN設定画面で確認できます。
電波が弱い場合は、無線ルータや無線アクセスポイント及びカメラの設置場所を工夫して、障害物を減らしたり、両者の距離をできるだけ短くするようにしてください。
また、無線アンテナには指向性がありますので、無線ルータや無線アクセスポイント、及びカメラの向きを変えることで、電波状況が改善する場合があります。
その他、電子レンジなど、本機に近い周波数の電波を利用する機器からの妨害により、つながらないことも考えられます。
それぞれの機器の設置場所を変更して頂くか、同時にご使用になるのをお避けください。

テレビに接続して設定をする

Q. **8-1.〔メインメニュー〕画面がテレビ画面に表示されない**

A. テレビとカメラの電源がONになっていることをご確認ください。

ビデオケーブルをご使用になっているかご確認ください。
カメラの映像出力端子とテレビのビデオ入力端子に正しく接続しているかご確認ください。
カメラ後面のメニューボタンを約1秒以上押さなければ、画面は表示しません。
メニューを表示したまま約2分間何も操作しないと、自動的にメニュー画面は消えます。
その場合、再度メニューボタンを約1秒以上押し続けて、〔メインメニュー〕を表示してください。

Q. **8-2. 無線LAN設定の暗号キーやESS-IDに文字が正しく表示されず、白い四角（□□…）が表示されている**

A. 対応していない文字コードを使用すると、白い四角で表示します。
問題はありませんが、何の文字か確認したい場合はパソコンからカメラにアクセスし、無線LAN設定で確認してください。

Q. **8-3.〔メインメニュー〕画面で〔アラーム設定〕を選択したが「在宅モードにしてください。」が表示される**

A. テレビに接続して設定をする場合、カメラが留守モードの時はアラーム設定はできません。
カメラを在宅モードにして設定するか、パソコンから設定してください。

Q. **8-4. 設定を変更しても有効にならない**

A. 設定もしくは設定を変更した後、約2分間何も操作をしないとメニュー画面が消え、設定が無効になります。
設定後2分以内に他の画面に移動すれば設定が有効になります。

その他

10

仕様

	無線/有線タイプ IPC-H1W(S)	有線タイプ IPC-H1L(S)
カメラ部有効画素数	約30万画素	
撮像素子	1/7型、約32万画素CCD（総画素数）	
画角	左右52°（パン動作により合計182°表示）、上下40°（チルト動作により合計130°表示）	
パン（左右の動き）	水平±65°	
チルト（上下の動き）	上方向30°～下方向60°	
回転速度	パン：最大120°/秒　チルト：最大120°/秒	
レンズ焦点	固定	
レンズ明るさ	F2.8	
ホワイトバランス	自動/手動	
逆光補正	ON／OFF	
シャッタースピード	自動（1/5-1/5000秒）	
ズーム機能	デジタルズーム：1.5倍、2.5倍（パソコン操作時）、2倍（携帯電話操作時）	
最低被写体照度	4ルクス（LED補助ライトなしの場合）	
画像圧縮方式	JPEG	
画像サイズ（解像度）	640 x 480ピクセル、320 x 240ピクセル、160 x 120ピクセル	
画質（圧縮率）	5段階	
画像更新速度	最大15枚/秒（640 x 480）	
セキュリティ	ユーザー名、パスワード、SSL方式通信暗号化	
モニタ出力	RCA（NTSC準拠、1Vp-p/75オーム）	
プロトコル	TCP/IP、UDP、HTTP、SMTP、DHCP、DNS、SSL、NTP、UPnP	
同時アクセス数	最大4アクセス	
LANポート数	1ポート	
LANインターフェース/通信速度	イーサネット10Base-T/100Base-TX（RJ-45）　10/100Mbps	
無線LANインターフェース	CFタイプ無線LANカードスロット（専用無線LANカードのみ使用可）	
センサー種類	**人感センサー：**パッシブ赤外線センサー（検知範囲　水平方向：約70°、垂直方向：約20°、距離：約5m） **モーションセンサー：**フレーム相関方式ビデオセンサー（全面検出、感度調整3段階）	
センサー入出力端子	プッシュロック4端子： センサー入力（ノーマルクローズ/ノーマルオープン切替）/COM センサー出力（ノーマルクローズ/ノーマルオープン切替）/COM	
リモコン送信部	赤外線LED　3個（照明、エアコンのコントロール用）	
補助ライト	白色LED　2個	
ブザー	センサー反応時及び手動操作時など	

仕様(つづき)

	無線/有線タイプ IPC-H1W(S)	有線タイプ IPC-H1L(S)
使用環境(動作時)	温度0℃~40℃　湿度10%~80%RH(結露なきこと)	
電源	専用ACアダプター(AC100V 50/60Hz、電源コード長さ:2m)	
消費電力	4.5W	
外形寸法	約104(W) X 125(H) X 112.5(D)mm	
質量	370g(無線LANカード装着時)	360g
付属品	無線LANカード(IEEE802.11b準拠)、セットアップCD-ROM、ACアダプター、カードスロットカバー、壁かけ用ネジ(2本)	セットアップCD-ROM、ACアダプター、カードスロットカバー、壁かけ用ネジ(2本)
JANコード	4973934393264	4973934393271

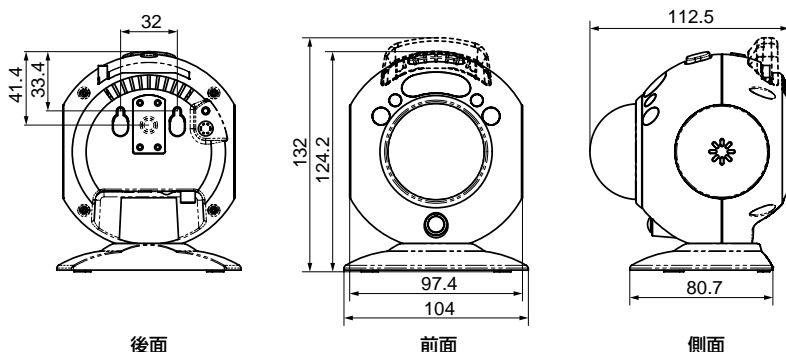
外観および仕様は、お断りなしに変更することがあります。ご了承ください。

■ 寸法図

(単位:mm)

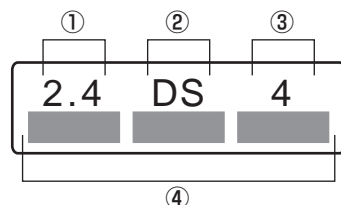
後面

前面

側面

無線に関する注意書き

本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器の他、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)及び特定小電力無線局(免許を要しない無線局)並びにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。本製品を使用される際には以下の事項に注意してください。

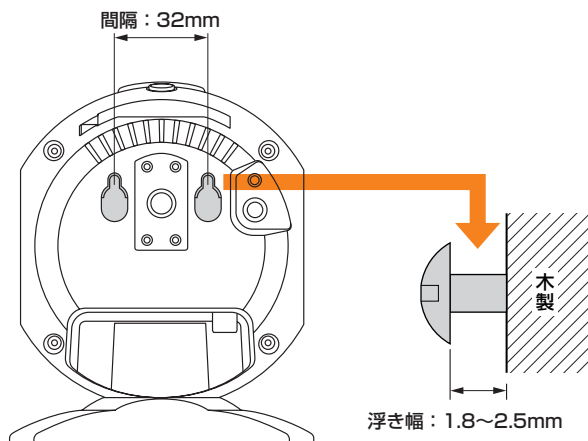
1. 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更して電波干渉を起こさないようにしてください。
3. その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合などお困りのことが起きたときは弊社サービスセンターにお問い合わせください。

表示説明

① 2.4GHz帯を使用する無線設備を表す。
② 変調方式を表すDS-SS方式。
③ 「4」は移動体識別装置の構内無線局に対して想定される与干渉距離を表す(40m以下)。
④ 「▬▬ ▬▬ ▬▬」は全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する。

付録

付録 A

カメラを木製の壁に取り付けるには

木製の壁に、壁かけ用ネジ（付属品）を使ってカメラを設置することができます。
ネジの間隔、浮き幅は以下の通りです。

カメラを壁に設置する際は、以下の点にご注意ください。

- 本製品は**屋内専用**です。屋外には設置しないでください。
- 付属のネジは**木製の壁用**です。それ以外の材質の壁には取り付けできません。
- ネジの取り付けはドライバーを使って、木材のはりが通っている木製の壁に確実に取り付けてください。
- 木製でも、厚さ2.5cm以下のベニヤ板など強度の弱い壁には取り付けないでください。**落下して、けがや破損の原因になります**。

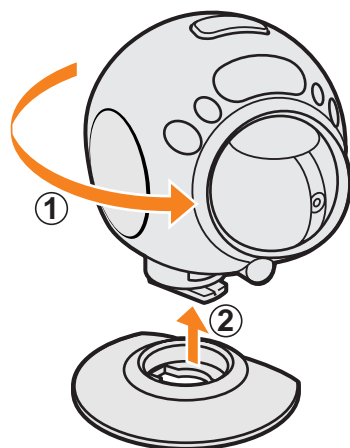
付録 A(つづき)

三脚または監視カメラ設置台などへの取付け方

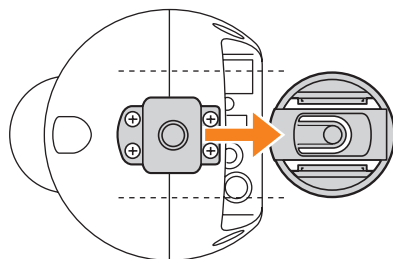
カメラを三脚に取り付けることができます。
またカメラの背面を、監視カメラ設置台などに取り付けることができます。

三脚への取付け方

ACアダプターやLANケーブル、AVケーブル、外部センサーケーブルなどをすべて取り外してから、以下の手順で三脚に取り付けてください。

1 カメラ設置台を片手で持ち、もう一方の手でカメラ本体を矢印の方向に90°回す

2 カメラ本体を持ち上げて、設置台から取り外す

3 底部の円形ブラケットを、後面方向にスライドさせて取り外す

三脚取付け金具が出てきます。

4 三脚に取り付ける

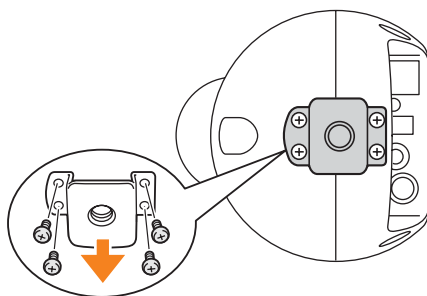
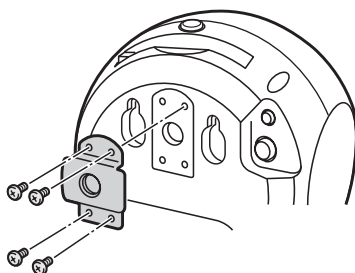
三脚からの取り外しと、ブラケット、台のカメラへの取り付けは、逆の手順で行なってください。

付録 A(つづき)

監視カメラ設置台などへの取付け方

三脚取付け金具を取り外し、カメラの背面に取り付けます。
ネジ穴は三脚用ですので、三脚と同じ径の監視カメラ設置台などに取り付けることができます。

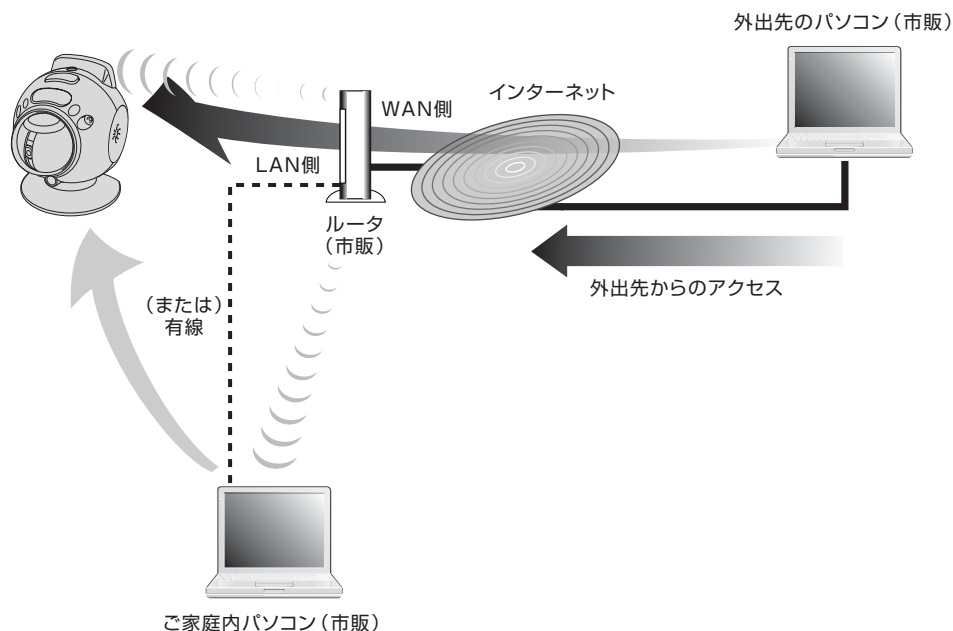
1 前記「三脚への取付け方」の操作1～3をする

2 三脚取付け金具のネジを、ドライバーで取り外す

3 後面の凹部に金具を合わせ、ネジを締める

金具の向きにご注意ください。丸くなっている方が上です。
逆向きではカメラの凹部とは合いません。無理に取り付けると、破損、落下の原因となりますので、ご注意ください。

ネジの締め付け時の推奨トルクは、「0.4～0.5N.m、4～5kgf.cm」です。

付録 B

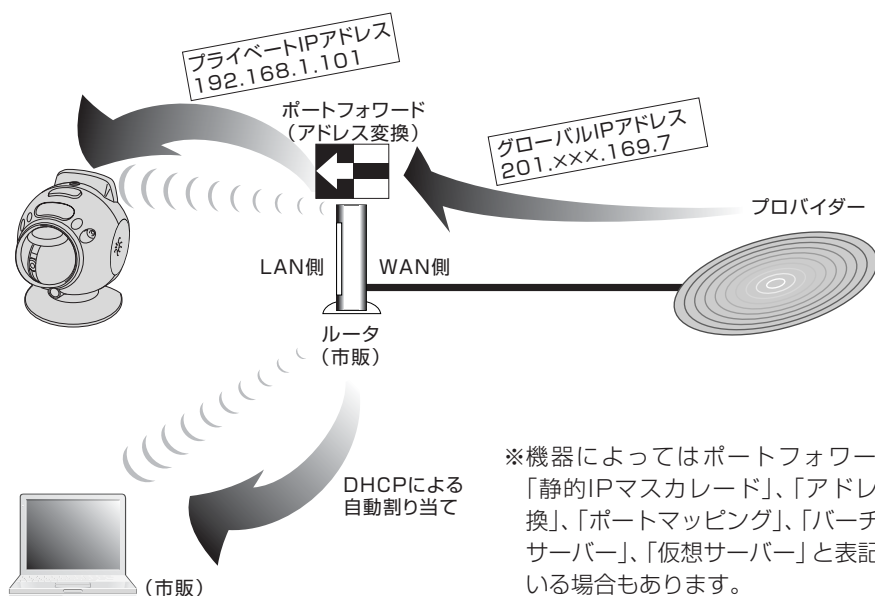
パソコンからカメラにアクセスする

パソコンからカメラへのアクセスは、ご家庭内で行なう場合と、外出先から行なう場合があります。ご家庭内でパソコンからカメラにアクセスする方法は、別紙の「セットアップガイド」をご覧ください。
ここでは外出先からインターネットを経由してカメラにアクセスする方法を説明します。

お使いになるルータによっては、カメラを接続する前にルータの設定が必要な場合があります。
次ページからルータの設定について説明します。

付録 B(つづき)

ルータのポートフォワードについて

パソコンやカメラをインターネットに接続する場合は、プロバイダーによって割り当てられるグローバルIPアドレスが必要です。グローバルIPアドレスは通常一つしか割り当てられていませんが、ルータ機能を使用することで、グローバルIPアドレスをプライベートIPアドレスに変換します。プライベートIPアドレスは家庭(LAN)内でしか使用できませんが、定められた範囲内で複数のIPアドレスを使用できます。
そのため割り当てられた一つのグローバルIPアドレスをパソコンやカメラなどの複数のネットワーク機器で使用できます。
ホームページを見る時にはIPアドレスを意識する必要は無いのですが、外部からカメラにアクセスする場合は、グローバルIPアドレスからプライベートIPアドレスへの変換を設定する必要があります。これがポートフォワードの設定です。

※機器によってはポートフォワードを「静的IPマスカレード」、「アドレス変換」、「ポートマッピング」、「バーチャルサーバー」、「仮想サーバー」と表記している場合もあります。

■ UPnP対応ルータをお使いの場合

UPnPとはUniversal Plug and Playの略で、インターネットプロトコル(IP)ネットワークに接続する機器間の設定を自動的に行なうための規格です。

カメラはUPnPに対応しているため、ポートフォワードの設定は自動的に行なわれます。
特に何も設定する必要はありません。

■ UPnPに対応していないルータをお使いの場合

お使いのルータにポートフォワードの設定が必要です。

付録 C

照明・エアコンのリモコン設定のしかた

オプション設定の照明・エアコンの項でご使用メーカーを選択してください。

1 ご使用の照明機器のメーカー名をプルダウンメニューから選択する

照明機器により動作のしかたが異なります。
選択したメーカーによりテスト項目のボタン表示が次のように変わりますので、操作2で動作テストを行なってください。

- ダイレクト方式の場合：ON OFF（照明の点灯／消灯の状態に関係なく ON で点灯、OFF で消灯）
- サイクル方式の場合　：ON／OFF（照明の状態により動作が変わる 点灯→消灯　消灯→点灯）
詳しくは「リモコン操作について」を参照してください。

2 テストの項に表示されるボタン表示をクリックして、ご使用の照明がON／OFFできるかを確認する

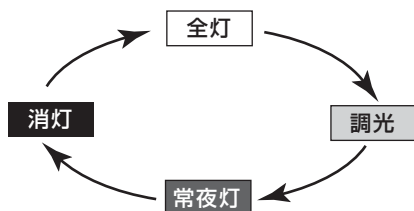
照明機器がON／OFFできない場合は、操作1に戻り、再度同じメーカーの異なる番号を選択して照明機器のON／OFFの動作テストを行なってください。
さらにON／OFFできない場合は、上記手順を繰り返して照明機器が動作するまでテストしてください。

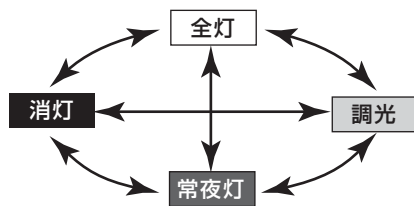
付録 C(つづき)

リモコン操作について

照明器具の赤外線リモコンにはサイクル方式とダイレクト方式があり、本カメラはどちらの方式のリモコンにも対応しています。

サイクル方式

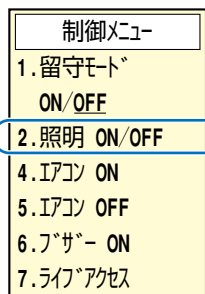
照明器具付属のリモコンでは1つのボタンで操作し、押すごとに明るさが変わる方式です。

ダイレクト方式

照明器具付属のリモコンでは複数のボタンで操作し、照明の状態をワンタッチで切り替えることができます。

照明器具をこのカメラでリモコン操作する時は、あらかじめお使いの照明器具のメーカーを選択します。(☞7-17ページ)
選んだメーカーの方式によって、パソコンや携帯電話でON／OFFするためのボタン形状と働きが異なります。

サイクル方式

ボタンをクリック(携帯電話では選択)すると、カメラはリモコン信号を続けて2回送信します。このため照明器具は、「全灯」⇔「常夜灯」または「調光」⇔「消灯」をくり返します。

パソコンの画面のボタン

☞5-1ページ

携帯電話の画面

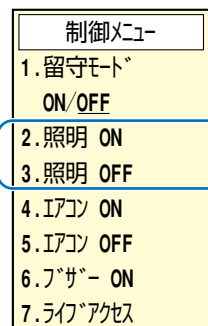
☞6-15ページ

ダイレクト方式

照明器具のON／OFFを、それぞれのボタン(携帯電話では選択)で切り替えることができます。「調光」や「常夜灯」は切り替えできません。

パソコンの画面のボタン

☞5-1ページ

携帯電話の画面

☞6-15ページ

付録 C（つづき）

照明リモコン対応表

□ ダイレクト方式　■ サイクル方式

メーカー名					
0	三洋 1	18	小泉 1	36	松下 3
1	三洋 2	19	小泉 2	37	松下 4
2	三洋 3	20	小泉 3	38	松下 5
3	三洋 4	21	小泉 4	39	松下 6
4	三洋 5	22	小泉 5	40	松下 7
5	三洋 6	23	小泉 6	41	松下 8
6	三洋 7	24	小泉 7	42	三菱 1
7	三洋 8	25	小泉 8	43	三菱 2
8	三洋 9	26	東芝 1	44	オーデリック 1
9	セイテックシーリング	27	東芝 2	45	オーデリック 2
10	セイテックコンセント	28	東芝 3	46	オーデリック 3
11	NEC／タキズミ／ヤマダ 1	29	東芝 4	47	オーデリック 4
12	NEC／タキズミ／ヤマダ 2	30	日立 1	48	マルゼン 1
13	NEC／タキズミ／ヤマダ 3	31	日立 2	49	マルゼン 2
14	NEC／タキズミ／ヤマダ 4	32	日立 3	50	マルゼン 3
15	NEC／タキズミ／ヤマダ 5	33	日立 4	51	マルゼン 4
16	NEC／タキズミ／ヤマダ 6	34	松下 1	52	ダイコー 1
17	NEC／タキズミ／ヤマダ 7	35	松下 2	53	ダイコー 2

エアコンリモコン対応表

メーカー名					
0	三洋 1	10	東芝 1	20	三菱 1
1	三洋 2	11	東芝 2	21	三菱 2
2	三洋 3	12	東芝 3 ※1	22	三菱 3 ※1
3	三洋 4	13	日立 1	23	三菱重工 1
4	シャープ 1	14	日立 2	24	三菱重工 2
5	シャープ 2	15	富士通ゼネラル 1	25	三菱重工 3
6	シャープ 3	16	富士通ゼネラル 2	26	コロナ 1
7	シャープ 4	17	富士通ゼネラル 3	27	コロナ 2
8	ダイキン 1	18	松下 1 ※2	28	フナイ 1
9	ダイキン 2	19	松下 2 ※2		

※1 冷／暖、温度設定
※2 温度設定

付録 D

OpenSSLのライセンス

openSSLには次のライセンスが適用されます。

```
LICENSE ISSUES
==============

  The OpenSSL toolkit stays under a dual license, i.e. both the conditions of
  the OpenSSL License and the original SSLeay license apply to the toolkit.
  See below for the actual license texts. Actually both licenses are BSD-style
  Open Source licenses. In case of any license issues related to OpenSSL
  please contact openssl-core@openssl.org.

  OpenSSL License
  ---------------

/* ====================================================================
 * Copyright (c) 1998-2003 The OpenSSL Project.  All rights reserved.
 *
 * Redistribution and use in source and binary forms, with or without
 * modification, are permitted provided that the following conditions
 * are met:
 *
 * 1. Redistributions of source code must retain the above copyright
 *    notice, this list of conditions and the following disclaimer.
 *
 * 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright
 *    notice, this list of conditions and the following disclaimer in
 *    the documentation and/or other materials provided with the
 *    distribution.
 *
 * 3. All advertising materials mentioning features or use of this
 *    software must display the following acknowledgment:
 *    "This product includes software developed by the OpenSSL Project
 *    for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)"
 *
 * 4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to
 *    endorse or promote products derived from this software without
 *    prior written permission. For written permission, please contact
 *    openssl-core@openssl.org.
 *
 * 5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL"
 *    nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written
 *    permission of the OpenSSL Project.
 *
 * 6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following
 *    acknowledgment:
 *    "This product includes software developed by the OpenSSL Project
 *    for use in the OpenSSL Toolkit (http://www.openssl.org/)"
 *
 * THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT ``AS IS'' AND ANY
 * EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE
 * IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR
 * PURPOSE ARE DISCLAIMED.  IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR
 * ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL,
 * SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT
```

付録 D(つづき)

```
 * NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES;
 * LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)
 * HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT,
 * STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE)
 * ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED
 * OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.
 * ====================================================================
 *
 * This product includes cryptographic software written by Eric Young
 * (eay@cryptsoft.com).  This product includes software written by Tim
 * Hudson (tjh@cryptsoft.com).
 *
 */

 Original SSLeay License
 -----------------------

/* Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com)
 * All rights reserved.
 *
 * This package is an SSL implementation written
 * by Eric Young (eay@cryptsoft.com).
 * The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.
 *
 * This library is free for commercial and non-commercial use as long as
 * the following conditions are aheared to.  The following conditions
 * apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA,
 * lhash, DES, etc., code; not just the SSL code.  The SSL documentation
 * included with this distribution is covered by the same copyright terms
 * except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).
 *
 * Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in
 * the code are not to be removed.
 * If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution
 * as the author of the parts of the library used.
 * This can be in the form of a textual message at program startup or
 * in documentation (online or textual) provided with the package.
 *
 * Redistribution and use in source and binary forms, with or without
 * modification, are permitted provided that the following conditions
 * are met:
 * 1. Redistributions of source code must retain the copyright
 *    notice, this list of conditions and the following disclaimer.
 * 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright
 *    notice, this list of conditions and the following disclaimer in the
 *    documentation and/or other materials provided with the distribution.
 * 3. All advertising materials mentioning features or use of this software
 *    must display the following acknowledgement:
 *    "This product includes cryptographic software written by
 *     Eric Young (eay@cryptsoft.com)"
 *    The word 'cryptographic' can be left out if the rouines from the library
 *    being used are not cryptographic related :-).
 * 4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from
 *    the apps directory (application code) you must include an acknowledgement:
 *    "This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"
 *
 * THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG ``AS IS'' AND
```

付録 D(つづき)

```
* ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE
* IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE
* ARE DISCLAIMED.  IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE
* FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL
* DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS
* OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)
* HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT
* LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY
* OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF
* SUCH DAMAGE.
*
* The licence and distribution terms for any publically available version or
* derivative of this code cannot be changed.  i.e. this code cannot simply be
* copied and put under another distribution licence
* [including the GNU Public Licence.]
*/
```

付録 E

用語解説

英字

AOSS
Airstation One-touch Secure System
煩雑だった無線LANで接続するために必要な暗号化キーの設定や入力を、簡単にできる機能。

DHCP
Dynamic Host Configuration Protocol
ネットワーク接続機器に、自動的にIPアドレスを割り振るしくみ。プロバイダーとの一般的な契約では、このしくみによってIPアドレスを与えられることが多い。例えば100人がインターネットに接続したいとなると、100個のIPアドレスが必要となる。しかし100人が同時に接続することはほとんどないので、接続しようとする人がいると、その都度IPアドレスを割り当てることで、IPアドレスを効率的に運用する。
ルータにもDHCP機能が内蔵されていて、LANに接続している機器に、自動的にローカルIPアドレスを割り当てる。

DNS
インターネット上の住所であるIPアドレスは数字とピリオドで表されるが、それだと認識しにくいので、ドメイン名という英数字でIPアドレスの代用をする。DNSは、IPアドレスとドメイン名との関連付けを行なうシステム、またはサーバー。

ESS-ID
Extended Service Set ID
無線LANでアクセスポイントと、カメラやパソコンとの間で、同じIDを持った機器同士だけで通信するための認識コード。

IPアドレス
Internet Protocol Address
インターネット上の機器を個別に識別するための番号で、住所の役割を果たす。IPアドレスによって相手を特定し、メールや画像などがやりとりできる。「255.255.255.255」のように、数字と3つのピリオドによって表される。

LAN
Local Area Network
主に同じ建物の中で接続されたネットワーク。接続はLANケーブルや無線で行なう。一般的な家庭でのインターネット接続形態を例にすると、ルータに接続したパソコンやカメラ、プリンタなどがLANになる。対称となる言葉はWAN。

LANケーブル
Local Area Network Cable
家庭内や企業内で、パソコンやカメラ、プリンタなどを接続するためのケーブル。イーサネット（Ethernet）ケーブルを指すことが多い。イーサネットケーブルには「ストレート」と「クロス」の2種類があり、通常、ルータやハブと接続する場合はストレートケーブルを使う。

MACアドレス
Media Access Control address
ネットワーク（イーサネット）上の機器を識別するための固有のID。IEEEという国際的な組織が管理している。

NTPサーバー
Network Time Protocol
インターネットに接続している機器の時刻合わせを行なうサーバー（サービスを提供する機器）。

POP3 before SMTP
メールを送信する際に用いる認証方式の一つ。POP3はメールを受信する際に用いられる通信手順で、メールを受信するには認証が必要となる。POP3 before SMTPは、メールを送信する前に受信を行なって認証する方式。

付録 E(つづき)

SMTP
Simple Mail Transfer Protocol
インターネットで電子メールをやりとりするための通信手順。他人がなりすまして自分のアドレスでメールを送信しないように、認証しなければならない場合がある。認証方式には「POP3 before SMTP」と「SMTP認証」がある。

SMTP認証
SMTP-AUTH
SMTPそのものは認証手続きを持たないため、認証機能を追加した方式。POP3 before SMTPはメール受信を認証に代用しているが、SMTP認証は送信そのものに認証を行なうため、より厳密な認証ができると言われている。ただしSMTP認証をサポートしていないメールソフトもまだ多い。

SSL
Secure Socket Layer
通信暗号処理を参照

UPnP
Universal Plug and Play
ネットワーク上の機器間の設定を、自動的に行なうための規格。1999年にMicrosoft社が提唱した。

WAN
Wide Area Network
直訳すると「広域通信網」。家庭や企業などの外で、電話回線やCATV、光ファイバーなどによって世界中がネットワーク接続されているインターネットを指すことが多い。

WEPキー
Wired Equivalent Privacy
無線LANで、通信内容を盗み見されないようにするための暗号化方式。アクセスポイントとカメラやパソコンとの間で、同じ文字列を設定する。

あ行

アクセスポイント
この取扱説明書でいうアクセスポイントとは、カメラやパソコンが無線でインターネット接続するための親機のこと(子機は無線LANカードまたはカードを装着した機器)。親機は有線でモデムやルータにつながっている。ルータがアクセスポイントの機能を内蔵している場合は「無線ルータ」と呼ぶ場合がある。

アドホック
無線LANで、カメラやパソコンなどがアクセスポイントを経由せず、直接接続する方式。

アラーム発生
この取扱説明書では、センサーが感知した状態を指す。ブザーのように音を発する状態や装置とは異なる意味合いで使っている。アラーム発生時のカメラの動作には、ブザーや補助ライト、照明などのONや、メール送信などがある。

インフラストラクチャ
無線LANで、カメラやパソコンがアクセスポイントを経由してインターネットに接続する方式。

か行

逆光補正
カメラに直接太陽光が入る状態を逆光という。逆光の状態では光の量が多いため、カメラは取り込む光を少なくしようと光の入り口を狭くする。しかしそれだと、カメラの対象物が暗くなってしまうため、適度な明るさに保とうとする機能のこと。

グローバルIPアドレス
インターネット上に存在する、世界で唯一のIPアドレス。外出先からカメラにアクセスする場合、グローバルIPアドレスを指定する。ただしホビカネットに加入すれば、グローバルIPアドレスを意識することなくアクセスできる。

付録 E(つづき)

ゲートウェイ

異なる通信方式のネットワーク間で、データを相互にやりとりする際にその変換を行なう機器。
一般的な家庭などでの小規模LANでは、ルータがその役割を担うことが多い。

固定IPアドレス

2つの意味合いで使うことが多い。
まず、プロバイダーとの契約で、特定のグローバルIPアドレスを取得している場合、そのアドレスを指す。
次に、LANを構築するとき、機器に特定のローカルIPアドレスを設定した場合、そのアドレスを指す。
固定IPアドレスに対して動的IPアドレスは、プロバイダーから不特定のIPアドレスが割り振られているものをいう。一般的には、モデムやルータを再起動するごとに、異なるIPアドレスが割り振られる。動的IPアドレスを自動的に割り振るのがDHCPサーバー。

さ行

サブネットマスク

IPアドレスは、ネットワークを特定するためのネットワークアドレスと、個々の機器を特定するためのホストアドレスから構成される。サブネットマスクはネットワークアドレスとホストアドレスを区切るために使う。同じLAN内の機器は、同じサブネットマスクとなる。

人感センサー

人や動物から発生する遠赤外線の変化を検出するセンサー。

スイッチングハブ

通常のハブよりも高機能で、接続機器が多くても効率良くデータをやりとりできる。
ハブは、LANで各機器を接続する際に、ケーブルをまとめて接続することができる。例えばA―B―Cの3台の機器を接続する場合、ハブがなければ1台の機器に2つのコネクタが必要となる。しかしハブを使えば、1つのコネクタをハブに接続するだけで、何台もの機器と接続することができる。自転車の車輪に例えると、中心の軸がハブとなる。

た行

通信暗号処理（SSL）

インターネット上で情報をやりとりする時に暗号化する通信手順。ホームページなどで個人情報やクレジットカードの番号などを送信する際に広く利用されている。

は行

ファームウェア

機器を動かすための基本のソフトウェア。カメラの画像撮影や各種設定など、カメラの動作に関することはほとんどファームウェアが行なっている。

ブラウザ

インターネット上のホームページなどを閲覧するためのアプリケーションソフト。
Microsoft社のInternet Explorerなどがある。

フリッカーレス

フリッカーとはCRTディスプレイのちらつきのことで、電源周波数50Hzの東日本地域で発生することがある。フリッカーレスはそのちらつきを防止する機能。

ホワイトバランス

太陽光や蛍光灯、電灯などはそれぞれ光の性質が異なる。このため、画像の色合いのバランスが崩れることがある。これを調整するために、白を基準にして色のバランスを整える方法。

ポート

一つの回線の中で、役割ごとに区切った仮想の出入り口。例えばホームページを見るためのやりとりをする時（HTTP）はポート番号「80」、ホームページを見るためのやりとりをする時に暗号化（SSL）する時は「433」と決められている。

付録 E（つづき）

ポート番号は1～65535まで使えるが、1～2024までは役割が決まっている。
49152～65535までは自由に使用できる。

ポートフォワード

外部（インターネット上）からLAN内の機器にアクセスする時、グローバルIPアドレスをローカルIDアドレスに変換するための機能。LAN内の機器がインターネット上のホームページなどにアクセスする時は、ローカルIPアドレスとグローバルIDアドレスの変換はルータが行なうが、逆の場合はポートフォワードの設定が必要になる。
ただ、ルータと機器（カメラ）がUPnPに対応している時は、ポートフォワードの設定は自動的に行なわれる。（カメラが1台の時。2台目以降はポートフォワードの設定が必要になる）
機器によってはポートフォワードを「静的IPマスカレード」「アドレス変換」、「ポートマッピング」、「バーチャルサーバー」、「仮想サーバー」と表記する場合がある。

ま行

モーションセンサー

人や動物などの「動き」（画面の明るさの変化）を検出するセンサー。
本カメラではレンズの中に内蔵されている。

ら行

ルータ

異なるネットワーク間のデータのやりとりを中継する機器。LANとWANを中継するのもルータ。ルータを使うことによって、一つのインターネット回線で複数の機器（パソコンやカメラなど）を同時にインターネットに接続することができる。

ローカルIPアドレス

LANの中だけで使うことができるIPアドレス。プライベートアドレスともいう。LANの中では同じアドレスを使うことはできないが、異なるLANでは、同じアドレスが存在していても問題はない。
ローカルIPアドレスに対してグローバルIPアドレスは、WAN側、つまり世界で唯一のアドレスとなる。

ログ

例えばNTPサーバーで自動時刻調整を行なった場合、実行した時間やサーバーアドレス、調整の内容などを記録した履歴。